



**UNIV**  
KURFC

**玄友2021**

# ネオ倶楽部は学生を 応援しています。



## ツアークリエイション オアシス

スポーツ合宿やゼミ合宿、サークル旅行、学生大会の手配などを幅広く手掛けてます。  
専属の担当スタッフが皆様の学生生活を楽しくサポート致します。



## プランニングオフィス プリッツ

クラスや文化祭・イベント等のオリジナルTシャツをどこよりも安く、最高品質でお届けします！  
オリジナルTシャツ制作・プリントTシャツの作成ならプリッツへ。



## 就職エージェント九州

どのような状況の方にも対応できる様々なサポートをご用意しております。  
就職活動を一人で悩まないで、まず就職エージェント九州にご相談下さい。



株式会社ネオ倶楽部

< 本社 > 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-6-24 第6 ガーデンビル 5F

< 東京オフィス > 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-6-16 ユニオンビル 4F

< 大阪オフィス > 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-5-5 丸忠ビル 301

TEL 092-282-5571 URL <https://neo-club.jp/>

遠征・旅行・就活  
のご相談はコチラから



(担当スタッフ：園田)

令和三年度  
(2021年度)

九州大学ラグビー部 部誌

九州大学ラグビー部



楯円球を  
ときには  
小さなボールに  
もちかえて  
緑の芝生を  
歩いてみませんか!!

OB諸兄のふるってのご参加を  
待っています。

# 玄友会ゴルフ

【コンペ開催】 年3回程度(3月、6月、11月など)

## 玄友 2021 目次

●九州大学ラグビー部部歌	7	
●クラブソング&エール	11	
●巻頭言	OB 会会長 昭和 48 年卒 俵 輝美	17
●チームアドバイザーより		
「カルチャーと歴史の構築」		
チームアドバイザー 昭和 63 年卒 堀内 恭彦		21
●先輩寄稿		
「ロンドン放浪記」	昭和 45 年卒 野川 斉一	27
「九大ラグビー部と OB 会について最近思うこと」		
前ラグビー部部長 佐藤 浩之助		30
「大学ラグビー部での学び・その後の社会人に活かしたこと」		
平成 15 年卒 荒井 学		34
「新リーグ開幕の日に思うこと」	平成 19 年卒 高橋 英樹	40
●名刺広告（関東・関西・その地の地区）		47
●令和 3 年度総括		
「2021 年シーズン総括」	監督 近木 俊介（平成 21 年卒）	59
「今年度のシーズンを終えて」	主将 大久保 隼鷹	61
●令和 3 年度年間行事		65
●新年会		70
●令和 3 年度全戦績		71
●部員紹介		
4 年生（ひとこと）		89
3 年生		102
2 年生		104
1 年生		106
●名刺広告（九州地区）		111
●歴代部長・歴代 OB 会長		121
●OB 会		
OB 総会議事録		125
OB 会規約		129
OB 会役員名簿		135
●編集後記		136

● 會員名簿

◆ 名簿 .....	139
◆ 五十音順一覽 .....	150
◆ 物故者一覽 .....	161

# 九州大学ラグビー部 部歌

♩ = 88

まつみどりなる はこぎきの ゆうひははゆる そでがうら  
 きしべのなみに うそぶけば ちどりなくなる すなはまの  
 はるのひかりは のどかにて ここにつどいし われらかな  
 どうせいのぐん いまなりぬ どうせいのぐん いまなりぬ

## 部歌

一、松緑なる箱崎の

夕日は映ゆる袖ヶ浦  
 岸辺の波にうそぶけば  
 千鳥なくなる砂浜の  
 春の光はのどかにて  
 ここに集いし我等かな

二、夏草もゆる筑紫野の

したたる緑目に染めて  
 多々良が浜におりたてば  
 昔を偲ぶ古戦場  
 移る月日は変れども  
 ここに鍛えし我等かな

三、秋も暮れゆく宝満の

月をみ空に仰ぐ時  
 戦いここに幾度か  
 血潮に燃ゆる男の子らが  
 苦練の跡も清くして  
 東征の軍今成りぬ  
 東征の軍今成りぬ

麻生セメント



**セメントの価値。**って考えたこと、ありますか？  
リサイクルの可能性をセメントで追求！

# クラブソング&エール

# K.U.R.F.C Club Song

Rush on, you brave fifteen Lyric by T. Shibata  
music by S. Aratani

Waltz lento *f* *mp* Fine.

Rush on, you brave fif-teen, rush on, Rush on, you  
call the  
calm de-

brave fif-teen rush on, You're not-the ones to fear con-cus-  
days, you boys, re-call, When, run-ning a-bout in mud-and-  
light on you will fall, When, man-y years lat-er lean-ing on the

-sion, So fight, Kyu dai, fight, and give of your most To get - the  
all, You dreamed a-against the-eve-ning-sky The glo-ry  
wall, Those brave mo-ments your-mind re-peats Of that swerve, of that

ball right un-der the post. 2) Re-  
of the win-ning try. 3) A feats!  
tack-le oh - what

D.C. al Fine

Feb. 1980

Shunji Aratani

# K.U.R.F.C Yell

We're merry men of the south

Lyric by Toshihiko Shibata  
music by Shunji Aratani

*alla Marcia*

1. 4 K·U·R·F·C K·U·R·F·C We're mer-ry men of the  
we'll fight, you-  
have a jol-ly -

*alla Marcia* ...

south, In verve sur-passed by- none, In bon-ho-mie yet no  
watch, At pluck-y tack-les ever aim-ing, Ea-ger for a kick and  
fun, When a days-match is- done, In an eve-ning full of-

less, We're mer-ry men of the south. 2) Ruth-less  
rush, Ruth-less we'll fight, you watch. 3) Let's  
glee, Let's- have a jol-ly- fun. D.C.

South. K·U·R·F·C K·U·R·F·C K·U·R·F·C

*Shunji Aratani*

Feb. 1980

## K · U · R · F · C Club Song

1. Rush on, you brave fifteen, rush on,  
You're not the ones to fear concussion,  
So fight, Kyudai, fight, and give of your most  
To get the ball right under the post.
2. Recall the days, you boys, recall,  
When, running about in mud and all,  
You dreamed against the evening sky  
The glory of the winning try.
3. A calm delight on you will fall  
When, many years later leaning on the wall,  
Those brave moments your mind repeats,  
Of that swerve, of that tackle, oh what feats!

## K · U · R · F · C Yell

1. We're merry men of the south,  
In verve surpassed by none,  
In bonhomie yet no less,  
We're merry men of the south.
2. Ruthless we'll fight, you watch,  
At plucky tackles ever aiming,  
Eager for a kick and rush,  
Ruthless we'll fight, you watch.
3. Let's have a jolly fun,  
When a days match is done,  
In an evening full of glee,  
Let's have a jolly fun.
4. 1 番の繰返し

### Club Song

1. つっこめ 度胸の15人  
衝突などは 何するものぞ  
九大がんばれ 全力ファイトだ  
ポストの下まで もっていけ
2. 思いおこせ あの練習の日々  
泥にまみれて 駆けまわり  
暮れなずむ空に夢見た  
栄光の 決勝トライ
3. いく年のちぞ 垣根にもたれ  
静かな喜びにひたり 繰返す  
めくりめく その時々の思い出  
あの身のかわし あのタックル われながらの早業

### Yell

1. おれたちや南の ごきげん野郎  
気合のよさじゃ ひけはとらぬ  
きっぷのよさは それ以上  
おれたちや南の ごきげん野郎
2. 見てろとことん 戦いぬくぞ  
切れ味するどい タックル決めて  
すきあらば キックアンドラッシュ  
見てろとことん 戦いぬくぞ
3. 愉快地に1杯 やろうじゃないか  
昼の試合が 果てたなら  
宵パーティは 呉越同舟  
愉快地に1杯 やろうじゃないか

# 卷頭言

OB会会長 俵 輝美

# 巻頭言

玄友会会長 昭和 48 年卒 俵 輝美

2021年は、夏のオリンピック・パラリンピックで多数のメダルを勝ち取るアスリートに励まされ、大谷翔平の本場大リーグでの二刀流に胸を躍らせ、松山英樹のマスターズ優勝そして笹生優花の全米女子オープン優勝に歓喜するなど、夢を追いかけてきた若い人々の活躍に勇気づけられた一年でもありました。

私は一月初旬で170名に迫るOBの皆さんが寄稿されたリレーブログに様々の追体験をさせて頂き、人との接触が制限される中であったが故に一層強い連帯を感じさせて頂いた一年でありました。世代を超え、練習の辛さ、勝利の歓喜、敗戦の涙、グランド外での奮行そして先輩・同輩・後輩への感謝等が述べられていました。卒部後、人生の岐路に立った時、九大ラグビー部で汗と土にまみれ練習に励んだ日々が蘇り自分の支えになったと多くの方が記されていました。思いを共にする多くの皆さんと巡り合うことができ、このブログに更に多くのOBの皆さんが寄稿されることを心より願います次第です。

さて、昨シーズン九大ラグビー部は「定期戦に勝利できずリーグ戦低位に甘んじ続けている現状の打破」を掲げ高い目標を目指しスタートしました。結果は東大・京大に敗れリーグ戦はコロナ禍の変則組み合わせの中1勝2敗7位でシーズンを終了しました。集合練習や対外練習試合の規制によりチームとしての習熟度を高め総合力の向上を当初予定通り進めることが困難であったとの現役の皆さんの分析でありました。10月中旬から現役の皆さんと現役部会からの要望によりご案内の通り専任コーチによる指導を依頼しましたが結果を出すには時間不足でした。但し、現役の皆さんは短期間の専任コーチによる指導であったがチームの総合力が向上しているという充実感と多幸感を持ちえたと言っており、今シーズンの成長が期待されるようです。

現在の大学ラグビーにおける著しい戦術・技術の高度化やフィジカルの強度を目の当たりにする時、九州一部リーグで上位を目指し東大・京大に伍していくには戦術技術面・フィジカル面における専任コーチによる指導の重要性は増していると考えます。今後、中長期的にどのように指導体制を整え支援体制を構築していくのか現役の皆さんのご意見やOBの皆様の見解・人脈を伺いながら検討を進めてまいりたいと考えています。

この春卒部された皆さんへは九大ラグビー部の歴史を繋いで頂いたことに心より感謝するとともに、九大ラグビー部でのラグビー活動は種まきに過ぎず、今後の人生において花を咲かしていくように「ENJOY YOUR LIFE WITH RUGBY」。

今シーズンは専任コーチ招聘により指導体制が強化されます。個々人がフィジカルの強化・スキルの向上などの課題を克服し、一人一人が達成感を感じることでできる一年とされるよう期待します。

また、部員数の増強はチーム強化の基盤です。高校におけるラグビー経験者のみでなく未経験者に対しても積極的な新入部員勧誘をラグビー部全員で行っていただくことを強く期待致します。

OBの皆様には常日頃のご支援を心より感謝します。総会・新年会・役員会はオンラインでの実施、現役の皆さんの試合応援も制限されOB会として隔靴搔痒の活動に苦慮した一年でありました。かかる中、先の京大戦では関東・関西・九州から40名近いOBの皆様に応援に駆けつけて頂き、また専任コーチ招聘費用に関するご寄付に多くの方がご協力くださるなどOBの皆様の篤い支援を心強く感じる次第であります。

100周年事業については2025年春の記念式典開催・記念誌の発行・関東関西九州三地域OB対抗戦等の記念試合や他の事業を検討しており、その概要について今年総会に於いてOBの皆様にご審議を頂くべく準備を進めております。多くのOBの皆様準備活動の段階を含め積極的にご参加頂き次の100年への確固とした歩みをスタートさせる事業と致したく考えております。

未曾有の環境の中で学業にいそしみ、九大ラグビー部の伝統をつなぐべく練習に励む現役の皆さんに対する一層のご支援をお願い致しますとともに皆様のご健勝を祈念致します。

チームアドバイザーより

昭和 63 年卒 堀内 恭彦

# カルチャーと歴史の構築

チームアドバイザー 昭和63年卒 堀内 恭彦

## 1 現役は一生懸命頑張っている

昨年夏、OB会から「現役の状況がよくないので、みてやってほしい」との要請を受けた。まずは7月の東大戦を観戦した。私自身が監督をしていた時以来なので21年ぶりである。感想は「少ない部員数で一生懸命頑張っているが、このままやっても勝てないだろう」であった。

九大の恒常的な課題として、本物のラグビー、正しいコーチング・チームの作り方を学ぶ体制がなく、フレームがないことが挙げられる。私が後を託した吉村監督の頃はその課題も解消しつつあったようだが、その後は同じ課題が再燃し、チームは下降気味とのことであった。

これは、現役の責任ではなく、体制作り・フレーム作りをしてこなかったOBの責任である。

しかし、いつの時代も現役が「一生懸命頑張っている」ことは救いであり、そうである以上、OBの役目は、現役にとって役に立つ提案をし、サポートすることであろう。

アドバイザーとして関与することとなったため、9月から伊都グラウンドに足を運び、現役の練習や試合を見て、話を聞き、LINEでやり取りをし、「自分たちはどうしたいのか？どうなりたいのか？」を知ることから始めた。

私自身、九州ラグビーフットボール協会理事や女子7人制ラグビーチームのサポート活動などを行っているため、ラグビー人脈や経験から役に立てることは何か？と考えた。

## 2 新コーチの招聘

そこで、私は、現役に対し、コーチとして藤森啓介氏（日本ラグビーフットボール協会リソースコーチ。早稲田大学ラグビー部出身）を提案した。現役も「チャレンジしたい」とのことだったので、昨年10月から月1回

のペースで東京から来ていただくこととなった。

プロコーチでもある藤森氏は「学生主体」という九大の良さを残しつつ、正しいコーチング・チームの作り方などのフレームを示し、学生と共に歩んでくれる「協働型」のコーチである。

幸い、現役の信頼も厚く、近木監督や前年から関わっていただいている大庭さんとともに、現役の力になってくれると思う。

### 3 チャレンジするかしないかは現役次第

その他にも、フィジカル向上のための食事トレーニング、管理栄養士によるサポート、コーチング人材、他チームとの交流、魅力あるチーム作りの方策・情報発信、地域貢献、社会貢献、スポンサー集め、高校ラグビー・少年ラグビーとの連携など、現役にとって役立つ提案は色々と考えられる。

ただ、あくまでも、受け入れてチャレンジしていくかどうかは現役次第。現役自身が「自分たちはどうしたいのか？どうなりたいのか？」という意思が軸である。

チャレンジ精神と創意工夫によって、九大ラグビー部は、もっと強く、もっと良いクラブになると思う。

国立大学はどこもイコールコンディションであり、東大、京大、鹿大に負ける理由はない。また、正しいコーチング・体作り・チーム作りによって、福大はじめ上位校に喰らいつくことは十分可能である。

### 4 カルチャーの構築

「あなたは、九大ラグビー部にいて幸せですか？」「どういうときに、あなたは幸せを感じますか？」「部員やマネージャー全員が幸せを感じることができるチームを作るために、あなた自身は具体的に何をしますか？」

これは、昨年10月のファーストミーティングでの藤森コーチから現役への問いかけである。

この問いかけに真摯に向き合い、自らの行動を変えたときに、九大ラグビー部の真のカルチャーと歴史の構築が始まるのではなからうか。

もうすぐ100周年とはいえ、学生にとっては1年、1年が勝負であり、

かけがえのない時間である。部員数も減り、危機的状況にある今、我々OBができることは、昔話をするのではなく（もちろん歴史は大切ではあるが）、現役のために環境整備（資金援助、人材の投入、ネットワーク構築など）を行うことである。

そうしなければ、100周年どころか、再び、2部落ち・3部落ち、部の存続すら危ぶまれることとなろう。

## 5 4年生、院生への感謝

私に関わったのは昨年9月からであり、短い期間ではあったが、4年生や院生の頑張りを目にするのができてよかったと感じている。

熱いリーダーシップでチームを牽引した大久保主将、明るいキャラクターで皆を鼓舞した宮城副将、大黒柱としてFWを引っ張った島内、ラグビー愛とセンスに溢れた富本、大怪我を乗り越え皆を支えた吉原、骨惜しみないタックルでチームを救った北川、BKをリードしインパクトを与え続けた山浦、チームに知恵と規律を浸透させた濱田、広い視野で部員をサポートした内田MG、人一倍の情熱でチームに貢献した木村MG。

秋シーズン、後輩たちに力を貸してくれた神谷、柏木、渡辺らの院生たち。

明るく、元気に、情熱をもって九大ラグビー部を牽引し、次世代にバトンを渡してくれた皆にはOBの一人として深く感謝するとともに、これからの益々の成長と活躍を願ってやまない。

淡路主将はじめ下級生たちには、先輩の想いを引き継ぎ、より良いチームを作り上げてくれることを期待している。

（2022年1月 記）



「あなたは、九大ラグビー部にいて幸せですか？」（藤森コーチを囲んで）

# 先輩寄稿

# ロンドン放浪記

昭和45年卒 野川 斉一

ロンドンは魅力的な街である。五十代の頃何度か訪れた。

コベントガーデンは、夕方になると大道芸人やストリートミュージシャンが集まってくる。私は階段を登って少し高くなった所に立っていた。快い音楽が聴こえてくる。バイオリンとチェロの合奏、モーツァルトのデベロッパメントである。音楽学校の生徒であろうか、かなり上手である。私が楽しんでいると若い女性が近寄ってきた。はずかしそうに、「今あなたは音楽を聴いていましたね。こころざしを」と言って箱を差し出した。彼女の優しい表情と素敵な演奏に多めのお金を入れてあげた。

近くにロイヤルオペラハウスがある。まだ改築前だったが立派な古い建物だった。その夜はオペラを楽しむことにしていた。日本からチケットを予約していったのである。そんなに高価ではない。日本にやって来る一流どころのオペラは、大抵東京であるのだが、やたら高い。福岡から東京に行ってもオペラを見るのと、飛行機を使ってロンドンまで来てもさほど費用は変わらない。席は二階の真ん中近く、上席である。以前テレビでチャールズ皇太子とダイアナ妃が座っていたのを見たことがある。

演目はモーツァルトの『魔笛』、『フィガロ』や『ドン・ジョバンニ』と比べるとややなじみが薄い。行く前に日本で何度もビデオを見て歌を覚えるほどになっていた。さすがに「夜の女王のアリア」と「パパゲーノ」と「パパゲーナ」の掛け合いは盛り上がった。ただ残念なことに時差ぼけのため、三分の一は眠ってしまった。もったいない話である。

ウエストエンド、ロンドン劇場街、毎日のようにコンサートやシエイクスピア演劇、ミュージカルが行われている。わくわくするような場所である。『キャッツ』や『ミスサイゴン』を楽しんだ。ホテルに帰ってその日の催し物が載っている雑誌を見ていると、小説「ジェーン・エア」の演劇があるのを見つけた。まだ開演に時間がある。早速電話をかけてみた。

「チケットはまだありますか」「今すぐ来たら間に合いますよ」

「ジェーン・エア」は高校時代夢中になって読んだ。イギリスを代表する古典である。同級生だった中村哲君も文学好きだった。よく小説の話をしたものである。彼が「ジェーン・エア」に感動したと聞いて、ロマンチックな恋愛小説は素朴な彼にはそぐわない等と失礼なことを考えた。もちろんおくびにも出さなかった。

劇場は200年以上経た立派な石作りの建物だった。席はむしろ空いていた。文学好きな清楚な感じの人が座っている、大正ロマンの世界を思い浮かべられるような雰囲気である。内容は素晴らしいものだった。もともとオカルト風のある小説だが、作者のシャーロット・ブロンテが亡霊となって出てくるなど、イギリスらしい新しい試みがなされていた。ロチェスタ氏はテレビドラマでよく見かける俳優が演じていた。

トラファルガー広場にあるナショナルギャラリーは、すごいとしか言いようがない。数千点に及ぶルネサンスや印象派など世界一流の絵画を所蔵している。驚いたことに入場は無料なのである。美や芸術を重んじる国民性からか、それとも英帝国主義華やかかなりし頃の富から得たものか、ルネサンスのフロアを歩いていたら、10メートルほど先の大きな絵画にとてつもない衝撃を受けた。まるで悪魔に心を掴まれたような感覚であった。絵にこのような感じを得たのは初めてである。50代、若い感性などあるはずがない。近寄ってみると『ダヴィンチ』の「岩窟の聖母」だった。聖画なのに悪魔に心を掴まれたような感覚を持つとは、私は特に審美眼がある方ではない。美術に対しても詳しくない。『ダヴィンチ』が世界最高の画家であることは間違いない。宗教画が多くあるが、何か神秘的と言うか、少々薄気味悪ささえ感じることがある。『ラファエロ』なんかとは全く違っている。彼の宗教観を示したものだろうか勝手に考えた。ルーブルにも同じ名の、同じ構図の『ダヴィンチ』の絵があるが、これは印象が違っていた。

イギリスの食事のまずさは定評がある。かのジョージ・オーウェルは「イギリスで一番美味しいのはフランス料理である」等とひどいことを書いている。しかしナショナルギャラリーのカフェのサンドイッチはすごく美味しかった。

ラグビー発祥の地イギリスに来てラグビー観戦の機会が無かったのは残念である。コロナが収束したらまた行ってみよう。ツイッケナムでテストマッチというわけにはいかないだろう。ウエールズあたりの労働者のラグビーにその原点みたいなものに接することができるかもしれない。

日本のラグビーが強くなり、プレイが進化しているのを見るのは楽しいものである。しかし最近はなにか商業主義の方向に向かっているような気がする。アマチュアリズムこそラグビーの誇りではなかったのか。そう考えるのは老人の繰り言だろうか。

大学一年の頃、当時全国優勝を続けていた八幡製鉄と一緒に夏合宿ができたのは幸運だった。彼らは普通に通常の仕事を終えて、夕方から韃ヶ谷に来て練習をしていた。美しいとしか言いようがないラック、スピードのあるボックスの球回し、今でも脳裏に浮かんでくる。

私はその後、迷惑クラブに入って、日本代表のキャプテンをしていた岡部さんや、あの秩父宮での英国代表との伝説の接戦に出場したプロップの下園さん等と一緒にプレイさせてもらったのは、身に余る光栄だった。

# 九大ラグビー部とOB会について最近思うこと

前部長 佐藤 浩之助

今年度（令和3年度）は昨年に引き続きコロナ感染拡大の影響もあり、限られた数の試合にしかグラウンドに足を運ばず、誠に申し訳なく残念に思っております。その意味で、試合へのコメントは失礼にあたるので控えさせていただきますが、一つ、シーズンを通して期待を大きく外れたものであったとの印象は、OBの皆さんも同様ではないかと拝察しています。

特に、7月のコココーラグランドでの対東大定期戦では、試合開始早々に平易なミスで先行されるなど、集中力や気迫に欠けるものがあつたように感じておりますが、しかし一方、学生の人達の立場に立って考えれば、新型コロナという難敵が存在し思うような練習ができない状況が大きかったのかと想像し、次のシーズンでの挽回・飛躍を期待しています。世の中の状況は他チームも似たようなことですから、是非個人としてもチームとしても工夫を凝らし、密度の濃い練習を重ねそれら乗り越えて行って欲しいものです。次期における素晴らしい結果を、心から祈っています。

## [ 1 ] ラグビー部とOB会について最近思うこと

さて今年度、ラグビー部全体について特に感じたのは、「部の一体感」、特に「役員会とOB会全体の意識や考え方」にズレがあり、その結果として強化方針・方策にかなりのギャップが生じてしまったように思えます。

これについてコメントを差し上げるのは誠に僭越ですが、しかしかなりの期間、九州大学の一員として奉職したこと、および、九大ラグビー部の部長を拝命しすべての夏合宿に顔を出すなど（部長として以上？[笑]に）関わってきて、『九大ラグビー部を深く想っている』との自負から、感想とコメントを少し述べさせていただきます。

ラグビー部としての今年度の大きな事項は、「外部コーチの招聘」の課題かと思えます。これについてははっきり言えるのは、このような大切な事項にもかかわらず、OB会全体として

- (1) 意見交換・コミュニケーションが不足していたこと
- (2) 決定までが極めて短期間だったこと

という2点が挙げられると思います。現在の「体制」は既にコーチの方をお願いして動き出している訳ですから、それを尊重しながら、今後どのような展開・発展が望ましいかについて、役員会と一般OB会全体がコミュニケーションを深め、議論を掘下げて改善に向かって行かれることを切に願っております。

加えて、聞くところによるとコーチ招聘案を推進する人達の主な論点は、「現在のラグビーは変わったから」等々ということだそうですが、これは違うと考えています。「九大ラグビー部を改革し強くする」ための方策案は、もっと高い視点・広い視野で考えるべきだろうと思っており、したがって、「外部コーチ招聘」に至る前に「やれること・やるべきこと」が多々あると考えております。

## [ 2 ] 大学でラグビーをやる意味

大学でラグビーをやる意味は、大学日本一になること（福大・福工大や鹿児島大等々への勝利を含む）も1つの目標ではありますが、やはり、学生一人一人としてはラグビーを通して心身を鍛え、その上で、よき社会人になることだろうと思います。そしてOB会としては、できる限りそれをサポートし、多くの素晴らしい社会人を世に送り出すことかと存じます。

ただし当然ながら、前者の「勝利を目指すこと」を徹底して追求することを通じて、後者の「よき社会人」への目標がより良く達成できる！

そのため、学生+指導者(監督・コーチ)+OB会全体にとって、強化のための『共通認識』は以下のようなポイントに集約されるのではと考えています。個条書きにしたため表現がきつい印象になっていますが、あくまで、『上を目指す共通認識』という意味合いのつもりです。

### [ 1 ] 考え方・目指すところ

- 1) 学業とラグビーの両立
- 2) 自主性の尊重
- 3) 無我夢中でやること
- 4) 勝利への執念と平常心の大切さ
- 5) 高い志・社会性・品格の構築と堅持

(相手の尊重、フェアプレー、ガッツポーズなし、――等々をはじめとして)

## [ 2 ] 基礎体力の重視

- 1) フィットネス (全てのプレーの基本)
- 2) 筋力とスクラム [バックスの選手も] (これも全ての基本)
- 3) 走力・脚力とスタミナ

## [ 3 ] 基本プレーの重視

- 1) 前傾姿勢 (走る姿勢・スクラムをはじめー) の向上・徹底
- 2) 基本プレーの徹底

そして、外部コーチを依頼した場合、上記のどこまでをカバーし強化できるのか。大変僭越な見解ですが、恐らくは、そのごく一部であろうかと思えます。特に、大切な [ 1 ] については、いかがでしょうかー？ (『OB がすべきこと・できることが多々ある』と考えています)

## [ 3 ] スポーツのプロとアマについて

さて、上記の考えの先にもう一步踏み込み、『プロとアマについて』を考察してみます。

本来、「スポーツというのはアマチュア」であり、「アマチュアでしかあり得ない」と考えています。人類はいにしえの昔、狩りをしたり農耕をしたりして生活を立て、時間的余裕がでてきた時に、スポーツが生まれた訳です。ですから、スポーツ/ゲームそのものを楽しむのが「スポーツの目的」であり、その技を見せて (見たいと思う人が出てくるのは理解しますが) それによって糧を得るのは、「スポーツ本来の目的」から外れてくると考えられます。

(スポーツの技を見せることによって糧を得る仕事は、それはそれで尊重されることですが、その仕事はスポーツそのものではなく別のものになりますし、「別枠」だと考えています)

ですから、他校 (東大、京大、名大 etc.) がプロコーチを導入したとしても、我々「九大ラグビー部」は導入すべきではないと考えます。国立大学、少なくとも国立七大学は、本来のスポーツをする部活動に徹するべきであり、そのことにより、学業と両立させて行う「部活動」を追求し、それらを通して『よき九大人』・『よき社会人』として巣立って行ってほしいと願うものです。

他の考え方 (プロ採択 etc. [\*]) を持っている大学ラグビー部の人達や指導者に対しては、「別の考えのチーム」と理解し、淡々と、我々自身の力量・ラグビー力・人間力を高めたいものです。

( [\*] これは例えば、私立大学の中での「スイセン入学・スイセン入部」や「海

外留学生」の導入の是非に関する問題と類似性があり、「大学とは何か」という問題にぶつかります)

我々OBにとっては(私自身も含め)、まだまだやれることは沢山あると考えています。

\*\*\*\*\* 参考 \*\*\*\*\*

\*令和3年度(2021年度)七大学対戦結果

	北大	東北大	東大	名大	京大	阪大	九大	定期戦	全対戦
北大	-	—(中止)						—	—
東北大	—(中止)	-	—(中止)					—	—
東大		—(中止)	-	○ 45-7 12/25@駒場	○ 22-17 12/19@秩父宮		○ 24-7 7/11@コカ・コーラ	3勝	3勝
名大			× 7-45 12/25@駒場	-		○ 28-26 1/15@西日本神戸		1勝1敗	1勝1敗
京大			× 17-22 12/19@秩父宮		-	○(練習試合) 55-36 10/24@吹田	○ 12-52 12/12@西日本神戸	1勝1敗	2勝1敗
阪大				× 26-28 1/15@西日本神戸	×(練習試合) 36-55 10/24@吹田	-		1敗	2敗
九大			× 7-24 7/11@コカ・コーラ		× 12-52 12/12@西日本神戸		-	2敗	2敗

※ 各校ホームページの対戦結果も参考に作成。[本年も新型コロナウイルス感染拡大の影響で定期戦の中止が目立ち、練習試合も含めて全体の試合数が少ない。]  
 ※ 対国立大戦(一部)など: 京大・阪大戦の練習試合は10/24(表中記載)以外にも8/13に行われ、京大28-10阪大(阪大吹田G)、10/24 東大60-0一橋大(関東対抗戦B@一橋大G)、11/28 全国地区対抗 東北代表決定戦 東北大17-64東北学院大(東北大川内G)

\*令和2年度(2020年度)七大学対戦結果

	北大	東北大	東大	名大	京大	阪大	九大	定期戦	全対戦
北大	-	—(中止)						—	—
東北大	—(中止)	-	—(中止) 4/25@駒場					—	—
東大		—(中止) 4/25@駒場	-	○ 40-22 12/27@名大	—(中止)		—(中止) 7/9@駒場	1勝	1勝
名大			× 22-40 12/27@名大	-		× 12-38 12/20@名大		2敗	2敗
京大			—(中止)		-	○(練習試合) 31-7 3/28@吹田	○ 24-20 12/13@コカ・コーラ	1勝	2勝
阪大				○ 38-12 12/20@名大	×(練習試合) 7-31 3/28@吹田	-		1勝	1勝1敗
九大			—(中止) 7/9@駒場		× 20-24 12/13@コカ・コーラ		-	1敗	1敗

※ 各校ホームページの対戦結果も参考に作成。[本年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で定期戦の中止が目立ち、練習試合も含めて全体の試合数が少ない。]  
 ※ 全国地区対抗(@瑞穂) 2021. 1/2 東北大31-0茨城大、1/4 東北大0-52大体大 その他対国立大戦(一部): 11/22 東大17-27一橋大(関東対抗戦B@駒場)、10/3 阪大36-35神戸大(練習試合)

参考までに、七大学のここ2年の対戦星取表を示します。何か気がついた点などありましたら、メールアドレス [satcho@triam.kyushu-u.ac.jp](mailto:satcho@triam.kyushu-u.ac.jp) または携帯 090-3199-0019 までお知らせ下さい。よろしく願います。佐藤 浩之助

# 大学ラグビー部での学び・その後の社会人に活きたこと

平成 15 年卒 荒井 学

現役マネージャーより玄友の原稿依頼を頂き、最初は「私で良いのか？」と迷いましたが、このような機会を頂くことはなかなか無い、と思い直し依頼を承知したものの、書けるような話はなく、いきなり困りました。40歳を越えたとはいえ、多くの諸先輩方に比べまだまだ経験は浅く、書けるような話はないぞ、と悩みましたが、開き直って背伸びをせず感じていることを書こうと決めました。とはいえ、好き勝手な内容とはいきませんので、「大学ラグビー部での学びが社会人になりどう活きているか」と「社会人での学びから大学時代の自分へフィードバック」という2つの視点で書きたいと思います。

まず、簡単ですが自己紹介を致します。

平成 11 年（1999 年）農学部に入學、平成 15 年（2003 年）に卒業、同年大学院に進学。

平成 17 年（2005 年）に小林製薬株式会社に入社、技術開発部門で家庭用品から医薬品まで様々な製品開発に携わり、気がつけば今があるという感じです。

現役の頃は最大 95kg ほどあった体も、今は 66kg ほどにサイズダウン。

社会人になってからも細々とラグビーに携わっていましたが、徐々にコンタクトが体に堪えるようになり身の危険を感じ、最近では徐々にマラソンへシフトしていません。

さて、大学ラグビー部での学びが社会人になりどう生きているか、について。

「魅せ方」と「意思疎通」、2つの学びです。

私が大学ラグビー部に所属した時代（1999 年～2002 年）は、九大ラグビー部の中では激動の時代だったと思います。簡単に振り返りますと、1年生時にⅢ部リーグ降格、2年生時に人数不足による歯学部ラグビー部との合併（1年間でした）。そこから3年生時にⅡ部復帰、4年生の際はⅠ部復帰までもう少しだったが、叶わず卒業。

※翌年、2003 年にⅠ部復帰しています。当時のメンバー、関係者に感謝です。

少しずつ、各年のトピックを私の記憶と目線で掘り下げていきます。

1999年、1年生のシーズン終了時。

Ⅲ部リーグ降格。さらに、卒業する先輩を除くと残った部員は9人。

私の記憶では、降格直後は焦燥感がありましたが、徐々に現実を受け入れ、先輩、同期を含め表面上は「過ぎたことを悔いても仕方がない。」と割とあっけらかんとしていたように見えたのですが、内心はいろいろな想いがあったと思います。同時に、そんな大変な時期に監督就任された吉村さん。

立て直しのため、各方面に奔走されたことは想像に難くありません。今でも、感謝しております。

2000年、2年生の春。当時の課題、何から手を付けるか？

人集め、雰囲気を含めたチーム再建、の2点だったと自身では記憶しています。

人集めは合格発表、入学手続きを始め、人海戦術。当時の六本松キャンパスで片っ端から声をかけ、ビラを配り、食事に誘い、たらふくご飯を食べさせ、しこたま酒を飲ませベロベロに酔った勢いで入部させる、という今なら多分コンプライアンスに引っかかる手段を取りました。それでも何もなかった、おおらかな時代でした。振り返ると、人集めについては、「ここでラグビーしたいな」と新入生に魅力的に映る組織であればそこまで難航はしないと思いますが、当時はプレイヤー部員9人、下部リーグ降格。お世辞にも新入生に魅力に映るとは思えません。ですが、あの手この手でラグビーボールを持たせ、六本松や箱崎で食事に誘い、酒も多少？飲ませ、人や部の雰囲気・魅力を伝えることが出来たのでしょうか、プレイヤー8人、マネージャー2人の新入部員を迎えることが出来ました。

社会人になって思うのは、一見魅力的に映らない組織・人・ものでも、魅力的に映る部分は必ずある、ということです。騙すといったら言い過ぎですが、魅力をいかに引き出し相手に見せるか、相手に魅力と思わせるか？は知恵・工夫次第でどうにかなる部分がある、と少々強引ですが当時の出来事からの学びです。また、勧誘時にチーム状態は良くないが、一緒に良くしていこう、という姿勢が良く見えていたのかもしれませんが。ただし、魅力的と思わせるだけの、必死にやる活動は大前提ですが。後に、とある後輩と話をした際、勧誘を受けた当初は、こんな状態の部ではやりたくない、と思っていたが気がついたら入っていた、というようなことを言っていた記憶がありますので、どこか魅力があったのだと思います。

なお、酒を飲ませ距離を縮め、相手を懐柔する、という手段。社会人になり、実は一番大事で有効な手段なのでは、と感じています。

さて、新入生を迎えても、辞められてはいけません。この部でラグビーがしたい、と思える雰囲気継続、チーム再建。社会人でも同じことが言えると思いますが、雰囲気は何よりも大事。ここで仕事をして貢献する！という想いを最大限に引き出すには雰囲気と私は思っています。ラグビーに置き換えると、雰囲気良く練習を積み、個々の能力を引き出し組織の力とする。かつ、最良の結果を残す。言うのは簡単ですが、実行は難しい。少なくとも、新入部員に幻滅されない、が最低目標でしょうか。同時に、歯学部ラグビー部の皆さんも合流されたタイミングなので、今思えば、チーム運営は本当に難しかったと思います。監督就任間もない吉村さん、主将はじめ首脳陣の皆様の苦労はいかばかりかと思います。当時、私はあまり深く考えていませんでしたが、今思うと難課題です。

私の記憶ですが、合流当初はやはり見えない壁があったように思います。異なる環境、人でやってきたチームが、「さあ、一つのチームで」と言っても簡単にはいかないことは容易に想像がつかます。そこに、迎えた新入生。当時の主将はじめ幹部の先輩方。意図してあらゆる場面で積極的に意思疎通を取られていたと思います。練習の際には、メンバーの技術、体力もバラツキがありましたので、練習内容意図の説明をより丁寧にされていたように思います。試合で想定される場面、そこでそれぞれが何をすべきか？を説明されていた記憶があります。それを繰り返すことで、チームとして勝つために大事なこと、チームとしての意図、が少しずつ浸透、醸成していった気がしています。なお、ラグビー偏差値の低い私は、出来の悪い部員でありまして、なかなか理解出来ず、しょっちゅう雷を落とされていました。

また、ラグビーを離れると、居酒屋、雀荘、誰かの家での飲み会……。自然と声を掛け合って行っていました。一緒に過ごす時間を多く持つことは、考え方や人となりを理解するには一番だったと思います。どんな手段でも良いので、まずは相手と意思疎通を取り、相手を理解する。そこには同じ目的を共にする仲間。どうにでもなるんだ、という経験が出来たことは大きな財産になっています。その年は、残念ながらⅡ部リーグ復帰とはなりませんでしたが、私には一つ一つの練習やプレーの意図を自分なりに考え実行、修正する、というサイクルの意識と確立が出来た転換点になりました。

社内人になり17年経ちますが、意思疎通、の学びは身に沁みています。業務では、社内の人、社外の人、言語が違う人。いろんな人を相手にしますが、意思疎通は最も気を遣います。何をしても、相手が私の意図、目的を納得・理解できるまで説明する。相手が理解出来ないのは、自身の説明が悪いから。そう思って、

日々業務に当たっています。それまで歩んだ経験はそれぞれですが、同じ目的を達成するために一緒になった仲間。能力、技術は違うのが当たり前。自分の当たり前は、他人の当たり前でない、と意思疎通の大切さは、当時の経験から今も私の中に生きています。

また、現在（2022/1）はコロナ禍で、同じ空間で一緒に過ごすことは悪、とされる時世です。また、若手社員は就業後のプライベートな時間に居酒屋や麻雀、というものに興味を示さず、個々の時間を大切にしている傾向があるように感じています。それ自体悪いこととは思いませんが、我々が当たり前のように思っていた手段は通用せず、ハラスメント全盛のご時世、無理強いも出来ません。

本音で意思疎通を取るには？と日々苦勞していますが、若手の考え方を知り、理解するよう自分で考え、行動し、修正、を繰り返しています。

次に、社会人になった自身から学生時代の自身へのフィードバック。「腐っても良いことはない」という学びです。

2001年、大学3年時の夏合宿の試合で右膝の骨を骨折、秋のリーグ戦を前にチームを離脱。思考停止のまま病院に担がれ、膝蓋骨粉碎骨折、という診断がつき手術が決定。呑気なもので、粉碎骨折、というワードの意味がわからず、担当医に粉碎の意味を聞いたことを覚えています。「うーん、複雑骨折の1ランク上の骨折」と言われ、わかったような、わからないような感覚になったことを覚えています。手術は無事に終わったものの、膝の骨はボルト、ワイヤー等、金属で固定。金属を抜くことも考え、完治までは少なくとも1年、と担当医に告げられ、「ふーん・・・」と聞いていましたが、時間軸で考えると、4年生、最後の秋シーズンには間に合わないことを意味します。それでも何とかなるだろうと、根拠のない自信のようなものがありませんでした。しかし、それはすぐに打ち砕かれます。術後1週間はベッドから動けず、車椅子に乗ったとき、筋肉が落ち足は見るからに細り力が入らず、膝が曲がらない現実を突きつけられます。歩くことはまだまだ先のステップ。

えらいことになったと、担当医の言葉が嘘でも脅しでもないことを思い知らされます。1ヶ月強の入院生活でしたが、同期、先輩、後輩、たくさんの人に励まされリハビリ、退院。その頃、チームはリーグ戦全勝、いざ入れ替え戦、京大戦、を迎えるという最高潮でした。一方で、自身は何も出来ない虚しさ、そして1年間プレー出来ないという思いから、チームの輪に加われず、もう駄目なのかな、という思い込みにとらわれていました。所謂、腐った状態、です。ですが、それは勝手な思い込みだったと気が付きます。いろんなシーンで、先輩、同期から怪我前と変わらな

い叱咤、声掛けが飛びます。お前は仲間だぞ、と認めているからこそその叱咤、と気付くまで時間がかかりました。気がついた時に、関係者、特に同期にどれだけ迷惑をかけたか、目からウロコがボロボロ落ちていくような感覚は今でも思い出せます。同時に、そう見てくれていた周りに感謝、の一言でした。

自分で勝手に思い込み、勝手に腐る。腐っても何一つ良いことはなく、時間をムダにする、下手をすると仲間の信頼を失うという一番やってはいけないことになります。社会人になり、思い通りにならないこと、理不尽なことはゴマンと経験し、ときには腐りそうなきときもありました。そんなときは右膝の手術痕をじっと見つめます。自分に何が出来るか、何が求められているかを探し、実行する。そうすると、目の前の現実が変わらずとも、腐っているときと、見える風景が変わります。当たり前のようで、なかなか難しいのですが、未熟だった過去の私に、今だから出来るフィードバックです。出来るものならやりたいですが、過去は変えられませんので、先だけ見据えるようにしています。なお、2001年シーズンは、リーグ戦全勝、II部リーグ復帰、最後の京大戦も勝利し、リーグ戦、定期戦共に全勝、という偉業を達成しています。

2002年、4年生になるも、相変わらず復帰に向け筋トレ、復帰への訓練。そうこうしているうちに春シーズンが終わり、夏に。夏休みに金属を抜き、秋シーズンも深まった頃復帰が叶い、試合の出場機会だけでなく、スタメンの機会まで頂きました。しかしI部への入れ替え戦挑戦権を1点差で負け失い、京大戦も敗れて4年生を終えました。直後は、やり切ったような、忘れ物をしたような、複雑な感情でしたが、自分なりに納得していった気がします。

学生時代からの学び、今の自分から過去の自分へのフィードバック、という視点で自身を振り返り、文字にしてみました。当初、何を書こうかと悩みましたが、いざ当時のことを思い出すと出てくるもので、やはりあの4年間はこれまでの人生の中でも特別だったのだなと改めて思います。

九大ラグビー部での4年間は、上記以外にもたくさんの出来事があり、間違いなく人間を大きくしてくれました。そして、その経験は間違いなく今も生きています。先輩・同期・後輩、皆さんに支えられて過ごした4年間、卒業後の今も、皆様にいろいろなお世話になっていることに改めて気が付き、改めて感謝です。これからも、九大ラグビー部に恩返しをしていこうと思っています。

殆ど私の目線、主観で書いてきましたので、当時を知る方には突っ込み所が多々あるかも知れませんがどうかご容赦下さい。

最後になりますが、このような機会を頂き本当にありがとうございました。

# 新リーグ開幕の日に思うこと

平成 19 年卒 高橋 英樹

2022 年 1 月 8 日、ラグビー新リーグ「リーグワン」の開幕を TV で観戦しながら、本稿を執筆している。7 日の開幕戦が新型コロナウイルスの陽性者確認によって中止となり、1 日遅れとなったが、開幕できたことを喜ばしく思う。

「リーグワン」の前身である「トップリーグ」が開幕した 2003 年、私は九州大学に入学した。入学と同時に、新しいことを始めたい、受験によってなまった身体を鍛えたいと思った私は、魅力的な先輩方がいた九州大学ラグビー部に入部した。入部から数か月が経ち、ラグビーのルールや戦術が少しずつ理解できたころに開幕したのが「トップリーグ」だった。開幕の日、部員たちと博多の森球技場まで地元サニックスの応援に行き、クボタを倒した感動的勝利をついこの間の様に思い出す。

あの日から 18 年超の時間が過ぎた。私は、吉村監督の偉大な助言、厳しい先輩たちの指導、優しい同期・後輩たちの協力を得て、あまり試合には出場できなかったが九州大学ラグビー部を 4 年間で卒業し、会社員となって 15 年目となった。社会人になってからも東京で藤山先輩や森山先輩のラグビーのお手伝いをしたり、国武先輩にお誘いいただき原先輩の監督のもとでラグビーをプレーしたりと 33 歳で現在住んでいる京都に転勤するまで、ラグビーを続けることができた。



その間、ラグビー部の経験や存在が私の会社員生活をサポートしたことは言うまでもない。厳しい先輩たちの指導は、不条理な社会での経験を乗り越える力になった。仕事が上手く進まないとき、クラブラグビーはそれを忘れさせてくれる良いリフレッシュの時間を作り、会社以外での良き仲間と出会える機会を与えてくれた。また学生時代に吉村監督から、「九州大学の学生は島国根性で内向きだ」という様

なことを言われて当時は理解できなかったが、東京に出て、社会における多様性を感じ、時間差でその助言を理解したこともあった。卒業してから時間が経っても、飲みながら話すのはあの4年間の話だ。

昨年2021年6月20日に娘が生まれた。京都に転勤が決まった2018年7月に入籍し、2019年12月の京都大学定期戦前日に結婚式を挙げたことと合わせ、しばらく連絡できていない方にはここで報告したい。加えて、このコロナ禍に元気に産まれてきた娘、またそれを手助けしてくれた医療関係者と妻に心から感謝したい。



娘が生まれてから私の生活の中心は、彼女であり、彼女の日々の成長が私の楽しみである。ミルクの飲む量が増えた、首がすわった、寝返りをうった、お座りができた、歯が生えたなど大なり小なり、毎日成長を感じることができる。彼女の成長のために、良い環境や機会を提供したいといつも思う。こんな感情は私だけでなく、多くの親が子に持つ感情だろう。

似た感情を九州大学ラグビー部の現役部員に抱く玄友会の会員は多いのではないかと。血が繋がっていないから別だ。関係ない。という様な島国根性で内向きなことを言う会員はいないと思う。自分たちに成長の機会を与えてくれたラグビー部の現役部員に心から良い環境や機会を提供したいと考えるだろう。

現役部員は応援したいが、玄友会を通してではなく直接支援したい。現役の時にOBから嫌なことを言われたので玄友会とは距離を置きたい。という人もいると思う。しかし、コーチの招聘など、まとまった資金でないとできない現役への支援がある。その支援ができるのが玄友会だと考えている。

最近のラグビーを観ていると、フィジカルの向上は明らかだ。単純に体重だけ比較しても、2006年の日本選手権で、早稲田大学がトヨタ自動車に勝利した時、スタメンで100kgを超える選手は両プロップの2名であったのに対して、今年の大学選手権決勝に進出した帝京大学が7名、明治大学が4名である。FWだけに着目すれば、95kgを下回る選手はいない。2015年、2019年の日本代表の活躍とともに、

国内においてフィジカルトレーニングは大きく進化した様に感じる。筋力トレーニングにしても私の現役のころは、いかに大きい重量を上げるかだったが、今は使える筋肉や体幹を効果的に鍛えるかに変化している。また、対戦相手のフィジカル向上に対して、現役が大きく劣後する様であれば、安全性に懸念を抱く。フィジカルを強化するために、その専門のトレーナーや必要な器具の支援が重要になるだろう。さらに、この他にも現役が強くなるために必要としている支援があるのではないだろうか。

『玄友 2020』において吉村元監督が「九州大学ラグビー部の歴史：氷河期を乗り越えて」で書かれた通り、吉村元監督が作った学生を主体としたチーム作りが、現在においても継続していることが九州大学ラグビー部の強みだと思う。そこに学生が必要としている支援を可能にする玄友会が存在すれば、より強いチームを作れると私は考えている。

支援はお金だけではない。という意見がある。その通りだと思う。金融で働いているが金でものを言わす人は嫌いである。他方、現実から目を背けたくはない。京都大学ラグビー部には天然芝・人工芝のグラウンドができた。100周年を迎えた東京大学ラグビー部には支援基金のみで1,800万円を超える寄付が集まっている。この2校と現役は定期戦を戦うのだ。

・京都大学丸和運輸機関ラグビーフィールド整備事業

<https://125th.kyoto-u.ac.jp/projects/rugby/>

・東京大学基金：ラグビー部支援基金

<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt29>

TVに目をやると、開幕した「リーグワン」のDivision1、Division2に九州のチームはいない。サニックスと九州電力がDivision3、コカ・コーラは活動を終了した。この事実寂しさを感じる。九州大学ラグビー部は2025年に100周年を迎える。その時に同様の寂しさは味わいたくない。

最後に、2021年末に京都に帰省された朝比奈先輩と食事をした。卒業以来、会費を払っていなかったが、今回のコーチ招聘に65,000円寄付し、年会費を納入したいとの申し出があった。卒業から年月が経ち、会費を支払うきっかけを探している方もいると思う。本稿がそのきっかけとなり、会費を納入される方が1人でも増えることを願う。





# 吉田しんいち歯科医院

歯科・歯科口腔外科・小児歯科

歯科健康診査・歯科健康相談

【診療時間】

◆月～土

9:00～13:00

14:00～18:00

※日曜・祝日 休診

駐車場完備

県立体育館前

油木バス停前(長崎市油木町11-8)

TEL.(095)841-7040



F U K U O K A

[www.tricolor-rugby.com](http://www.tricolor-rugby.com)

ラグビーショップ

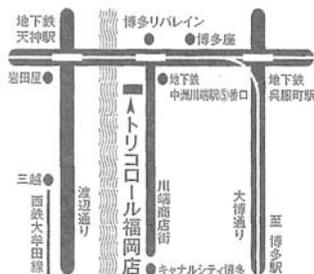
トリコロール 福岡店

〒812-0026 福岡市博多区上川端町11番283号  
野中ビル2F

TEL.(092)291-2020 FAX.(092)291-2010

E-mail: [fukuoka@tricolor-rugby.com](mailto:fukuoka@tricolor-rugby.com)

<http://www.tricolor-rugby.com>



名刺広告  
(関東・関西・その他の地区)

(昭和 39 年卒)

藤野 宏

(昭和 40 年卒)

井上 康 昭

(札幌市在住)

東京理科大学 工学研究科/理学部 非常勤講師  
東海大学 理学研究科 客員研究員  
東京大学 新領域創成科学研究科 講師  
プラズマ理工学国際会議 国際共同議長 (昭和 43 年卒)

理学博士 佐藤 浩之助

九州大学 名誉教授  
核融合科学研究所 (元 名古屋大学プラズマ研究所) 名誉教授

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 1-15-8 TEL/FAX 0422-57-8009  
E-mail satcho@triam.kyushu-u.ac.jp 携帯 090-3199-0019

(昭和 48 年卒)

俵 輝 美

スクラムワークス 社会保険労務士事務所 代表  
学校法人山崎学園 富士見中学高等学校 (東京都練馬区) 理事  
一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 東関東支部 支部長

(昭和 45 年卒)

S45 年卒 中村 恒美

《日本産業カウンセラー協会では次の業務を全国で実施しています》

- ・メンタルヘルス研修、ハラスメント研修、コミュニケーション研修
- ・ストレスチェック関連業務
- ・産業カウンセラー養成のための講座
- ・国家資格キャリアコンサルタント資格取得のための講習

〒262-0006

千葉市花見川区横戸台 18-2

TEL : 080-1157-7352

E-mail:scrum.works10@gmail.com


**九州大学ラグビー部OB会**  
 (玄友会)

関西支部長 **秋月誠一** (S52年卒)

---

自宅 〒607-8242 京都市山科区勤修寺柴山 8-17  
 TEL : 090-2017-1136  
 E-mail s\_akitsuki33@yahoo.co.jp

(昭和 54 年卒)
 
**Kawasaki**  
 Powering your potential

**森田 直弘** 工学博士

システム技術本部  
 システム設計部 空力・材料技術課  
 プロシニア

**川重岐阜エンジニアリング株式会社**

〒504-0971 岐阜県各務原市川崎町2番地  
 Tel: 058-382-5346 Fax: 058-382-1519  
 E-mail: morita\_naohiro@khi.co.jp


**TAKENAKA** (昭和 55 年卒)

常務執行役員  
**川添 卓司**  
 技術士(建設部門)

**株式会社 竹中土木**  
 〒136-8570 東京都江東区新砂1丁目1番1号  
 tel: 03-6810-6210 fax: 03-6660-6300  
 E-mail: kawazoe-t@takenaka-doboku.co.jp  
<https://www.takenaka-doboku.co.jp/>




 (昭和 55 年卒)

理事  
 港湾物流戦略室長  
**久米 秀俊**

一般社団法人日本港運協会  
 〒105-8666  
 東京都港区新橋6丁目11番10号 港運会館  
 電話 (03) 3435-8835 (7階直通)  
 (03) 3432-1050 (代表)  
 F A X (03) 3435-8836  
 E-mail : h\_kume@jhta.or.jp

**ARTERIA** おやか情報通信プラットフォーム

取締役専務執行役員CCO  
**有田 大助** (昭和 57 年卒)

**アルテリア・ネットワークス株式会社**  
 〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番8号  
 住友不動産新橋ビル  
 TEL: 03-6722-5604  
 E-mail: daisuke.arita@arteria-net.com  
 URL: <https://www.arteria-net.com>


 東京一部上場  
 証券コード: 4423



(昭和 57 年卒)


**タジマ食品工業株式会社**

取締役  
 総務担当  
**国武 幸伸**

兵庫県豊岡市日高町東芝435 〒669-5328  
 TEL 0796-42-1095(代表)  
 TEL 0796-34-8361(伊佐川) FAX 0796-34-8364  
 E-mail : y.kunitake@tajima-shokuhin.co.jp


 JMA 食品工業部  
 ISO9001 認証  
 減1-0788


 JMA 食品工業部  
 登録商標は、JMAマークと、JMAマーク

Recycled Paper

(昭和 57 年卒)

監理部門  
監理部  
エグゼクティブダイレクター

**曾我部 修一**  
一級建築士



AZUSA SEKKEI

株式会社 **梓設計** 九州支社  
福岡市中央区浜辺通5-23-8 サンライトビル  
〒810-0004 直通:080-4883-9572  
Tel:092-713-0313 Fax:092-713-0670  
Mail:sogabe-s@azusasekkel.co.jp

もっと安全に、もっとスムーズに

(昭和 57 年卒)

取締役 常務執行役員  
保全企画本部長

**源島 良一**




中日本高速道路株式会社  
名古屋市中区錦2丁目18番19号  
三井住友銀行名古屋ビル 〒460-0003  
TEL:052-222-1432 FAX:052-232-3739  
E-mail:r.gejima.aa@c-nexco.co.jp  
[https:// www.c-nexco.co.jp](https://www.c-nexco.co.jp)

森林認証紙使用

 **東京港埠頭株式会社**

常務取締役

**原 浩** (昭和 59 年卒)

技術士(建設部門)  
労働安全コンサルタント(土木)

〒135-0064  
東京都江東区青海二丁目4番24号  
青海フロンティアビル10階  
TEL 03 (3599) 7300 FAX 03 (3599) 7491  
URL: <https://www.tptc.co.jp/>  
E-mail: harah@tptc.co.jp



(昭和 60 年卒)

専務執行役員

**武藤 和博**

日本アイ・ビー・エム株式会社  
パナソニック・エンタープライズ事業部長

〒五三〇一〇〇五  
大阪府大阪市北区中之島三丁目二番四号  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
TEL(〇六) 六四四九一ニ三〇〇

(昭和 60 年卒)

**デジタル庁**

**江崎 浩**  
Chief Architect

070-8706-3627  
HirEsaki@digital.go.jp  
[www.digital.go.jp](http://www.digital.go.jp)

東京大学 大学院 (昭和 60 年卒)  
情報理工学系研究科 教授

**江崎 浩**

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1  
E-mail [hiroshi@wide.ad.jp](mailto:hiroshi@wide.ad.jp)  
TEL (03) 5841-7465  
FAX (03) 5841-6702/7465  
<http://hiroshi.hongo.wide.ad.jp/hiroshi/>

**ThermoFisher**  
SCIENTIFIC

(昭和 60 年卒)

洞 尚文

マネージャー  
カスタマーサポート本部  
フィールドサービス エンタープライズサービス

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

〒221-0022  
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9

0120-753-670 お客様専用  
0120-753-671 fax  
070-1578-0597 mobile

naofumi.hora@thermofisher.com  
www.thermofisher.com

**Polyplastics**

(昭和 60 年卒)

部長

黒川 洋一

品質保証部

ポリプラスチックス株式会社

東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル

〒108-8280

(総合受付14階)

TEL : (03)6711-8605 / FAX : (03)6711-8616

E-mail : yoichi.kurokawa@polyplastics.com

https://www.polyplastics-global.com

## がんばれ九州大学ラグビー部

昭和 60 年卒

江崎 浩 黒川 洋一 田丸 圭一 玉井 徳人  
水田 英憲 久米 正二 河野 隆 國武 哲治  
大野 和夫 武藤 和博 野間 秀哉 吉村 哲也  
亀井 伸一郎 洞 尚文 川副 剛之



東ソー物流株式会社

(昭和 60 年卒)

取締役 兼 上席執行役員  
技術・安全本部長  
兼 業務改革推進本部長 兼 業務改革推進室長  
兼 カーボンニュートラル推進室長  
事業本部担当 RC委員会委員長

吉村 哲也

山口県周南市野村1丁目23番15号 〒746-0022  
TEL (0834) 63-0081 FAX (0834) 63-0935  
E-mail: t\_yoshimura@tosoh-logi.co.jp  
URL: http://www.tosoh-logi.co.jp

支社 東京、四日市、大阪、中国(上海・広州・瑞安)、シンガポール



支店次長

田丸 圭一

鹿島建設株式会社 中国支店

(昭和 60 年卒)

〒151-8544 広島市南区段原南一丁目三二番五三  
TEL 〇〇八二二 五五三二七九二  
FAX 〇〇八二二 五五三二七九二  
E-mail: tamaran@kajima.com



(昭和 63 年卒)

黒川 昌子

**FUJIFILM**  
Value from Innovation



フォトエリア事業部  
エリア営業部長

西元 宏 (平成 1 年卒)

E-mail: hiroshi.nishimoto@fujifilm.com

富士フイルム イメージングシステムズ株式会社  
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-32 富士フイルムグリーンビル  
Tel.03-6417-3792 (グループ内線) Fax.03-6417-3800



**SOMPO** ホールディングス

安心・安全・健康のテーマパーク

シニアマーケット事業部  
スマートコミュニティ室  
特命部長兼室長

中村 成志 (平成 3 年卒)

SOMPOホールディングス株式会社

Tel:070-7783-6541

E-mail:shigeshi.nakamura@sompo-hd.com

<https://www.sompo-hd.com/>



(平成 5 年卒)

**Kawasaki**  
Powering your potential

佐藤 和久

エネルギーソリューション & マリンカンパニー  
調達本部 プラント調達部  
調達二課  
主事

川崎重工業株式会社

〒650-8670 神戸市中央区東川崎町3丁目1番1号

Tel: 080-4068-9166 / 078-682-5211 Fax: 078-682-5540

E-mail: sato\_kazuhiisa@khi.co.jp URL: www.khi.co.jp

**MUFG**

(平成 6 年卒)

川尻 伸一郎

調査役

株式会社 三菱UFJ銀行

大阪融資部 事業コンサルティンググループ

〒541-8530 大阪市中央区伏見町3丁目5番6号

shinichiro\_kawajiri@mufg.jp

Tel:06-6229-0217 (直通)

Tel:06-6206-8332 (総代機)

Fax:06-6231-1245

[www.bk.mufg.jp](http://www.bk.mufg.jp)



(平成 7 年卒)

千葉工場次長

藤 俊和

JSR株式会社

千葉工場

千葉県市原市千種海岸5番地 〒299-0108

Tel.0436-62-8061 Fax.0436-62-1169

<https://www.jsr.co.jp>

E-mail:toshikazu\_tou@jsr.co.jp

可能にする。  
化学を。



(平成 8 年卒)

精密電子研究所  
先端電子材料開発室

西村 秀樹

JSR株式会社

四日市研究センター  
三重県四日市川尻町100 〒510-8552  
Tel.059-345-8196 Fax.059-345-8275  
E-mail:hideki\_nishimura@jsr.co.jp



(平成 8 年卒)

大隈 亨

Toru Okuma  
コンプレッサ技術部  
システム設計4室長

株式会社デンソー

本社  
〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1  
Tel 0566-61-3218 Fax 0566-25-4689  
toru.okuma.j7m@jp.denso.com  
<https://www.denso.com/jp/ja/>



支払サービス部 給付金G  
課長代理

峯 和史

消費生活アドバイザー  
個人情報保護士

日本生命保険相互会社

〒541-8501 大阪府大阪市中央区今橋3-5-12  
東館7F  
Tel.06-6209-1031  
E-mail:mine05349@nissay.co.jp  
URL:<https://www.nissay.co.jp>

(平成 10 年卒)



(平成 13 年卒)

園芸部 青果販売課  
主任

遠 山 晃 広

愛知県経済農業協同組合連合会

〒441-8525 豊橋市西幸町字立松111番地  
東三河センター  
TEL(0532)47-8225 FAX(0532)47-8247  
URL:<http://www.ja-aichi.or.jp/>  
E-mail : to-yama@ja-aichi.or.jp



装巻部 フังก์ション課  
シニアマネージャー

畑 田 真 宏  
Masahiro Hatada

株式会社 出雲村田製作所

〒699-0696 島根県出雲市笠川町上原江2308  
☎0853-72-4547 📠0853-72-4548  
✉masahiro.hatada@murata.com

(平成 14 年卒)



(平成 15 年卒)

開発・調達統括部  
品質管理部  
設計品質推進グループ

荒 井 学

m.arai@kobayashi.co.jp



小林製薬株式会社 製造本部

〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南 3-13-35  
Fax. 06-6886-8284  
携帯電話 080-4062-3152

(平成 19 年卒)

NOMURA

法人課  
課長

高橋 英樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト



野村證券株式会社 京都支店

〒600-8006 京都府京都市下京区四条通堺町角  
TEL 075-255-1796(直通) 075-221-7211(代表) FAX 075-211-7248  
E-mail takahashi-Ogw6@jp.nomura.com  
E-mailによるご注文や投資相談は承ることができませんので、ご了承ください。

(平成 20 年卒)



名古屋支店  
戦略チーム  
課長代理

伊地知 彬人

い ち ち 彬 人  
事業承継・M&Aエキスパート

オリックス株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-9-29 〒460-0003

ORE名古屋伏見ビル

携帯: 080-2064-8121

E-mail: akito.ijichi.cc@orix.jp

TEL: 052-218-0400 FAX: 052-201-8024

https://www.orix.co.jp

(平成 25 年卒)

BE KOBE



KOBE  
UNESCO City of Design

神戸市建設局道路工務課

岩見 康平

いわみ こうへい

〒651-0084

神戸市中央区磯辺通 3-1-7

コンコルディア神戸 4F

TEL: 078-595-6428

FAX: 078-595-6419

Mail: kohei\_iwami@office.city.kobe.lg.jp

KEYENCE

(平成 26 年卒)

柘植 和哉

Kazuya Tsuge

Japanese Account Sales Manager  
Vision System Product Line

KEYENCE (THAILAND) CO., LTD.

Chonburi Office

86/2 Moo 1, T. Don Hua Lor, A. Muang  
Chonburi 20000, Thailand

Phone: +66-38-195-006

Japanese Direct Line: +66-2-369-2005

Mobile: +66-65-984-0075

E-mail: tsuge-k@keyence.co.th



LINE WORKS

MUFG

(平成 26 年卒)

鶴田 勇気

部長代理

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

事業法人第三部

〒100-8127 東京都千代田区大手町1-9-2

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

tsuruta-yuuki@sc.mufig.jp

Tel: 03-6742-6985

Fax: 03-6742-1915

www.sc.mufig.jp

(平成 28 年卒)



(仮称) KAZEN新本社ビル新築工事

内野 雅大

鹿島建設株式会社 東京建築支店

工事事務所 東京都千代田区東神田1-5-2 〒101-0031

黒崎ビル4階

Tel: 03-5829-3788 Fax: 03-5829-3789

Email: uchinom@kajima.com

森林認証紙を使用

**DENSO**  
Crafting the Core

**井上 晃太**

Kota Inoue  
エレクトロニクス機器製造 2部  
製造企画室 生産管理課

(トヨタ自動車株式会社より出向)

株式会社 デンソー  
広瀬製作所  
〒470-0309 愛知県豊田市西広瀬町桐ヶ洞543  
Tel 0565-46-6369 Fax 0565-46-3293  
kota.inoue.j2m@jp.denso.com  
<https://www.denso.com/jp/ja/>

(平成 28 年卒)

**緒方胤浩**

(平成 29 年卒)

おがたかずひろ OGATA Kazuhiro

フードデザインリサーチャー

京都工芸繊維大学 大学院 博士後期課程

ogata@ogatakazuhiro.com

090-6836-8394

「フードデザイン：食の未来をデザインする」(仮題)  
2022年7月、BNN 新社より刊行予定



**JFE スチール 株式会社**  
西日本製鉄所

(倉敷地区) 設備部 開発・設計室

**池田 僚輔**

(平成 30 年卒)

倉敷市水島川崎通1丁目 〒712-8511  
TEL(086)447-3606 FAX(086)447-3620  
E-mail:ry-ikeda@jfe-steel.co.jp



TOKIO MARINE  
NICHIDO

**東京海上日動**

(平成 30 年卒)

東京新都心支店  
副主任(開拓第二チーム)

**入木田 一輝**

東京海上日動火災保険株式会社  
東京都渋谷区代々木2-11-15  
新宿東京海上日動ビル5階 〒151-8560  
Tel:03-3375-8505 (代表) Fax:03-3375-8508  
KAZUKI.IRIKIDA@tmnf.jp  
携帯: 090-1543-1953

To Be a Good Company

(平成 31 年卒)

**入木田 みなみ**

第八ビジネスデザイン局  
第五アカウントチーム  
ビジネスプランナー

(令和 2 年卒)

**梅 寄 歌 音**

株式会社 博報堂  
〒107-6322 東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー  
M: 080-4830-6115  
kanon.umezaki@hakuholdo.co.jp

・HAKUHODO・

**TOYOTA**



上原 脩

調達本部  
ユニット部品調達部 SDA推進・電子/シャシー室  
自動運転・先進安全グループ

トヨタ自動車株式会社

〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1番地

Mobile 050-3192-6538 Fax 0565-23-0529

E-mail: shu\_uehara@mail.toyota.co.jp

(令和3年卒)

# 令和三年度 総括

# 2021年度シーズン総括

監督 平成21年卒 近木 俊介

2021年12月12日 JR西日本神戸総合グラウンド。深い緑に色づいた綺麗な天然芝。伝統の京都大学との定期戦は例年とは異なり今年はこちら神戸で開催された。キックオフの3分前、セピアと濃紺、両校のジャージがピッチサイドでそれぞれ大きな輪を描く。九大の円陣内では檄や仲間を鼓舞する声が飛び交う。4年生のリーダー達が中心となりゲームプランの最終確認を行う。気持ちが昂ぶり目に涙を浮かべているプレイヤーもいる。2021年九大ラグビー部の最終戦、このメンバーで戦う最後の80分が今まさに始まろうとしている。

この1年を思い返してみると、2020年に引き続きまたしても新型コロナウイルスに振り回されるシーズンとなった。グラウンドやトレーニング場の使用に制限がかかるだけでなく試合数も減少。本来なら9試合予定されている秋の公式戦は僅か3試合となってしまった（結果は1勝2敗 九州7位）。コロナ禍のラグビーは日々の体温検査や消毒をはじめ、挙げれば切りがないほどに手間とストレスがかかる。九州リーグ内でも他校のラグビー部で多くの感染者が出る中、九大ラグビー部の感染者数は今年も0。マネージャーを筆頭に感染対策を徹底してコロナ禍のシーズンを乗り越えた部員たちには本当に敬意の念を抱く。この経験は必ず今後の人生にも生きてくると思う。

今、九大ラグビー部は大きな変革を迎えようとしている。年々、力を伸ばす私立大学などに対抗するために今年から新たにプロコーチの藤森啓介さんと契約を結ぶこととなった。藤森さんは早稲田大学を経て監督・コーチとして数々の実績を持つ方で、今年の秋から数回指導に来てもらっている。その指導力は確かなもので、プレイヤー達はレベルの高いラグビーに触れ、自身の成長を実感できることに生き生きとした表情をみせるようになった。これまで九大ラグビー部はOBや大学関係者が監督・コーチとなりほとんど無償でチームを支えるという形をとってきた。そこから根付いたのが九大の伝統「学生主体」の精神。藤森さんはこの「学生主体」という伝統を理解して、より「学生主体」の意識を伸ばすべくコーチングをおこなってくれているので本当に頼もしく思う。去年からメディカル担当を務める大庭さん（元サニックスのプレイヤーでコーチングも兼任している）とともに、2人の存在が間違いなくチームの成長に大きく貢献している。現役強化のために、柔軟な発想でこのような体制を築いてくれた玄友会役員の皆様には

本当に感謝を申し上げたい。そして諸先輩方から多大なご支援を頂いている分、必ず来年以降の結果につなげていきたいと思う。

話を冒頭の京大定期戦に戻す。

京都大学とは毎年接戦となるものの2018年以降3連敗が続いている。今年の4年生は一度も京大を破ったことがなく、なんとしても勝ちたい相手としてシーズン目標の一つに京大戦の勝利を掲げていた。一方の京大も、九大より一足早く2022年に100周年を迎えるとあってチームの強化に近年力を注いでいる。互いの意地がぶつかる80分。結果、今年も軍配は京都大学に上がった。顔をくしゃくしゃにして泣き崩れる九大のプレイヤー達。涙が伝染していく。不本意な結果で引退を迎える4年生も、最後に4年生に「勝ち」を届けられなかった下級生も、試合に出られずベンチでサポートに回ったメンバーも皆泣いている。監督として勝つために何もしてあげられなかったという悔しさがこみ上げる一方で、私は正直「本当にいいチームだったな」と強く実感していた。4年生たちがチームを引っ張るために苦勞していた姿を思い出す。もしかしたら本来は集団を引っ張る気質ではなかったのかもしれない。それでも一生懸命に勝利を目指し必死にもがき続ける4年生の頑張り次第にチームの結束力が強まっていった気がする。

2021年シーズンは公式戦・定期戦ともに敗れ、結果的には当初の目標には遠く及ばなかった。ただ今年の4年生が作り上げたチームは本当に素晴らしかったと思う。引退する4年生は今年の経験を糧に今後の人生を歩んでほしいし、こんなに大切な仲間ができたことを誇りに思ってもらいたい。そして、その土台となった九大ラグビー部にこれからはOBとして恩返しをしてほしい。

4年生の皆さん最後の1年間本当にお疲れ様でした。そして残された下級生の皆さん、今年の4年生が築いた結束力をベースに、そして京大定期戦の悔しさを忘れずに、これからもっともっとよいチームを築いていきましょう。

# 今年度のシーズンを終えて

主将 大久保隼鷹

令和 3 年度九州大学ラグビー部主将を務めさせていただきました大久保です。今年度も、OB・OG の皆様をはじめとする多くの関係者の方々にご支援・ご声援をいただきました。心よりお礼申しあげます。

今年度は「リーグ戦全勝」「定期戦全勝」という 2 つの目標を掲げチーム作りを行ってまいりました。1 つ目の目標の「リーグ戦全勝」について、マネージャーを含む 4 年生全員で今年の目標設定について話し合った結果、全員の共通認識としてあったのが、「4 年間上位校に負け続けてきたこと、上位校に負けてもどこか仕方が無いという雰囲気が部の中にあったことが悔しい」という 2 点でした。それを踏まえて例年には無い高い目標を立て、今年 1 年で九州大学ラグビー部を大きく変えたいと考えこのような目標に取り組みました。

2 つ目の目標の「定期戦全勝」について A チームのみでなく B チームの勝利も含めて全勝という表現を使っています。A チームのみでなく B チームの勝利まで含めた理由として、B チームに属するメンバーがより主体性を持つことができるだろうと考え、それによってチーム力の底上げが期待できると考えたためです。

本年度のチームは 4 年生プレーヤーが 6 名しかおらず、チーム全員が試合に出る可能性があり基礎力を高める必要があったため、①ハンドリングスキル②フィットネス③コンタクトスキルの 3 つを特にフォーカスし練習を行ってきました。練習にあたっては、メディカルコーチである大庭さん、学生コーチである濱田の意見を参考に進めてきました。また、対外試合が組めない状況下であったため部内でゲーム形式の練習を積極的に行ってきました。10 月からはプロコーチである藤森さんにきていただき新戦術の導入やチームビルディングのお手伝いをいただき、関係者全員の力を合わせていかに勝利を掴むことができるかを試行錯誤しながら練習を進めてきました。

結果としては上記の目標を達成することができず、非常に悔しい結果となってしまいました。OB、OG の方々をはじめとして、たくさんの方にご協力いただいたにも関わらず結果を残すことができず申し訳ないです。今年は院生にもご協力いただき、全員が懸命に練習に取り組んできましたが目標を達成できず主将として責任を感じております。

目標が達成できなかった理由として以下の 2 点があげられると思います。1 点目はフィジカル不足です。コロナによる変化に対応が遅れ元々予定していたトレーニングが行えなかったこと、フィジカルの重要性をチームに深く浸透させることが足りていませんでした。2 点目は人材強化の視点に欠けていたことです。新歓をより戦略的に行い多くの人材を集めること、そして集まった人材がいかに試合で活躍できるかを考えた練習設計を行っていくことが足りていませんでした。

この 2 点に共通することとして、長期的な視点に立ってチーム運営を行っていくことが足りていなかったと言えます。1 年単位で考えるのではなく時間軸をより伸ばし、これからの九大ラグビー部が続いていく中で受け継がれていくような仕組み、カルチャーを作っていくことに取り組む必要があると考えています。最上級生は来年度以降 OB・OG の方やコーチ、監督とより綿密にコミュニケーションをとりながら、自分たちが達成したい目標とこれからの九大ラグビー部に必要なことは何かということに日々向き合いチームづくりを進めることが大切だと思い

ます。現役部員はこれから様々な状況に直面すると思いますが周囲の人たちに大いに頼りながら進んでいってください、応援しています。

最後に OB・OG の皆様、改めまして多大なるご支援をありがとうございました。創部 100 周年に向け、今後とも九州大学ラグビー部をよろしく願っています。

# 令和三年度年間行事・全戦績

# 令和 3 年度年間行事

月	日	現役	OB 会
3	2	シーズンイン	
4	11	木元杯九州 7 人制大会 於熊本県民総合運動公園ラグビー場	
5	30		OB 総会
7	11	東京大学定期戦 於コカ・コーラさわやかスポーツ広場	
8	5	夏季練習開始	
10	30	九州学生リーグ	
11	6		
	14		
12	12	京都大学定期戦 於 JR 西日本神戸総合 G	
	20	次年度幹部決め	
1	22		新年会

## ☆東大戦☆



2年ぶりの東大戦は負け  
てしまいましたが、多く  
のことを学ぶことができ  
ました。  
遠くからではありましたが、OB・OGの皆様とお  
会いできたことを  
嬉しく思います。



## ☆練習風景☆



遠征や合宿を思うように行えず制限のある1年でしたが、コーチや栄養管理セミナー、練習用具の購入、練習動画の撮影など様々な工夫をし、新たなことに挑戦しました。

## ☆リーグ戦☆



試合数が少なくあっという間のリーグ戦でした。全勝には届きませんでしたが、一人一人が大きく成長した貴重な1か月でした。



# ☆京大戦☆



悔しい結果にはなりましたが、  
大きな怪我がなく無事に京大戦  
を終えることができました。  
多くの方に会場まで足を運んで  
いただき、励みになりました。  
たくさんのご支援ご声援ありが  
とうございました。

# ☆新年会☆

2022年1月22日（土）、4年生の卒部式を兼ねた新年会がオンラインで行われました。

—令和4年卒業生より（スピーチ抜粋）—

## 太久保隼鷹（主将）

自分一人ではやってこれなかったからこそ、OBとして返す立場になった時にどれだけ返していけるかを今後見つめていこうと思います。4年間ありがとうございました。

## 濱田修平（主務）

プレーをしない自分を受け入れてくれたことに感謝しています。4年間、外から見ている中では一番いいチームだったと自信を持って言えます。後輩達には強いチームを作ってほしいと思います。

## 富本友祐（BKリーダー）

勝利こそは多くはつかめなかったけれど、私は九州大学ラグビー部に入部して幸せでした。先輩、後輩、そして同期と出会えたことは、私のかげがえのない財産になりました。

## 内田詩乃

最後の一年は、九大ラグビー部が動き出した一年だったと感じていて、そのような代を自分の同期が作り上げたことを誇りに思うし、後輩たちならもっと大きくしてくれると楽しみにしています。

## 山浦宗一郎

年間を通して、チームとしては成長し続けることができたかなと思います。後輩達には、私たちが達成することのできなかった目標を達成してほしいと思っています。

## 木村円香

活動が制限される中で「自分たちのやりたいこと」を軸に活動している同期や後輩の姿をすごいなと思いながら見ていました。大学生活の軸として、ラグビー部がいてくれたことを幸せに思います。

## 北川堪大

この4年間は人として成長できたと思いますし、人生を支えてくれる価値ある思い出ができたと思います。後輩たちがきっと良い結果を残してくれると思います。

## OB・OGの皆様

我々現役の為に、そして卒業生の為にこのような会を設けていただき、誠にありがとうございました。そして、本年度も現役の活動に多大なるご支援をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

—卒業生一同—

# 令和3年度 全戦績一覧

月日	試合形態	対戦相手	場所	結果(左:九大)	
4月11日	公式戦	九州共立大学	熊本G	●	0-47
4月11日	公式戦	志學館大学	熊本G	○	24-5
4月11日	公式戦	福岡選抜	熊本G	●	15-40
4月11日	公式戦	西南学院大学	熊本G	○	26-7
7月11日	定期戦	東京大学	さわやかG	●	7-24
9月18日	練習試合	福岡工業大学	福工大G	●	17-57
9月25日	練習試合	九州共立大学	九州共立G	●	5-99
10月9日	練習試合	福岡大学	福岡大G	●	0-81
10月16日	練習試合	福岡工業大学	福工大G	●	21-48
10月30日	公式戦	日本文理大学	田尻G	●	5-72
11月6日	公式戦	西南学院大学	福岡大G	●	12-46
11月14日	公式戦	志學館大学	さわやかG	○	52-24
12月12日	定期戦	京都大学A	JR西日本神戸総合G	●	12-52
12月12日	定期戦	京都大学B	JR西日本神戸総合G	●	17-65



一度しかない人生だ。  
世界一、楽しもう。

# ラグビー部員募集中!

未来の日本代表に、君がなってもいいんだよ!

福岡県のシニアラグビーフットボールクラブ  
**玄海オールドパイレーツ**



**未経験者の方も大歓迎!**  
40~70代男性が活躍中

詳しくはHPにて：玄海オールドパイレーツで  
検索して下さい  
電話での問合せ：担当 吉澤 (090-2518-2263)



**JRFU** JAPAN RUGBY FOOTBALL UNION  
日本ラグビーフットボール協会

03版：2021/01/10

# 東大戦

7月11日 コカ・コーラさわやかグラウンド

●7-24

【九大】

1.岡
2.北川
3.大家
4.大久保
5.中臣
6.吉川
7.川口
8.島内
9.森本
10.荒川
11.山浦
12.宮城
13.松尾
14.佐藤
15.冨本
16.松尾
17.淡路
18.野間
19.神谷
20.檜原
21.得丸
22.鳥越
23.久保田

九大			東大		
前半	後半		前半	後半	
0	1	T	2	1	
0	1	G	2	1	
0	0	PG	0	1	
0	0	DG	0	0	
0	7	計	14	10	
<b>7</b>		<b>合計</b>	<b>24</b>		

【東大】

1.後藤
2.三方
3.石田
4.笹俣
5.松本
6.内藤
7.松元
8.北野
9.垣内
10.玉代勢
11.表
12.杉浦
13.財木
14.大山
15.甲斐
16.河内
17.安富
18.山口
19.今塩屋
20.寶島
21.津田
22.佐川
23.杉井

[九大 入替]

後半3分	1→17
後半3分	7→19
後半15分	3→16
後半19分	6→20
後半23分	10→21
後半32分	8→23
後半35分	14→22

[東大 入替]

前半25分	3→16
前半28分	5→20
後半0分	6→17
後半0分	8→19
後半0分	9→21
後半0分	10→22
後半0分	13→23
後半0分	4→18



[前半] 東京大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-東大
1分	東大	15.甲斐	T	0 - 5
1分	東大	14.大山	GO	0 - 7
20分	東大	11.表	T	0 - 12
20分	東大	14.大山	GO	0 - 14

[後半] 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-東大
10分	九大	6.吉川	T	5 - 14
10分	九大	15.冨本	GO	7 - 14
31分	東大	14.大山	PGO	7 - 17
40分	東大	4.笹俣	T	7 - 22
40分	東大	14.大山	GO	7 - 24





弁護士法人 堀内恭彦法律事務所

代表弁護士  
堀内 恭彦

(昭和63年卒)



日本ラグビーフットボール協会 規律委員会  
九州ラグビーフットボール協会 理事  
福岡県ラグビーフットボール協会 理事  
女子7人制ラグビー「ナナイロプリズム福岡」 アドバイザー

〒810-0042

福岡市中央区赤坂1丁目13番10号 赤坂有楽ビル8階

**TEL** 092-751-7355      **FAX** 092-751-7356

 yasu15@aurora.ocn.ne.jp

 <https://horiuchi.law/>

リーグ戦

【九大】

1.岡
2.北川
3.松尾修
4.島内
5.檜原
6.吉川
7.大久保
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.梶谷
12.山浦
13.神谷
14.佐藤
15.冨本
16.淡路
17.柏木
18.大家
19.黄
20.久保田
21.森本
22.西田
23.松尾優

九大			文理大		
前半	後半		前半	後半	
0	1	T	5	4	
0	0	G	5	4	
0	0	PG	1	2	
0	0	DG	0	0	
0	5	計	38	34	
5		合計	72		

【文理大】

1.高村
2.宮元
3.タンギマナ
4.坂元
5.松尾
6.山下
7.友利
8.服部
9.森田
10.仲尾
11.白井
12.安藤
13.日高
14.溝口
15.木下
16.大塚
17.野口
18.石松
19.一木
20.里京
21.世良田
22.カウフシ
23.吉良

[九大 入替]

前半33分	14→23
後半11分	1→16
後半21分	2→17
後半21分	3→18
後半21分	5→19
後半29分	6→20
後半29分	9→21
後半29分	15→22

[文理大 入替]

後半11分	12→22
後半11分	2→16
後半11分	4→18
後半11分	6→19
後半16分	9→20
後半24分	5→17
後半24分	11→21
後半29分	3→23



[前半] 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-文理
4分	文理	9.森田	T	0 - 5
6分	文理	10.仲尾	GO	0 - 7
12分	文理	10.仲尾	PG	0 - 10
14分	文理	4.坂元	T	0 - 15
16分	文理	10.仲尾	GO	0 - 17
23分	文理	9.森田	T	0 - 22
24分	文理	10.仲尾	GO	0 - 24
26分	文理	10.仲尾	T	0 - 29
28分	文理	10.仲尾	GO	0 - 31
33分	文理	2.宮元	T	0 - 36
34分	文理	10.仲尾	GO	0 - 38

[後半] 日本文理大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-共立
0分	文理	11.白井	T	0 - 43
1分	文理	10.仲尾	GO	0 - 45
6分	文理	11.白井	T	0 - 50
7分	文理	10.仲尾	GO	0 - 52
12分	文理	10.仲尾	PG	0 - 55
16分	文理	9.森田	T	0 - 60
17分	文理	10.仲尾	GO	0 - 62
32分	文理	21.世良田	T	0 - 67
33分	文理	10.仲尾	GO	0 - 69
35分	九大	16.淡路	T	5 - 69
36分	九大	22.西田	G×	5 - 69
40分	文理	10.仲尾	PG	5 - 72

【九大】

1.岡
2.北川
3.松尾
4.島内
5.檜原
6.吉川
7.大久保
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.梶谷
12.山浦
13.神谷
14.犬丸
15.富本
16.淡路
17.柏木
18.大家
19.黄
20.久保田
21.西田
22.松尾
23.渡辺

九大			福大	
前半	後半		前半	後半
0	2	T	4	2
0	1	G	3	2
0	0	PG	0	2
0	0	DG	0	0
0	12	計	26	20
<b>12</b>		<b>合計</b>	<b>46</b>	

【西南大】

1.池田
2.久保山
3.中川
4.中西
5.藤井
6.安藤
7.伊藤
8.村中
9.半澤
10.宮原
11.結城
12.久米
13.廣瀬
14.清水
15.松本
16.堀之内
17.大和
18.峰松
19.竹下
20.熊原
21.徳永
22.伊藤
23.末田

[九大 入替]

後半4分	1→16
後半4分	14→23
後半18分	13→22
後半21分	2→17
後半21分	3→18
後半24分	9→19
後半38分	5→20

[福大 入替]

前半28分	12→22
後半0分	9→21
後半10分	3→18
後半17分	7→16
後半25分	1→17
後半30分	8→20
後半32分	13→23
後半35分	11→19



[前半] 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-志學館
6分	西南	12.久米	T	0 - 5
7分	西南	10.宮原	GO	0 - 7
11分	西南	8.村中	T	0 - 12
12分	西南	10.宮原	GO	0 - 14
14分	西南	15.松本	T	0 - 19
15分	西南	10.宮原	G×	0 - 19
18分	西南	11.結城	T	0 - 24
19分	西南	10.宮原	GO	0 - 26

[後半] 志學館大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-志學館
0分	西南	7.伊藤	T	0 - 31
1分	西南	10.宮原	GO	0 - 33
9分	西南	10.宮原	PG	0 - 36
15分	九大	23.渡辺	T	5 - 36
16分	九大	15.富本	GO	7 - 36
32分	西南	16.堀之内	T	7 - 41
33分	西南	10.宮原	GO	7 - 43
36分	九大	18.大家	T	12 - 43
36分	九大	15.富本	G×	12 - 43
39分	西南	10.宮原	PG	12 - 46

【九大】

1.岡
2.北川
3.松尾(修)
4.島内
5.檜原
6.吉川
7.大久保
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.梶谷
12.富本
13.松尾(優)
14.山浦
15.犬丸
16.淡路
17.大家
18.野間
19.黄
20.川口
21.森本
22.西田
23.渡辺

九大			志學館大		
前半	後半		前半	後半	
5	3	T	1	3	
4	2	G	1	1	
0	0	PG	0	0	
0	0	DG	0	0	
33	19	計	7	17	
52			合計	24	

【志學館大】

1.上園
2.竹原田
3.當田
4.黒木
5.住吉
6.上假屋
7.森尾
8.織田
9.寺師
10.牧
11.山之口
12.福島
13.竹原
14.谷
15.徳満
16.川路
18.白濱
19.江川
21.重井
23.向

[九大 入替]

前半12分	15→23
後半8分	3→17
後半15分	1→16
後半18分	5→19
後半19分	23→22
後半29分	6→20
後半31分	2→18
後半33分	9→21

[志學館大 入替]

前半23分	15→16
-------	-------



[前半] 志學館大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-志學館大
7分	九州大	6.吉川	T	5 - 0
7分	九州大	10.荒川	GO	7 - 0
11分	志學館大	10.牧	T	7 - 5
12分	志學館大	9.寺師	GO	7 - 7
23分	九州大	6.吉川	T	12 - 7
23分	九州大	10.荒川	G×	12 - 7
32分	九州大	23.渡辺	T	17 - 7
34分	九州大	10.荒川	GO	19 - 7
38分	九州大	13.松尾	T	24 - 7
39分	九州大	10.荒川	GO	26 - 7
41分	九州大	11.梶谷	T	31 - 7
43分	九州大	10.荒川	GO	33 - 7

[後半] 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-志學館大
2分	九州大	23.渡辺	T	38 - 7
3分	九州大	10.荒川	GO	40 - 7
11分	九州大	8.中臣	T	45 - 7
12分	九州大	10.荒川	G×	45 - 7
14分	九州大	10.荒川	T	50 - 7
15分	九州大	10.荒川	GO	52 - 7
18分	志學館大	11.山之口	T	52 - 12
19分	志學館大	9.寺師	G×	52 - 12
27分	志學館大	7.森尾	T	52 - 17
29分	志學館大	9.寺師	G×	52 - 17
38分	志學館大	13.竹原	T	52 - 22
39分	志學館大	9.寺師	GO	52 - 24



代表弁護士

**大野慶樹**

弁護士法人 **大野慶樹法律事務所**

〒810-0001

福岡市中央区天神 4 丁目 2 番 20 号 天神幸ビル 3 階

TEL. 092-714-3450 FAX. 092-714-3460

E-mail: [kenju.ohno@ohnolaw.jp](mailto:kenju.ohno@ohnolaw.jp)

<http://ohnolaw.jp>

# 京大戦

12月13日 JR西日本神戸総合グラウンド

京都大学A ●12-52

京都大学B ●17-65

【九大】

1.岡
2.北川
3.松尾修
4.島内
5.檜原
6.神谷
7.大久保
8.中臣
9.阪本
10.荒川
11.梶谷
12.山浦
13.松尾優
14.渡辺
15.冨本
16.大家
17.淡路
18.野間
19.黄
20.吉川
21.西田
22.得丸
23.川口

九大			京大		
前半	後半		前半	後半	
1	1	T	4	4	
1	0	G	2	4	
0	0	PG	0	0	
0	0	DG	0	0	
7	5	計	24	28	
12		合計	52		

【京大】

1.和氣
2.渡邊
3.山田
4.佐竹
5.森本
6.高原
7.笹井
8.中山
9.野澤
10.村上
11.酒井
12.宮原
13.水野
14.加清
15.松本
16.小向
17.高嶋
18.佐藤
19.有本
20.梅園
21.西田
22.伊藤
23.久家
24.平手
25.日野坪
26.萩野

[九大 入替]

後半17分	3→16
後半22分	1→17
後半22分	6→19
後半33分	15→21

[京大 入替]

後半9分	3→18
後半18分	4→20
後半22分	1→17
後半22分	2→16
後半22分	7→22
後半22分	10→23
後半32分	9→24
後半32分	12→25
後半32分	14→26
後半32分	18→19
後半32分	20→21



[前半] 九州大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-京大
15分	京大	12.宮原	T	0 - 5
15分	京大	14.加清	GO	0 - 7
18分	京大	2.渡邊	T	0 - 12
18分	京大	14.加清	GO	0 - 14
28分	京大	15.松本	T	0 - 19
28分	京大	14.加清	G×	0 - 19
31分	九大	10.荒川	T	5 - 19
31分	九大	10.荒川	GO	7 - 19
38分	京大	9.野澤	T	7 - 24
38分	京大	14.加清	G×	7 - 24

[後半] 京都大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-京大
3分	京大	11.酒井	T	7 - 29
3分	京大	14.加清	GO	7 - 31
9分	京大	9.野澤	T	7 - 36
9分	京大	14.加清	GO	7 - 38
12分	九大	15.冨本	T	12 - 38
12分	九大	10.荒川	G×	12 - 38
16分	京大	2.渡邊	T	12 - 43
16分	京大	14.加清	GO	12 - 45
32分	京大	23.久家	T	12 - 50
32分	京大	14.加清	GO	12 - 52

【九大】

1.大家
2.淡路
3.野間
4.川口
5.黄
6.久保田
7.佐藤
8.吉川
9.森本
10.西田
11.阿左美
12.宮城
13.江藤
14.得丸
15.犬丸
16.大久保
17.島内
18.北川
20.岡
22.松尾
23.山浦,梶谷

九大			京大	
前半	後半		前半	後半
1	2	T	5	6
1	0	G	3	2
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
7	10	計	31	34
17		合計	65	

【京大】

1.高嶋
2.小向
3.佐藤
4.梅園
5.西田
6.朝比奈
7.正岡
8.伊藤
9.久家
10.大鶴
11.平井
12.日野坪
13.萩野
14.森下
15.信原
16.松井
17.安川
18.鈴木
19.宮崎
20.横山
21.有本
22.吉田
23.中武

[九大 入替]

前半13分	10→23山浦
前半25分	6→16
前半34分	7→17
後半0分	16→6
後半0分	17→7
後半0分	23山浦→22
後半18分	1→20
後半26分	2→18
後半26分	4→17
後半26分	6→16
後半30分	15→23梶谷
後半30分	17→6

[京大 入替]

前半28分	9→26
後半22分	6→23
後半22分	10→27
後半22分	15→11
後半22分	17→18
後半22分	20→21



[前半] 京都大学kick off

前半	チーム	Name	種	九大-京大
4分	京大	12.日野坪	T	0 - 5
4分	京大	10.大鶴	G×	0 - 5
16分	京大	4.梅園	T	0 - 10
16分	京大	10.大鶴	GO	0 - 12
20分	九大	1.大家	T	5 - 12
20分	九大	23.山浦	GO	7 - 12
24分	京大	8.伊藤	T	7 - 17
24分	京大	10.大鶴	G×	7 - 17
29分	京大	13.萩野	T	7 - 22
29分	京大	10.大鶴	GO	7 - 24
35分	京大	26.柿本	T	7 - 29
35分	京大	10.大鶴	GO	7 - 31

[後半] 九州大学kick off

後半	チーム	Name	種	九大-京大
3分	京大	15.信原	T	7 - 36
3分	京大	10.大鶴	G×	7 - 36
15分	京大	15.信原	T	7 - 41
15分	京大	10.大鶴	GO	7 - 43
18分	京大	26.柿本	T	7 - 48
18分	京大	10.大鶴	GO	7 - 50
22分	九大	6.久保田	T	12 - 50
22分	九大	12.宮城	G×	12 - 50
24分	京大	26.柿本	T	12 - 55
24分	京大	24.平手	G×	12 - 55
27分	九大	16.大久保	T	17 - 55
27分	九大	18.北川	G×	17 - 55
30分	京大	19.宮崎	T	17 - 60
30分	京大	24.平手	G×	17 - 60
38分	京大	25.田付	T	17 - 65
38分	京大	24.平手	G×	17 - 65

# 部員紹介

「ちょっとだけラグビー部の話聞いてみらん？」4年前、グラウンドガイドダンスで先輩達に声をかけられ、私は暇つぶしとしてラグビー部のブースへ向かいました。ところが、マネージャーの先輩がやりがいや楽しさを熱心に語ってくださるうちに、私の気持ちはラグビー部へと傾き、その帰り道、「マネをするならラグビー部！」と友人に宣言したのを今でも覚えています。

そんなこんなで始まったラグビー部生活は、楽しかったのは大大大前提なのですが、時に悩み、時に焦り、私の学生生活を色濃いものにしてくれました。優しくて大人で偉大な先輩マネを見て、私も同じようになれるのかと不安になったり、責任の大きさに押し潰され全てを投げだしたくなったり、。救急車には何回も乗ったし、挙げ句の果てに救急へリにも乗りました。

全てを乗り越え、今この文章を書くことができているのは、ラグビー部の皆のおかげです。特にこの1年は、しっかり者のマネージャーの皆と困難な中でも新たなことを取り入れ、高みを目指し続ける部員達が私の支えでした。間違いなく九大ラグビー部に新たな風を吹かせた同期を、私は誇りに思います。私の人生において、この4年間は宝物です。先輩後輩同期、皆に出会えてよかった。4年前、ラグビー部の話を聞きに行っただけで本当によかった。

最後になりましたが、OB・OGの皆様、今シーズンも現役を支えてくださり、ありがとうございました。今年は、不慣れな私にも優しく沢山のアドバイスをくださり、個人的にも成長できた1年でした。春からはOGとして皆様と共に現役を見守り続けたいと思います。



#### 内田 詩乃 (うちだ しの)

法学部 (文系最高峰)。筑紫丘高校出身。MGR。生粋のジャニオタであったが今は韓流アイドルに乗り換えており、浮気性である。部員からは「九大ラグビー部の聖母」と言われており、その溢れ出る母性は数多の部員を魅了してやまない。かの有名な宗教学者は言った。「聖母マリアが現世に生まれ変わっているとすれば、それは彼女であろう。」彼女がテーピングを巻くことによって部員の負傷部位はすべからず治癒してしまうという事実がこれを裏付けている。



## 大久保 隼鷹（おおくぼ しゅんよう）主将

法学部。糸島高校出身。FL。

我らがキャプテン。明るく、顔も良く漢らしい彼だが、酒の席では素行が悪くなったり元カノに未練タラタラだったりします。この1年間、キャプテンとしての重圧がありながらも、最後まで折れずに私たちを引っ張って来ました。そんな功労者な大久保くんはいつかこの経験を活かしてビッグな男となるでしょう。彼の将来に乞うご期待。

お世話になっております。本年度主将を務めさせていただきました、大久保です。OB、OGの皆様には日頃より多大なるご支援ご協力を賜ります事を心より感謝申し上げます。今年は特に、新ジャージの導入、新コーチの招待などに関して多くのご負担をいただき本当にありがとうございました。

さて、ここで自分の大学ラグビー人生について書き残そうと思います。元々大学でラグビーをする気は微塵もなく、テニスサークルにでも入って可愛い女の子と豪遊しようとも考えていたので、新歓もサークル中心に参加していました。しかし高校時代からラグビー中心の生活を送っており、女遊びも全くせず、さらに交友関係も非常に狭かった私は、サークル特有の雰囲気にも全く馴染めず「結局ここしかないのか・・・。」と涙ながらに大学ラグビーの門を叩きました。私を迎えてくれた先輩、同期はやはり男臭く、洒落っ気も飾り気もありませんでした。そこに故郷のような安心感を覚えたことを今でも鮮明に思い出します。

入部式では念願のガールズバーへ4年生に連れて行っていただいたのですが、誰も女の子と話さず（柏木さんを除き）、上野元主将は店内で吐き散らかし、最後は全員でシャンパンを回し飲みして女の子たちにドン引きされました。いい思い出です。

そんなこんなで4年生になり主将を任せていただいたのですが、ここからはほとんど記憶が飛んでいます。とにかく毎日の練習が無事に終わること、メンバーが上達することなどで頭がいっぱいでした。そんな中でも幹部陣を中心とした4年生、特に濱田にはかなり協力してもらいなんとかシーズンを終えることができました。大庭さんや藤森さんにも多くのご協力をいただきました。改めて関わった皆様にお礼を申し上げます、ありがとうございました。

北川です。OB、OGの皆様、日頃のご支援、ご声援ありがとうございました。このコロナ禍、このようにラグビーを続けられたのも皆様方のお力があったからこそだと考えています。この場を借りてお礼申し上げます。

大学でのラグビーについて振り返させていただきます。自分は高校でラグビーを始め、さほど強くはない高校でプレーしていました。なので、大学に入った当初周りのレベルの高さに驚かせられました。また、自分についていけない、練習が辛いとばかり思っていました。しかし、個性的な同期と笑い、励まし合い、苦難を乗り越えたことや先輩方やOBの方々からきついながらも愛のある指導に支えられながら自分はラグビーをなんとか続けることができました。今では、本当に心の底からラグビーを楽しむことができたと言えます。この経験を忘れず、これからもラグビーに携わっていきたいと思います。

最後になりますが、共に戦った同期、先輩、後輩、身近でサポートしてくれたマネージャー、怪我の管理、筋トレ、コーチングをいただいた大庭さん、さらに日々ご支援いただいているOBの皆様本当にありがとうございました。自分は九州大学院に進学する予定なので、あと少しですが九州大学ラグビー部でプレーしていこうかなと思います。これからもよろしく願います。



### 北川 堪大 (きたがわ かんた)

工学部。長崎東高校出身。HO/PR。

命を懸けたタックル。これが彼の代名詞だ。4年間伊都キャンパスまでの上り坂を40分かけて自転車で通学したことで手に入れた、強靱な足腰から繰り出されるパワーを頭と首に全集中させて放つタックルは、留学生をも一撃でしとめるものであった。

また常に前向きな声で仲間を鼓舞し、後輩からは大きな信頼を寄せられていた。

原子力を研究している彼であるが、来年以降もラグビー部に莫大なエネルギーを与えて来ることは間違いない。



### 木村 円香 (きむら まどか)

教育学部。済々黌高校出身。MGR。

まどかちゃんはちっちゃくてかあいいのにめっちゃしっかりしてます！四年生では公務員の勉強をしながらマネージャーをしてくれてとても大変だったと思います！お酒を飲んだら幼児に戻ってしまうまどかちゃん！社会人になっても、個人的に長い付き合いをしているので相思相愛な2人として生涯生きていきます！

OBOGの皆様、本年も九州大学ラグビー部に多大なるご支援ご声援をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍で我々の精一杯の活動ができたのは、皆様にお力添えいただいたからであると強く思います。

4年前、「最後の学生生活、今までとは全く違う環境で誰かを支える経験をしたい」と思い、ラグビー部のマネージャーになる決断をしました。マネージャーの仕事もラグビーのルールも分からない、おまけに不器用、部活以外にもやりたいことが沢山あった私は、本当にラグビー部に迷惑ばかりかける存在だったと思います。特に、マネージャーの皆さんには、ほとんどの業務を任せることになってしまいました。先輩後輩同期、そして歴代マネージャーの皆さん、本当にごめんなさい、そしてありがとうございました。

様々な人との出会いや経験に恵まれ、その度に色々な感情の自分と向き合い続けた4年間は決して楽しいことばかりではありませんでした。特に最後の一年は、最上級マネなのに何もできない自分が腹立たしく、虚しく、ラグビー部にいていいのだろうかと問い続けながらグラウンドに立っていました。しかし、どんなにいやいや言いながらも真剣にラグビーをする部員、一緒にいるだけで安心するマネージャーと過ごす時間は、本当にかげがえのない時間で、誰かを支えたいと思っていた私がいつもラグビー部に支えられていました。この4年間と夏練の部員脱ぎたてのビブスの匂いは忘れたくても忘れられません。現役のみんなど、OBOGの皆様と、九州大学ラグビー部で出会えた私は本当に幸せ者です。ありがとうございました。

こんにちは、島内です。OB,OG の皆様本年度も多大なるご支援、ご声援ありがとうございました。昨年に続くコロナ禍の状況で練習はもちろん、筋トレもできないような状況が度々あった今シーズンでしたが皆様のご支援のおかげで無事最後までラグビーを続けることが出来ました。ありがとうございました。

この4年間を軽く振り返ろうと思います。1年生のときは何もかも未熟だった自分ですが私生活、ラグビー両方の面で先輩方にはお世話になり、高校卒業して間もない自分は様々な場面で格の違いを見せつけられました。2年生では大学院の先輩方との出会いがあり1年生の時とは少し違った感覚でラグビーができました。偉大な4年生、院生の先輩方に必死にくらいつきながらラグビーに必死になった年でした。3年生ではコロナ禍での部活動という初めての経験をしました。主将を初めとした先輩方、ご支援をしてくださる方々がチームを支えてくださり今までの日常の大切さを感じた1年でした。4年生の年には後輩の力を借りながら戦略、試合前の準備などを徹底し、勝ちにこだわったチームでラグビーができました。そんなチーム作りができたのは幹部やスタッフの方々のおかげだと思います。結果がうまくついてこない年でしたが今までと違って考えながらラグビーができたのでとても新鮮で楽しかったです。正直楽しかったことよりしんどかったことの方が多かった4年間でしたがたくさんの人に出会えてたくさんのことを経験できて幸せでした。この九州大学ラグビー部に入部して本当によかったです。改めましてOB、OGの皆様をはじめとする九大ラグビー部に携わる関係者の皆様、一緒に戦ってくれた部員、マネージャーのみなさん本当にありがとうございました。



#### 島内 崇太郎 (しまうち そうたろう) FW リーダー

工学部。長崎北高校出身。LO/N08。

1年のなかで最も良い(?)日・7月11日生まれのリッキーボーイ。愛称「ともぞう」。4年前の新歓で、某国民的アニメのともぞうTシャツを着ていたことからそう呼ばれるようになった彼。新入生に名前を紹介するときにややこしいランキング堂々1位である。口数は少ないが、学年のいじられキャラ。また、実はさりげない優しさを兼ね備えた人物でもある。隅っこで困っている人には声をかけてくれる。机に飛んだ担々麵の汁を何も言わずに拭いてくれる。そんな彼だからこそ、絶対に幸せになってほしい。どうかどうかお幸せに!!



### 冨本 友祐（とみもと ゆう）BK リーダー

法学部。大阪茨木高校出身。FB。

趣味は料理とピアノ。休日は福岡ランチや愛車でのドライブを楽しむ。長期オフには九州一周。どこのリア充 OL かと思いきや、スタイル抜群饒舌ラグーマンである。先輩後輩部員マネージャー誰にでもフランクに話しかける THE 関西人。「たかりーダー」の責務を全うし、先輩のあとを追う姿が印象的。20年間のラグビー生活もこれにて終了！と思ってると思うが、きっと彼は社会人になってもラグビーに取りつかれているだろう。持ち前のコミュカと長い脚で関西とラグビー場を駆け回る人生を歩んでくれるはずだ。がんば～！

九州大学ラグビー部の OB・OG の皆様、チーム関係者の方々、そして現役部員のご家族の皆様、今年度も多大なるご声援とご支援をありがとうございました。今年度 BK リーダーとして幹部を務める中で、現役部員が「九州大学ラグビー部」として当たり前のように活動できているのは、先輩方のご支援やこれまで積み上げてこられた歴史のおかげであると改めて痛感しました。

今シーズンも、昨シーズンに続き新型コロナウイルスの影響を大きく受けたシーズンでした。練習が十分にできないままシーズンを迎えることになり、先輩方に良いご報告ができなかったことは、BK リーダーとして非常に悔やまれます。満足に活動できない日々ではありましたが、オンラインでのミーティングを重ね、練習の意図をメンバーに浸透させることにこだわったことが、限られた練習機会の中でチームの成長につながったと感じております。

また、秋シーズンから来ていただいた新しいコーチからは、戦術面のみならず、練習中のトークの仕方や、チームに対する考え方を教えていただきました。これまでの九州大学ラグビー部になかった新たな文化が生まれつつあると感じており、後輩たちにはぜひこの文化を大切にしていってほしいと思っています。

さて、勝利こそ多くは掴めなかった 4 年間でしたが、私は九州大学ラグビー部に入部して本当に幸せでした。悩んだ時にいつでも助けてくださった先輩、どんな時もついてきてくれた後輩、そして、4 年間共に努力した同期と出会えたことは、私の人生においてかけがえのない財産です、本当にありがとうございました。

最後になりますが、4 年間の活動を通じて、OB・OG の皆様の支えがあって九州大学ラグビー部としての活動ができていることを実感しました。重ねてお礼申し上げます。来年度からは、OB として九州大学ラグビー部を支える立場で貢献していきます。

今後とも九州大学ラグビー部へのご支援をよろしくお願いいたします。

本年度主務を務めました、濱田修平です。OB、OGの皆様には日頃より多大なご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

私は、2年生の時にレフリー資格を取得し、昨年からは東福岡高校のチームレフリーをしながら、チームに関わらせてもらっていました。また、3年生からは、大庭さんの協力も得ながら、練習計画やゲームプランを考えさせてもらうことができ、とても良い経験をすることができました。

現在、九州大学ラグビー部は大きな転換期を迎えていると思います。ここ数年、リーグ戦では、上位校には圧倒的な差をつけられ、西南や鹿大にも勝てない年があり、定期戦でも負けが込んでいる状況にあります。その現状を何とか打破したいと考え、高い目標を定め、厳しい練習に取り組んできました。その結果、フィットネスの数値も上位校と変わらないレベルになり、今年、特に力を入れて取り組んだコンタクトの部分でも十分に渡り合えるようになっていくと思います。試合を見ていただいた方には、今年のチームの成長を感じていただいたのではないのでしょうか。しかし、今年も変わらない結果となってしまいました。まだまだ足りないところはたくさんあります。

九大ラグビー部に所属する意味は、単に勝つことを目指すということではなく、ラグビーを通じた人格形成など多岐に渡ると 생각합니다。後輩達には、九大のカルチャーを作り、良いチームを作ってくれることを期待しています。

最後になりましたが、先輩、後輩そして同期には、ときには無茶なことを言う私に対して、快く接してくれて、とても感謝しています。ありがとうございました。



### 濱田 修平 (はまだ しゅうへい) 主務

農学部。真和高校出身。TR。

今年度の九州大学ラグビー部の裏ボス。今年のラグビー部は彼抜きで語れない。その圧倒的なラグビー知識で、多くの部員から絶大な信頼を得ると同時に一部後輩から畏怖の念を抱かれている。三年時から主務も務めており、グラウンド内外で八面六臂の活躍を見せた。卒業後は某メーカーでサラリーマンをしつつ、レフリーの世界での活躍が期待されている。今後も彼の活躍から目が離せない。



### 宮城 虎太郎（みやぎ ことろう）副主将

工学部。東筑高校出身。CTB。

彼の得意なプレーはラン。ボールを持ってスペースを見つけたときの加速とタックルされても倒れない力強いドライブには目を見張るものがある。練習中には積極的に声を出し、時には秀逸なコメントでみんなを笑わせることのできるリーダーシップとユーモアを兼ね備えたチームのムードメーカー。一見完璧に見える彼だが唯一の弱点が存在する。酒だ。乾杯の一杯目で顔が赤くなり呂律が回らなくなる。そんなかわい一面をもった彼は4年を卒業後大学院に進む。院生となった彼は九大ラグビー部に今後どう関わっていくのか…。現役生には期待して待ってもらいたい。

宮城虎太郎です！ほぼ形だけですが副キャプテンをやらせてもらいました！OBの方々、幹部陣の要望に応じていただいたり、さまざまな外部コーチの方を呼んでいただいたりなど、多くのサポートありがとうございました！4年間を振り返ると、やっぱりよっしーがヘリで運ばれたのが一番記憶に残っています！あの時は何が何だかわからなくて、めっちゃ怖かったです！最初もう意識戻らんかもとか、半身不随かもっていう話ばかり聞いてめちゃくちゃネガティブになっていましたが、よっしーは最強になって帰ってきました！ラグビーはできなくても一緒に過ごした時間はみんなの宝物になりました！四年生になってからは、10回くらい肩を脱臼したので、正直めっちゃ痛かったし、気持ちもかなりやられていました！でも大久保キャプテン隼鷹のおかげで楽しく、悔いなくラグビーをやれたのでよかったです！たくさんの人に応援してもらったのに、最終的に定期戦、リーグ戦ともに結果が出せなかったことは申し訳ないと思いますが、この悔しさをバネに後輩たちには頑張ってもらいたいと思います！キャプテンが淡路なのでしょーもないチームになるかもしれませんが、わんちゃんの期待にかけて応援していきます！

お世話になっております、4年BKの山浦宗一郎です。九州大学ラグビー部OB・OGの皆様、本年度も多大なるご支援、ご声援誠にありがとうございました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

本年度を振り返りますと、九州リーグ全勝というこれまでにない高い目標を掲げ練習に取り組み続けたものの、結果として九州リーグ7位、定期戦も東大・京大に敗れるという非常に悔しいシーズンとなりました。結果が伴わないことに苦しみ続けた一年でしたが、スキル面の成長は著しいものでありシーズン終盤には、チームが目指してきた形を何度も見せることができたのではないかと考えています。4年生が少なかった分後輩たちには負担をかけた一年となりましたが、今年の結果や経験を来年以降の躍進の糧にして欲しいと思います。

私個人としては、優しかった先輩方や面白い後輩たち、そしてかけがえない同期とラグビーができたこの4年間はとても充実しており、多くのことを学ぶことができました。楽しんだことも、悩み苦しんだことも、九州大学のラグビー部の一員として得た経験は今後の大きな財産になると感じています。

最後になりますが、私が大学ラグビーをやりぬくことができたのは、偏に皆様方のご支援、ご協力のおかげです。重ねてお礼申し上げます。4年間本当にありがとうございました。そしてこれからの九州大学ラグビー部も何卒よろしく願いいたします。



### 山浦 宗一郎 (やまうら そういちろう)

法学部。久留米附設高校出身。CTB/WTB。名門附設出身の落ちこぼれ。1, 2年の頃は落単しまくってたが、オンライン授業になって怒涛の単位回収を実現し、なんとか4年で卒業できるようになった模様。高校時代は柔道をやっていたが、思いのほかラグビー歴は長い。みんなが知らないうちにレフリー試験を受け始めており、合格したようなので、今後もラグビーとの縁は切れないだろう。



### 吉原 嵩英 (よしはら たかひで)

工学部。浦和高校出身。TR。

前期で東大に落ち、早稲田を蹴って、後期で九州大学を選んだ彼は、浦和高校という日本一の男子校で身につけたコミュニケーションスキルを活かして、女好きっぷりを発揮していた。女の子へのアピールを意識しすぎるがあまり、SHなのにパスをせず、FWにコンタクトしにいく彼の姿は、まさにラグビー選手の鏡である。女の子にうつつを抜かしすぎたせいか、一年空白の期間があり、一緒に卒業できないのは残念ではあるが、同期がいなくなり、より自由になった彼が、何人の女の子を落としていくかに要注目である。(彼は部員からの信頼も厚い、ナイスガイです。)

吉原です。OB、OGの皆様、4年間ご支援、ご声援頂きありがとうございました。最後の1年間は、東大戦、京大戦およびリーグ戦の全勝という、目標にしていた結果は残せなかったですが、皆様のご支援のおかげで充実した4年間を過ごすことができました。また、自分が怪我した際、病室に何度も足を運んでくれたOB、OGの皆様方もありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

自分は高校の時からラグビーを始めました。高校時代は練習もとても厳しく、ラグビーに関してはほとんど辛い思い出しかなく、卒業する頃は大学では絶対やるものかと思っていたラグビーでしたが、不思議なもので、浪人を経てラグビーがとても恋しくなり、九大ラグビー部に入部しました。なかなか試合に出られない日々が続きましたが、ひよんなことからFLをやることとなり、リーグ戦に初めてスタメンでフル出場させてもらいました。そんななかで受傷した怪我でしたので、悔しくないと言えば嘘になりますが、幸いなことに自由に動けるまで回復したので、チームのために自分ができていることを精一杯してきたつもりです。大したことはできなかったですが、今日まで共に過ごし、サポートしてくれた先輩方、同期・後輩のみんな、そしてマネージャーの皆さんには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願います。そして、ご支援頂きましたOB、OGの皆様、ありがとうございました。



## 乾杯をもっとおいしく。

サッポロビールのビールづくりは、  
1876年、北海道開拓使からはじまった。  
それから140年ものあいだ、  
多くの人々の手によって技術は受け継がれ、  
常に新しい研究と開発を繰り返しながら、  
“ビールのおいしさ”にこだわり続けてきた。  
その根底にあるのは、幾多の困難を乗り越えて  
ビールづくりという新しい産業を興した開拓者精神。  
140年の歴史を誇りに、今また、  
未来に向かって、新しい挑戦を始める。  
乾杯を、もっともっとおいしくするために。

◇4年生◇



【学年紹介】

①4年間で1番きつかった瞬間 ②1番嬉しかった瞬間 ③最後に後輩へ一言

**大久保 隼鷹**▶①1年時の二部練。とにかく暑さと吐き気に耐えていました。②2年時、東大に勝った瞬間。最高でした。③心から応援してます！頑張れ！

**北川 堪大**▶①1年生夏練のラン②3年生京大戦での自分のトライ③部員を沢山いれたり、練習頑張ったり、ラグビー部を強くしてください。頑張れ。応援してます。

**島内 崇太郎**▶①1年生の時の二部練3日目②目標にしていた体重90キロを達成したとき③後輩のみんな、またラグビーしようぜ！

**冨本 友祐**▶①今年度の西南学院大学戦の敗戦時②京大戦終わりの、皆の充実感ある笑顔を見た時③上手いかないときこそ、皆で励ましあって頑張ってください。

**濱田 修平**▶①4年時の練習全て②特になし③ラグビーは楽しくて良いスポーツです。ラグビーを楽しんで良い思い出をたくさん作ってください。

**宮城 虎太郎**▶①肩を脱臼したこと②詩乃ちゃんがずーっと優しくしたこと③せいぜい頑張れ！

**山浦 宗一郎**▶①3年の京大戦。160分試合に出て疲れました。②初めて公式戦でトライを取ったとき③今までありがとう！沢山練習して上手になってラグビー楽しんでくれ！

**吉原 崇英**▶①1年夏の暑い中のラン。特に東芝②2年のリーグ戦初戦で公式戦初のスタメンに選ばれたとき③今まで楽しかったです。ありがとうございました。

**内田 詩乃**▶①2年夏、馬出Gでのどろんこラグビー②グッズ販売大成功③こんなに熱中できるものがある皆はカッコいい。ラグビーのある大学生活を楽しんで～！

**木村 円香**▶①後輩が蹴ったボール直撃、先輩マネに盾にされ脳振盪に。②復帰した時皆が「おかえり」と笑顔で言ってくれたこと③いつまでも優しくおもしろい後輩でいてね(^^)

## 部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	大久保 隼鷹	FL	糸島	法	173cm	85kg
	北川 堪大	HO/FL	長崎東	工	172cm	87kg
	島内 崇太郎	LO/NO8	長崎北	工	180cm	90kg
BK	富本 友祐	SO/FB	茨木	法	175cm	78kg
	宮城 虎太郎	CTB	東筑	工	168cm	84kg
	山浦 宗一郎	CTB/WTB	久留米附設	法	170cm	74kg
TR	濱田 修平		真和	農		
	吉原 嵩英		浦和	工		
MGR	内田 詩乃		筑紫丘	法		
	木村 円香		済々黷	教育		



### ひとこと

個性が豊かすぎて、ちょっと不器用なこの学年についてきてくれて本当にありがとうございました！

◇3年生◇



【学年紹介】

3年生はプレイヤー9人、マネージャー1人の計10人です。今年は一人一人に最上級生としての意気込みを語ってもらいました。

淡路：キャプテンとして仲間のため、チームのために尽くし、幸せをモットーに4年生みんなでラグビー部を盛り上げていきます！

犬丸：今年は怪我無くチームに貢献のできるプレーをし、また個人に寄り添い、全員がシーズンを通じて成長できるチーム作りを目指します。

大家：最高学年として体を張ってプレーし、また筋トレリーダーとしてチームのフィジカル向上に貢献します！

岡：最上級生としての自覚を持ち、ラグビーだけでなく人間として成長できる様に日々精進します。

三枝：昨年度は怪我で全くラグビーができなかったもので、今年度は怪我をしないように入念に鍛えてからシーズンを迎えたいです。

中臣：今年はFWリーダーとしてFWを引っ張っていきます。またラグビー人生最後の1年なので悔いのないよう頑張ります。

樽原：後輩から尊敬されるくらい努力し、みんなに頼られる人になるよう頑張りたいです。

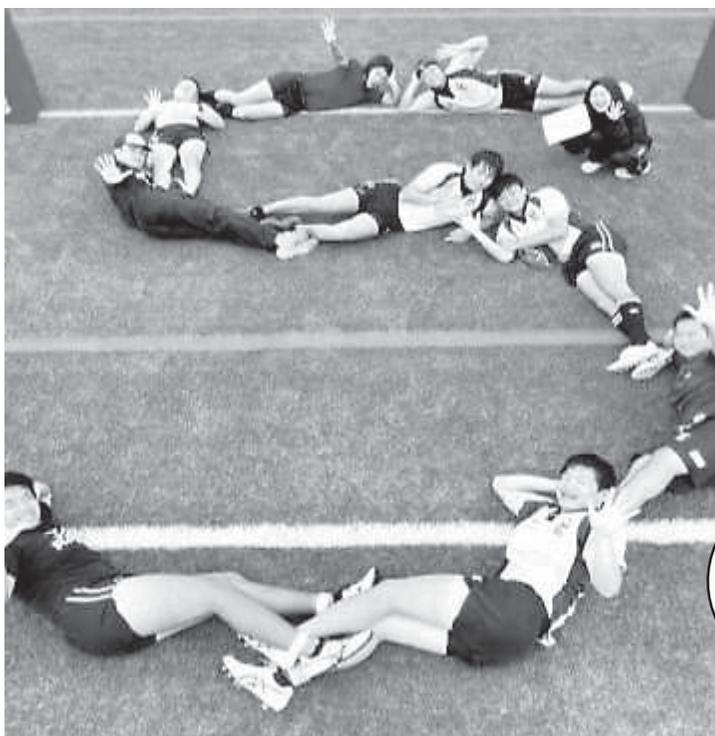
松尾：色々な方のご支援がありここまでラグビーを頑張ってきました。最高学年として勝利で恩返ししたいと思います。

吉川：今年はフィジカルを強化して、最高学内としてチームを引っ張れるようなプレーをしたいです！

三浦：最上級生として余裕をもちつつ全力でラグビー部を支え、感謝の気持ちと笑顔を大切に悔いのない一年にします！

## 部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	淡路 翔太	FL	大分上野丘	工	175cm	85kg
	大家 光太郎	PR/HO	岡山一宮	農	175cm	98kg
	岡 寛彰	PR	明善	経済	178cm	85kg
	三枝 新	PR	宮崎第一	工	170cm	91kg
	中臣 太一	NO8/SH	筑紫丘	工	173cm	77kg
	檜原 尚見	LO/WTB	明善	工	179cm	80kg
	吉川 大智	FL	修猷館	理	179cm	78kg
BK	犬丸 悠一郎	WTB/FB	大分上野丘	共創	178cm	85kg
	松尾 優太郎	CTB	明和	芸工	180cm	85kg
MR	三浦 陽菜		明善	農		



定期戦のカウンタ  
ウン写真は体張っ  
てます！

### ひとこと

この学年ならではの個性と団結力で、学年やポジションを超えた一人一人のつながりを大切にしながらチームを成長させることができるよう、九大ラグビー部を盛り上げ続けます。応援よろしくお祈いします！

◇ 2年生 ◇



【学年紹介】

私たち2年生は、プレイヤー7人で活動しています。個性豊かでありつつも、ずっと一緒にいるほど仲のいい2年メンバーを紹介していきます。見るものすべてを魅了する、九大ラグビー部のファンタジスタ、荒川。今シーズンはチームの中心的プレイヤーとしてMVP級の活躍。来シーズンは3年生ながら九大ラグビー部全体を導く言動に期待が止まらない。「ラグビーしている俺ってカッコいい」自己肯定感の鬼、川口。結局この一年は彼女はできなかった。その悔しさをすべてラグビーにぶつけてくれることでしょうか。チームNO.1の高身長、黄。まだまだ高校の時の先輩に敬語が外れていないようですが、仲はいい！今シーズンは2度のけがによる離脱に苦しみましたが、最終戦に間に合いました。来シーズン以降も“けがに注意”で恵まれた体格を生かしセットプレー、フィールドプレーと暴れまわってくれるでしょう。自他共に認める練習の鬼、阪本。今シーズンは荒川との修猷ハーフ団でチームのチャンスをたびたび演出。あとは髪型だけ……。フットワークも発言も軽い、自称「締め鬼」、佐藤。リーグ戦初戦の次の週から希望した？FWに転向。ウイング仕込みの持ち前のスピードで相手を切り裂くランから目が離せない。あいかわらず家がみんなの「たまり場」、西田。今シーズンはスタンド、フルバックに留まらず、ハーフやウイングとしても出ることがあり、便利屋的起用も多かった、自称“困ったときの西田”。得意のロングキックでチームの窮地を救うことを多く見ることになるでしょう。ボケをさんざんかますが打率は0割、「それってネタ？」で話題の、松尾。今シーズンはリーグ戦からスタメンを勝ち取ると、自慢のスクラムで相手を圧倒。さらにハンドリング技術もアップ。来シーズンは体をより大きくし、必ず負けないスクラムの鬼になってくれるでしょう。

## 部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	川口 勇人	LO/FL	鶴丸	法	177cm	80kg
	黄 明彦	LO	修猷館	工	187cm	88kg
	佐藤 佑亮	FL/WTB	春日部	経済	178cm	79kg
	松尾 修造	PR	修猷館	経済	174cm	88kg
BK	荒川 正太郎	SO	修猷館	法	175cm	75kg
	阪本 拓武	SH	修猷館	工	172cm	71kg
	西田 巧太郎	SO/FB	熊本	工	177cm	74kg



## ひとこと

来シーズンは3年生としての自覚を持ち、4年生を支え、後輩のよい手本になります。今後の応援よろしくお祈いします。

◇1年生◇



【学年紹介】

私たち1年生はプレイヤー7人、マネージャー2人で活動中！1人1人紹介していきます。10月に急遽入部してきた超新星、阿左美。彼ほどの成績を取れる者は少なく、落としてきた単位と困らせた教員の数たるや・・・。WTBとしての彼は、BKとは思えない力強いタックルで敵をなぎ倒すホットな男だ。しばしば社長出勤をするマイペースな江藤。高校時代にPRを担っていた経歴、浪人中に食べ続けた麺による増量を経て仕上がった屈強な肉体からは想像がつかないほど、BKとして華麗なステップを披露する。たこ焼きが焼けないイケメンなにわ男子、梶谷。やること全てにおいて超真面目！だが、先輩の話までも聞き逃す天然な面も・・・。強さと速さを兼ね備えた筋肉系BKの彼の異名は「ビースト梶谷」。「学部の男とは馬が合わない」とぼっちを正当化している、久保田。そんな彼だが、部活では誰よりもおしゃべりで、ラグビー部愛に溢れるムードメーカーだ。オフ中に学部でのぼっち脱却なるか！1年のビジュアル担当、得丸。雨の日には“水も滴るいい男”になる。快速WTBとしてグラウンド上を縦横無尽に駆け巡る。大分出身だが、福岡にいながら何故か宮崎弁を習得しつつある。ファッションセンターしまむらの使い手、野間。実家から服を送ってもらい、福岡で服を買ったことが無いとかあるとか・・・。PRとして果敢なタックルを見せる彼だが、実は潔癖症らしい。経済学部のキラキラ大学生、森本。白色の原付に白色のヘルメットという白バイ隊員コーデで、類まれなファッションセンスを見せつける。おっとりした話し方とは対称的に、SHとして想像もつかぬ速さでボールを裁く。そして水を持ってグラウンドを駆け回り、いいプレーを激写しようと一眼レフの技術向上に努めるマネージャー2人。希少な工学部女子、木谷。可愛らしいブルーの原付に乗り、選手も追いつけないほどの爆速で公道を駆け抜ける。いつも満面の笑みで選手を見守る、黒田。食べるのが大好きで、練習後に何を食べるかで頭がいっぱいだ。

## 部員プロフィール

	氏名	ポジション	出身高校	学部	身長	体重
FW	久保田 健大	FL	宮崎西	農	164cm	75kg
	野間 祥太	PR	鶴丸	法	170cm	81kg
BK	阿左美 建	WTB	前橋	共創	168cm	65kg
	江藤 壮志	CTB	熊本	農	176cm	85kg
	梶谷 凌	WTB	天王寺	工	175cm	74kg
	得丸 直人	WTB	大分上野丘	工	174cm	71kg
	森本 郁真	SH	宮崎大宮	経済	173cm	69kg
MR	木谷 心美		熊本	工		
	黒田 奈央		岡山学芸館	農		



皆から「いい写真!」と褒められた  
お気に入りの1枚!

## ひとこと

来シーズンは上級生になるので、様々な面で後輩を引っ張っていけるよう頑張ります。応援よろしくお祈いします!

妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。



丸くなるな、  
★星になれ。

名刺広告  
(九州地区)

(昭和 36 年卒)

(有) 門司薬局

代表取締役・管理薬剤師

**小橋 一彌**

福山大学名誉教授 薬学博士

〒 801-0863 北九州市門司区栄町 6-27

phone 093 - 321 - 3710

cellphone 080 - 1774 - 6839

E-mail ayuzaakdes3@yahoo.co.jp

(昭和 39 年卒)

福岡歴史研究会

**興 膳 克 彦**

〒809-0022 中間市鍋山町8番8号  
TEL・FAX (093) 244-0398



九州大学ラグビー部OB会  
(玄友会)

**大和 博明** (S39 年工卒)

自宅 〒 816-0094 福岡市博多区諸岡 2-8-17  
TEL : 092-581-3426 携帯 : 090-5940-3674  
E-mail : h.yamato@navy.plala.or.jp

(昭和 40 年卒)

J R九州ラグビー部後援会名誉顧問

J R九州ラグビー部選手会顧問

J Rラグビー連盟顧問

**江 本 昭 彦**

(昭和 42 年卒)



九州大学ラグビー部 OB 会顧問

**水 上 開**

〒811-3203 福岡県福津市本木 2195  
TEL (自宅) 0940-42-1717 (携帯) 080-5207-2195  
(E-mail) hirakumizukami@apricot.ocn.ne.jp

【OB 監査役】  
(昭和 43 年卒)

訪問調査者

**栗 田 修 一**

全衛連 労働衛生サービス機能評価委員会

〒 八〇六一〇〇一四  
北九州市八幡西区東川頭町七十四五  
電話 〇九三一六七一一〇八二一


**九州大学ラグビー部OB会**  
 (女友会)


 Hideaki Kuga  
**久我 秀昭** (S47年卒)

---

自宅 〒818-0125 太宰府市五条5丁目17-18  
 TEL : 092-925-7428 携帯 : 090-4530-9194  
 E-mail kuga.1973@kyudai.jp

(昭和47年卒)

合資会社 **善隣**

**波多野 博**  
 Hiroshi Hatano

〒805-0017  
 北九州市八幡東区山王3-8-7  
 Tel/Fax 093-681-8954  
 E-mail : zenrin@cap.bbiq.jp


**玄海オールパイレーツ ラグビークラブ**  
<http://genkai-rugby.web.infoseek.co.jp/index.htm>


**源 敏徳**  
 Minamoto Toshinori


 815-0042  
 福岡市南区若久5-37-12  
 電話:092-551-1668  
 携帯:080-9986-4009  
 mail:toshitomonami@hotmail.com

(昭和48年卒)

(昭和52年卒)

福岡市社会福祉事業団  
 医療主幹医療型児童発達支援センター  
 福岡市立あゆみ学園診療所長 (小児科)

**宮崎 千明**

不動産の売買・賃貸・管理  
 コインパーキング・コンサルティング  
**プラム不動産販売** (昭和52年卒)

代表取締役  
 宅地建物取引士 **樋口 裕二**  
 Yuji Higuchi

株式会社プラムパーク  
 〒810-0011 福岡市中央区高砂1-22-16  
 TEL 092-981-3610  
 FAX 092-980-5049  
 携帯 090-5475-5283

福岡県知事  
 (1)第19769号


 第2・3種電気主任技術者認定校  
 第2種電気工事士養成施設指定校  
 学校法人 **九州電気専門学校**  
 佐賀大学 理工学部 客員研究員

教務部長  
 博士(工学) **佐藤 博**

〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目4番5号  
 TEL 092-471-1901(代)  
 FAX 092-471-1550  
 E-mail satoru@kec.ac.jp  
 URL http://www.kec.ac.jp

(昭和52年卒)



代表取締役

尾宮 洋一



ワンス設計事務所 株式会社  
ONomiyaConsultingEngineer

福岡市博多区住吉4丁目21-17 〒812-0018

☎090-5288-3980 FAX 092-986-0090

E-mail : once-sekkei@crv.bbiq.jp

ホームページ <https://www.once-sekkei.com>

一級建築士

構造設計一級建築士

コンクリート診断士

木造、S、RC、SRC 耐震診断登録資格者

(昭和 57 年卒)



General Insurance Rating Organization of Japan

損害保険料率算出機構

福岡第二自賠責損害調査事務所

認定第四課  
課長

光山 泰典

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-20-1

大博多ビル9階

TEL (092)472-3033 (代)

FAX (092)472-3044

E-mail : yasunori\_mitsuyama@giroj.or.jp

(昭和 57 年卒)

三京ステンレス鋼管株式会社

シームレスステンレス鋼管製造業

(昭和 58 年卒)



半田 裕

常務取締役 佐賀工場長

〒843-0151

佐賀県武雄市若木町大字川古 9542-20

TEL 0954-26-2480

FAX 0954-26-2490

携 帯 090-3472-9099

E-mail : SST.handa@sankomj.co.jp



はかたペインクリニック外科・麻酔科

院長  
医学博士

安田 哲二郎

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル6階

TEL 092-474-2409

FAX 092-474-2509

E-mail: hakata.pain@gmail.com

URL: <http://hakata-pain.jp/>



(昭和 59 年卒)



福岡市医師会  
マスコットキャラクター  
「おぶろくくん」

安田 哲二郎

社団法人 福岡市医師会  
福岡市博多区医師会 理事  
会長

(昭和 59 年卒)

〒812-0011 福岡市早良区百道浜一丁目六一九  
はかたペインクリニック外科・麻酔科  
電話 〇九二(四七四)二五〇九番  
FAX 〇九二(四七四)二五〇九番

(昭和 60 年卒)

河野 隆

**NetZ** ネット・ヨタ北九州株式会社

(昭和 61 年卒)

代表取締役社長

村上 宏文



レクサス小倉



U-Car 取扱店

〒803-0845

北九州市小倉北区上到津3-4-1

TEL : 093-652-2111

FAX : 093-652-2150

e-mail: murakami@hellonetz.com

大津 明生

Akio Otsu

携帯 080-1729-2729

E-mail : hanaki728@gmail.com

〒810-0013

福岡市中央区大宮2丁目 5-12-503

九州大学ラグビー部 OB 会 副幹事長

福岡地所株式会社

西日本シティ銀行 (出向)

LL&G プロジェクト

(昭和 63 年卒)



(平成 4 年卒)

代表 弁護士

大野 慶樹

弁護士法人 大野慶樹法律事務所

〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目2番20号

天神幸ビル3階

TEL.092-714-3450 FAX.092-714-3460

E-mail keiju.ohno@ohnolaw.jp

http://ohnolaw.jp

品質技術部  
部長

前田 禎夫

技術士(建設部門・総合技術監理部門) APECエンジニア(Civil)  
コンクリート主任技士 コンクリート診断士



麻生セメント

麻生セメント株式会社

814-0001 福岡市早良区百道浜2-4-27 Aビル11F

TEL. 092-833-5108

FAX. 092-833-5117

sadao.maeda@aso-cement.jp

www.aso-cement.jp

(平成 5 年卒)



佐賀大学 農学部 生物資源科学科

生命機能科学コース 食品栄養化学分野 教授

博士(農学) 永尾 晃 治

〒840-8502 佐賀市本庄町1 番地

Tel&Fax : 0952-28-8781

E-mail : knagao@cc.saga-u.ac.jp

(平成 5 年卒)

株式会社熊谷組  
九州支店

(平成 5 年卒)

江良 耕一

(平成5年卒)

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通四丁目10番10号紙与天神ビル

電話 092-721-0215

E-mail kera@ku.kumagaigumi.co.jp



NIPPON STEEL

北九州技術センター 制御技術部  
制御開発室  
マネジャー

中尾 泰三 (平成 20 年卒)

日鉄エンジニアリング株式会社

〒804-8505 北九州市戸畑区大字中原46-59

Mobile.080-2737-5870

E-mail: nakao.taizoh.5km@eng.nipponsteel.com



(平成 21 年卒)

報道局スポーツ部  
主任

近木 俊介

TNCテレビ西日本

株式会社テレビ西日本

〒814-8555 福岡市早良区百道浜2-3-2

TEL 092-852-5513 FAX 092-852-5613

携帯 080-8581-3563

E-mail chikaki@tnc.co.jp <http://www.tnc.co.jp/>



(平成 22 年卒)



店主  
寺本 健二  
Kenji Teramoto

伊食家 KOTOBUKI

福岡市中央区警固 1-6-10

Open/6pm-1am

Tel/092-406-3859

西 井 努

(平成 23 年卒)

(平成 23 年卒)

TNC

報道局報道部

記者  
解説委員室兼務

濱 田 洋 平

テレビ西日本 ☎ 092(852)5511  
FAX092(852)5611

携帯 090-2507-9913

福岡市早良区百道浜2-3-2 〒814-8555

<https://www.tnc.co.jp/>

E-mail: hamada@tnc.co.jp

取材した情報映像はTNC及びフジテレビ系列の各種媒体  
(テレビインターネット等)で使用することがあります

(平成 24 年卒)

吉 見 由 巳 子

(平成 24 年卒)

岡 田 博 之

(平成 22 年卒)

(平成 29 年卒)

建設局河川部  
水環境課



SDGs未来都市  
北九州市

CITY OF KITAKYUSHU  
北九州市

有 馬 滯

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号  
TEL 093-582-2491 FAX 093-561-5758  
mio\_arima01@city.kitakyushu.lg.jp

学校カンパニー  
西日本教育支援推進部  
九州支社 宮崎県担当



長 義 幸 (平成 30 年卒)  
おさ よし ゆき

健康経営優良法人  
2020  
Health and productivity



株式会社ベネッセコーポレーション  
九州支社  
福岡市博多区御供所町1-1 西鉄祇園ビル 〒812-8686  
Tel.0120-350455 Fax.0120-620317  
<http://www.bhso.ne.jp>

西林製薬株式会社

キラリ米久留米  
輝く、人・まち。

(平成 31 年卒)

久留米市 総務部  
人事厚生課 共済労安チーム  
久留米市職員共済会  
熊丸 賢也  
KUMAMARU KENYA



〒830-8520 福岡県久留米市城南町 15 番地 3  
TEL : 0942-30-9058 FAX : 0942-30-9706  
Email : kumamaru@city.kurume.fukuoka.jp

(平成 31 年卒)

新 飼 夏 実

(令和3年卒)

松 本 萌 花

PRINT SHOP ISSEIDO

◆◆◆印刷・製本・コピーサービス◆◆◆

有限会社

一 正 堂

〒812-0053

福岡市東区箱崎6丁目14-17

TEL・FAX (092) 651-3771

E-mail: [isseido@aioros.ocn.ne.jp](mailto:isseido@aioros.ocn.ne.jp)

歴代部長  
歴代OB会長

## 歴代部長 (敬称略)

大正14年	板垣 政彦
大正15年 ~ 昭和3年	佐伯 功介
昭和4年 ~ 昭和14年	満田 隆一
昭和15年 ~ 昭和33年	葛西 泰二郎
昭和34年 ~ 昭和46年	太田 基
昭和47年	栗原 俊彦
昭和48年 ~ 昭和50年	小池 聖淳
昭和51年 ~ 昭和63年	林 勝哉
平成元年 ~ 平成7年	大野 素徳
平成8年 ~ 平成14年	今里 滋
平成14年 ~ 平成22年	佐藤 浩之助
平成23年 ~	松隈 浩之

## 歴代OB会長 (敬称略)

昭和34年 ~ 昭和48年	葛西 泰二郎
昭和49年 ~ 平成元年	長谷川 盛一
平成2年 ~ 平成9年	麻生 太喜蔵
平成10年 ~ 平成16年	因 信吾
平成17年 ~ 平成22年	瀧山 龍三
平成23年 ~ 令和2年	水上 開
令和2年 ~	俵 輝美



OB会

九州大学ラグビー部 OB 総会（玄友会）令和三年（2021）年度

OB 総会 議事録

司会者：洞 尚文（会長代行）

記録係：大島正浩

日時：2021 年度 5 月 30 日（日）10：00～11：45

場所：Zoom を用いたオンライン開催

出席者：オンライン参加者 38 名（会終了時点）

事前議決返信結果は以下

OB 会会員数（総務部会名簿登録数）	621
全送信数	506
宛先不明	6
ご逝去他	3
有効数	497
返信無し	378
返信数	119
委任	37
賛成	81
否認	0
空白	1

定刻に至り司会者洞尚文が開会を宣し、続いて会長依輝美より挨拶があった。

司会者からの本日の総会は定足数が規約の第 4 章第 11 条【総会の決議】の条件を満たした旨が報告され、満場一致をもって江崎浩が議長に選任された。続いて議長からの挨拶ののち議案の審議に入った。

## 1. 会長挨拶

俵会長から本年度の OB 総会は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、書面並びに ZOOM によるオンライン開催にとさせていただいた。審議決裁などに手間取るかもしれませんが、議事の円滑な進行にご協力おねがいしますとの挨拶があった。また東大戦への期待と OB 会がいかに現役の活動へ援助できるか有意義な会議にしたいとの主旨が述べられ、更に鬼籍に入られた方への玄友会への貢献とご冥福をお祈りするとのお話があった。

## 2. 議事

- 1) **第一号議案** 2020 年度事業報告並びに決算報告（2020 年度決算報告、監査報告書参照）  
議長は事業計画並びに決算について幹事長尾宮洋一に詳細な説明をさせた後、曾我部監査員より監査報告がなされた。議長はこれを会議に諮ったところ、棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

幹事長尾宮洋一は、特に現役補助費の部員一人当たり 3 万 5 千円が妥当か否か今後再検討するべきとの意見を述べられ、曾我部監査員からも繰越金は残すことが目的ではないので、

予算の適切な活用を望むとの意見を述べられた。また曾我部監査員のOB会費を払われた方々へのお礼の領収ハガキの徹底に対して、総務部より今後はメール等を活用していくとの返答がなされた。

## 2) 第二号議案 2021年度事業計画並びに予算（2021年度予算案参照）

議長は本年度の事業計画並びに予算について、幹事長長尾宮洋一に詳細な説明をさせた後、これを議場に諮ったところ棄権及び異議無く原案通り、全会一致で可決決定した。

また幹事長長尾宮洋一は配布資料に記載された東大戦の日程の訂正と、例年の香椎浜グラウンドが使用流動的の為、九州大学伊都キャンパスの新しいグラウンドも選択肢になる。その時はグラウンドのこけら落としとして有効である。現役とのコミュニケーション取りながら使用グラウンドの最新情報をOB会と共有していく旨を述べられた。2021年度予算案に関しては、特に前年度繰越金を現役への新ジャージ費用に加え、コーチ・メディカルコーチ代を多くしているのは、現役をサポートする為。

議長は以上をもって議案全部を終了した。議事の終了を宣した。

（時に午前10時42分）

## 3. その他報告事項（各部会の資料参照の事）

### 1) 現役挨拶及び活動報告：大久保主将

目標設定として、今後の飛躍の為の基準値を上げるべき九州大学リーグ全勝の決意、また新ユニフォームの必要性和ファーストジャージの重みを述べた。最後にマネージャーから現役報告ビデオが映し出された。

### 2) 各部会報告

#### ■ 現役部会：源部会長

リレーブログの今後の活用の期待を述べた。

#### ■ 監督：近木監督

コロナの影響で昨年よりの大学本部からの制限は有る中でも去年より練習は出来ているが、実践経験の少なさが不安だがメディカルの大場コーチと強みであるコンタクトの強さを更に鍛えクイックネスの弱さを補い、リーグ上位校と互角に戦えることを期待していると抱負を述べた。

#### ■ 100周年部会：大野部会長

以下5点の現在進行中の企画を報告があった。

1. 憲章作り: 言語化して後世に残す主旨
2. 記念試合: OB・OG参加も含めた複数案を検討中

3. 式典企画：方向性を今後決定
4. 高校とジュニアチームとへのキャンペーン：体制の強化整備中
5. 記念誌：現在詳細を詰めている

また残り僅かな 4 年間での多額な集金への懸念を示された意見が有り、大野部会長より 100 周年事業に関わる運営委員会立ち上げの希望あり。

■ **つなぐ伝統部会：前田部会長**

以下 3 点の ZOOM 会議での進行中の企画の報告があった。

1. ヒストリーの作成
2. 過去に行っていた定期戦(例 対九州工業)を含めた記録のまとめ
3. 玄友及び歴史的資料・写真の保存。九州大学本部のアーカイブ活用が候補

■ **新グラウンド TF (Task Force)：大津部会長**

以下 2 点の報告があった。

1. 新グラウンド：既に完成し他のクラブと共有しながら練習を行っているが、対外試合に対する不備も報告された。
2. 専用グラウンド：造成の必要性、費用約 10 億円近くかかる見込みと、大学からの支援は無いとの回答受理等の懸念を示されたが、現役の要望を拾い上げコミュニケーションを十分に取しながら OB 会として動く方向性との報告があった。

20 年前から始まっているのにも関わらず、進捗が見られない指摘と 100 周年迄には目途をつけるようにとの叱咤激励に対して、非常に厳しい大学本部の方針が支障となり運営の難しさ、大学を説得する為の理論武装の必要性 例えば現在収集中の他の国立大学比較データ、などの状況報告がなされた。

■ **総務部会：洞会長代行**

スライドを使用し目標である OB・OG の参加意識を高めるための活動報告がなされた。

4. **感謝状贈呈：俵会長**

役員会で了承を得られた以下 4 名の方々の長年の現役への支援と OB 会への協力への感謝、又久我秀明氏においては、長年名簿管理をなされ現在のネットワークの基礎を築いた貢献が述べられた。

- 1) S28 年卒 田中覚氏

- 2) S29 年卒 中谷三郎氏
- 3) S30 年卒 佐々木正氏
- 4) S47 年 久我秀明氏

5. 部歌 斉唄

以上

議事録署名人

監査役 栗田修一

監査役 曾我部修一

# 九州大学ラグビー部OB会規約

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、「九州大学ラグビー部OB会」と称し、別名を「玄友会」とする。

(本部の所在地並びに支部)

第2条 本会は、本部を福岡市に置き、支部を九州、関東、関西とする。地域区分は付則において定める。

## 第2章 目的と事業

(目的)

第3条 本会は、九州大学ラグビー部の永続的発展のため物心両面にわたる支援を行うと共に、会員相互の親睦・交流を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 九州大学ラグビー部に対する物心両面にわたる援助。
- (2) 会員相互の親睦を図るための会合、その他行事の開催。
- (3) 会員名簿の作成並びに「玄友」の発行。
- (4) その他本会の目的を達するために必要な事業。

## 第3章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、九州大学ラグビー部を卒業した者又は九州大学ラグビー部の発展に寄与した者で会長が認めた者により構成される。

(年会費)

第6条 会員は、年会費を納入しなければならない。

- 2 年会費は、男子会員1万5千円、女子会員1万円とする。但し、高齢者(65歳相当の卒業後43年経過以降)、あるいは特別な理由の申し出がある場合は、任意の金額での納入を可能とする。

(除名)

第7条 会員に不都合な行為があった場合、また本会の体面を著しく汚した場合など  
会員として不適格と判断される者は、役員会において除名をすることが出来る。

## 第4章 総会

(総会の決議事項)

第8条 総会は、次の事項を審議、決議する。

- (1) 規約の改正。
- (2) 事業報告及び決算報告（年会費の入金状況を含む）。
- (3) 事業計画及び予算。
- (4) 役員を選任。
- (5) その他本会の運営に関する重要事項。

(総会の開催)

第9条 定時総会は、会長が招集し、年に一回行う。

- 2 会長は必要に応じて、臨時総会を開催することが出来る。

(総会の招集)

第10条 総会を招集する場合には、次に掲げる事項を定め、事前に通知しなければならない。

- (1) 総会の日時、場所。
- (2) 総会の議案、目的事項。
- (3) 総会での議決方法（総会に出席しない会員が書面、メール等によって議決権を行使することが出来ることとするときはその旨と方法）

- 2 前項の招集通知は、OB会名簿に記載の住所への郵送、又はOBアドレス帳に登録された会員メールによって行うものとする。

(総会の決議)

第11条 総会の決議は、出席会員の過半数をもって行う。

- 2 第8条(1)の規約の改正の決議は、出席会員の3分の2以上をもって行う。
- 3 総会に出席しない会員が書面又はメール等によって議決権を行使することが出来ることとした場合には、書面又はメール等によって行使された議決数は出席した会員の議決権に算入する。

(議長)

第12条 総会の議長は、その総会に出席した会員の中から選出する。

(議事録)

第13条 総会の議事録を作成する。

2 議長は、出席会員の中から議事録署名人2名を指名する。

3 議事録は「玄友」に掲載する。総会終了後は、結果を速やかに会員に報告するため会員メール等で通知する。

## 第5章 役員他

(役員)

第14条 本会には、次の役員を置く。

- |          |     |
|----------|-----|
| (1) 会長   | 1名  |
| (2) 副会長  | 1名  |
| (3) 支部長  | 3名  |
| (4) 幹事長  | 1名  |
| (5) 副幹事長 | 若干名 |
| (6) 部会長  | 若干名 |
| (7) 会計監査 | 2名  |

(役員を選任)

第15条 役員は、総会の決議によって選任される。

(任期)

第16条 役員任期は2年とする(定時総会から2年後の定時総会まで)。但し、総会の決議によって再任を妨げない。

(役員職務)

第17条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。

3 支部長は、支部に必要な体制を組織し、支部の運営に当たる。

- 4 幹事長は、会務を企画、執行する。また設置された部会を統括する。
- 5 副幹事長は、幹事長の業務を分担、補佐する。
- 6 部会長は、部会を構成し、委任された業務を自主的に計画し、実行する。
- 7 会計監査は、本会の会計を監査する。

#### (監督団)

第18条 監督団は、監督、コーチをもって構成し、人選は担当部会が行い、役員会の議を経て決定し、幹事長が委嘱する

- 2 監督団は、九州大学ラグビー部学生の心技両面にわたる指導、育成を行う。

#### (名誉職)

第19条 本会には、顧問、相談役、名誉会員を置くことが出来る。選任、任期は、役員会において決定する。

## 第6章 役員会

#### (構成)

第20条 役員会は、第14条の役員をもって構成する。

- 2 役員会は、テレビ電話、遠隔テレビ会議等のネット会議機能を利用し参加出来るものとする。
- 3 役員会には、オブザーバーとして監督団、部長（大学）、現役（主将、主務、マネージャー他部員）も参加出来るものとする。

#### (役員会の権限)

第21条 役員会は次に掲げる職務を行う。

- (1) 九大ラグビー部の運営、強化に関する事項。
- (2) 規約案、事業計画案、予算案、決算案、役員人事案の作成。
- (3) その他総会に付議すべき事項がある場合にはその案の作成。
- (4) 細則の作成並びに決議。
- (5) 部会、プロジェクトチームの設置に関する事項。
- (6) その他本会の運営に関する一切の事項。

#### (運営)

第22条 役員会は、会長が招集する。

- 2 役員会を招集するには、幹事長が会長を代理して事前に通知を発するものとする。
- 3 役員会の決議は、出席役員の過半数をもって行う。
- 4 役員会の議事録は、幹事長が作成するものとする。

## 第7章 支部、部会

(支部)

第23条 各支部は、支部の選考方法で支部長を選任することが出来る。

- 2 支部長は、支部に必要な体制を組織し、支部の運営に当たる。
- 3 各支部は、本部と連携し、本部の活動に協力するものとする。
- 4 各支部は、本部の活動と重複する事項以外は、独自に企画、実行出来る。

(部会)

第24条 役員会は、本会の業務執行を円滑かつ効率的を図るため、目的、業務ごとに部会を置くことが出来る。また当面の重点的対応を要する課題に対しては、期間を区切り特別部会又はプロジェクトチームを置くことが出来る。

- 2 設置された部会の担務業務は細則において定める。
- 3 部会には、業務に必要な員数の幹事を置くことが出来る。幹事は担当部会長が人選を行い、幹事は役員会の議を経て幹事長が委嘱する。

## 第8章 会計

(経費)

第25条 本会の運営に必要な経費は、会員により納入される年会費と寄附金をもってこれに充てる。

- 2 特別な経費を必要とするときは、役員会で決定の上、会員に要請することが出来る。
- 3 入金、出金は、役員会で定められた出納責任者が行う。

(会計年度)

第26条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とし、年度ごと収支決算を行い、会計監査を受けなければならない。

## 第9章 会員名簿管理

(会員名簿の更新とメールアドレスの登録)

第27条 会員は、住所、氏名、職業（勤務先）電話番号に変更があった場合には、直ちに本会に通知するものとする。

- 2 運営の円滑化、情報の迅速化、情報共有、通信費減に寄与するため、会員は保有するメールアドレスを「OBメールアドレス帳」に登録するものとする。但し、不慣れでメールを使用していない高齢者などはこの限りでない。

以上

(付則)

1 各支部に属する地域は次のとおりである。

- (1) 九州支部 九州及び沖縄、山口県、四国
- (2) 関東支部 静岡県、長野県、新潟県以東及び北海道
- (3) 関西支部 愛知県、岐阜県、富山県以西  
海外居住者は、留守宅の支部に属する。

2 旅費規程

役員は以下の旅費を請求することが出来る。

九州支部と関東支部の往復は3万円

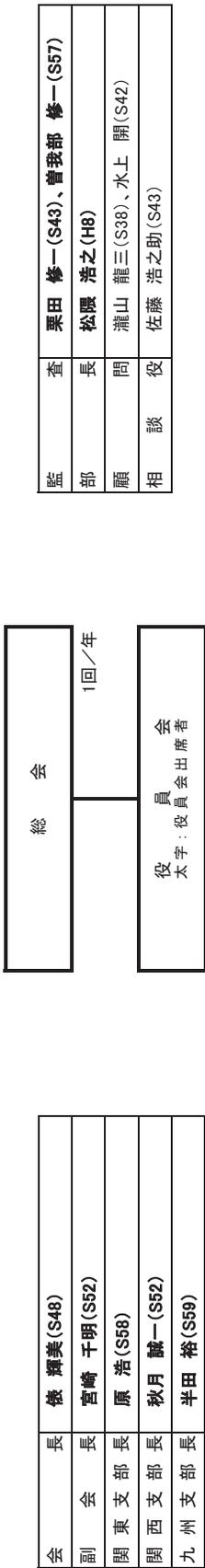
九州支部と関西支部の往復は1万5千円

関東支部と関西支部の往復は1万5千円

3 本会の所在地は次のとおりである。

〒812-0018 福岡市博多区住吉4-21-17

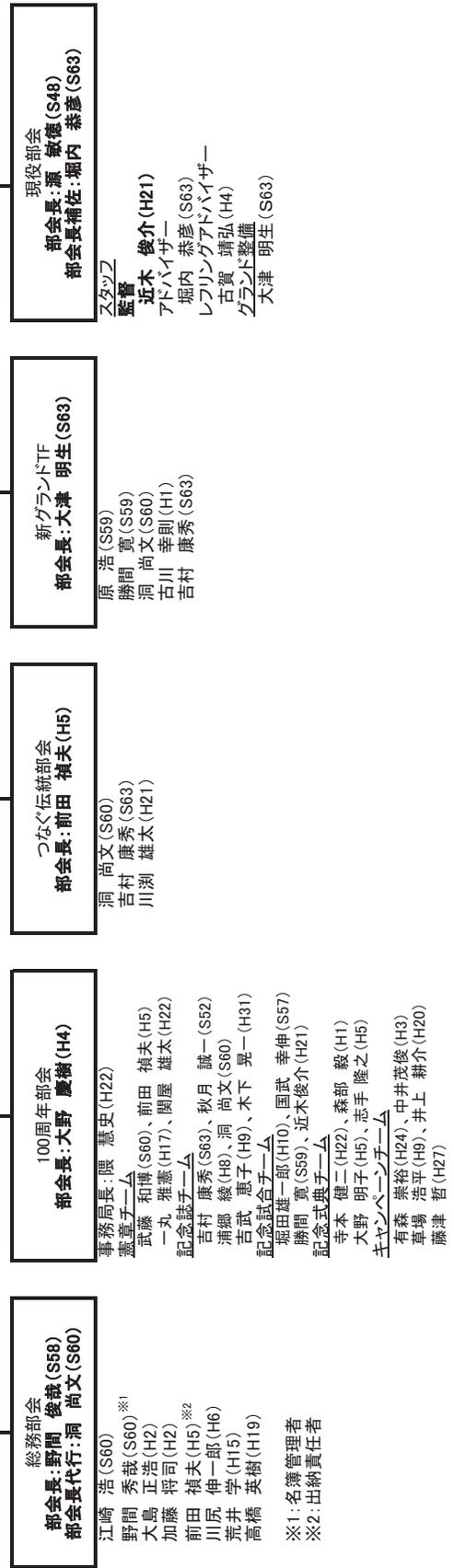
4 本規約は、総会への決議を経て発効する。(発効日は令和2年9月13日)



運 営 委 員 会  
幹 事 長、副 幹 事 長、部 会 長、そ の 他 幹 事

適 宜

※役員(太字)は2021年5月30日総会にて決定した役員(規約第15条)  
 ※他メンバーは2021年度、役員会の議を経て委嘱した幹事(規約第24条3項)



## 編集後記

今年度もこうして無事に部誌「玄友」を発行することができました。発行にあたって、ご協賛いただいた企業様、印刷を請け負ってくださった一正堂様、各種広告を載せていただいたOBの方々、原稿を書いていただいた諸先輩方、相談に乗ってくださったOB会幹事会の方々、皆様に様々な形でご助力いただきました。心より感謝申し上げます。

九州大学ラグビー部は創立から96年を迎えました。すでに、100周年に向けての活動も始まりつつあり、今の九大ラグビー部の現状を応援してくださる方々にもっと伝えるべきだということを感じました。今年はHPやTwitter、Facebook、メーリングリストなどを使用して積極的に試合結果やお知らせ等を更新しておりましたが、ネットをあまり使わない方にも現役の様子を知っていただきたいという思いで、今回の玄友製作に取り掛かりました。

白黒ではありますが、今年度頑張ってくれた選手たちの写真も随所に載せておりますので、グラウンドになかなか足を運ぶことができないOB・OGの方々にも楽しんで見ていただけたらと思います。

2022年3月吉日

### ◆ホームページ

URL <http://kyushu-u-rfc.jimdo.com/>

### ◆公式 SNS

・ Twitter: @kurfc1925      ・ Instagram: @kurfc\_mg

### ◆OB会費

ゆうちょ銀行 一三八(イチサンハチ)店

普通 2166194 キュウシュウダイガクラグビーブオービーカイ

### ◆基金口への寄付

西日本シティ銀行 天神支店

普通 2218518 キュウシュウダイガクラグビーブオービーカイ

九州大学ラグビー部部誌 玄友 2021

令和4年 3月 印刷

令和4年 3月 発行

発行者 大久保 隼鷹

編集責任者 木村 円香

編集者 木村 円香、内田詩乃、三浦陽菜、木谷心美、黒田奈央

印刷所 一正堂

# 2021 会員名簿

## 九州大学ラグビー部OB会

◆名簿

◆五十音順一覧

◆物故者一覧

部外秘：取り扱いに注意願います

変更や訂正がありましたら本部または  
総務部会長代行までお知らせください。

九州大学ラグビー部OB会本部  
〒812-0018 福岡市博多区住吉 4-21-17 尾宮洋一  
TEL 090-5288-3980  
E-mail: once-sekkei@crv.bbiq.jp

総務部会長代行 洞 尚文  
〒352-0004 埼玉県新座市大和田 5-4-35  
Email: hora.kurfc@gmail.com



# OB 会員名簿

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
<b>部長</b>			
	浅山 清	農	佐高
	樋口 昭一郎	農	福高
	田中 覺	經	明善
	星野 一也	農	甲南
<b>昭和13年</b>			
	松隈 浩之	九州芸工大	門司
	鮫島 八郎	工	台北
<b>昭和14年</b>			
	井上 道雄	經	
<b>昭和15年</b>			
	林 正美	法	福高
<b>昭和16年</b>			
	土田 庸光	医	四高
	大山 源七郎	法	浪高
<b>昭和18年</b>			
	岡本 是孝	工	佐高
<b>昭和19年</b>			
	野口 信孝	工	佐高
<b>昭和22年</b>			
	能美 甲子郎	農	三高農
	伊藤 裕成	法	福高
	松尾 健次	法	佐高
<b>昭和23年</b>			
	藤島 俊治	經	福高
	大久保 氏	經	台北高商
	大庭 忠房	工	佐高
<b>昭和24年</b>			
	三浦 一郎	工	京城大
<b>昭和25年</b>			
	渡辺 公弘	工	旅順工大
<b>昭和26年</b>			
	嶋田 高能	工	熊工專
	上田 昭一	工	五高
<b>昭和27年</b>			
	岩松 貞夫	文	秋工專
	久恒 團	工	東農大
<b>昭和28年</b>			
	富川 昭	工	修猷館
	古屋 信二	法	福岡
	福本 精	法	福岡
	松下 長平	工	出水
<b>昭和32年</b>			
	大内 徳司	工	若松
<b>昭和33年</b>			
	永井 武昭	理	新田
	河原 浩司	法	福岡
	石塚 章雄	經	小林
<b>昭和34年</b>			
	松永 庸祐	工	福岡
	山本 司	工	修猷館
	上尾 誠	經	舞鶴
	内田 義	工	福岡
<b>昭和36年</b>			
	鶴田 哲雄	經	松山北
	二宮 孝義	法	山田
	小橋 一彌	薬	門司

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
昭和37年	小川 勝	農	戸畑
	貝原 信明	医	修猷館
昭和38年	福田 武郎	工	修猷館
	瀧山 龍三	工	修猷館
	武末 雄一郎	教	小倉
昭和39年	中島 鼎吾	農	修猷館
	大和 博明	工	修猷館
	藤野 宏	理	修猷館
	興膳 克彦	経	修猷館
	末広 郁男	経	甲南
	甲斐 勲	教	福岡
	内村 尚弘	法	川内
昭和40年	四谷 弘毅	工	佐世保北
	井上 康昭	農	修猷館
	中川 真一	経	修猷館
	江本 昭彦	工	光
	永松 武興	法	修猷館
	新田 武明	工	長崎東
	永山 憲作	理	宮之城
	広田 隆男	法	修猷館
昭和41年	清水 紘行	法	修猷館
	白杵 哲	法	修猷館
	河野 覚雄	法	高鍋
	佐々木 裕	法	小倉
	水落 昌晴	文	明善
	木原 国男	文	福岡
昭和42年	堀内 靖郎	経	修猷館
	飛松 省三	法	福岡
	寺田 喜久雄	工	小倉
	三浦 義武	工	修猷館
	柴田 直毅	工	福岡
	小川 勝	工	明和
	水上 開	工	宗像
	山田 成良	文	福岡
	松角 淳雄	工	長崎東
昭和43年	古部 浩		修猷館
	諸岡 保和	法	小倉
	栗田 修一	経	東筑
	竹崎 史郎	工	鶴丸
	末松 春彦	経	京都
	杉 秀浩	工	唐津東
	石崎 正典	工	修猷館
	塩澤 俊彦	工	福岡
	大久保 泰憲	工	長崎東
	柳川 春夫	農	修猷館
	佐藤 浩之助	東京大学	元部長
昭和44年	池田 洋二	工	熊本
	桑野 友博	経	
	若林 徹	工	小倉
	佐伯 忍	農	福岡
	原 建一	工	嘉穂
	榎藤 和行	農	修猷館
	大前 駿二	経	八幡中央
昭和45年	財津 雄治	農	福岡
	中野 厚美	工	小倉
	中村 恒美	法	八幡
	児玉 俊作	農	福岡
	石井 三郎	農	福岡
	伊藤 博志	法	筑紫丘
	藤堂 省	医	福岡
	野川 斉一	医	福岡

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校	
昭和46年	松木 博	経	門司	
	佐藤 慶則	法	上野丘	
	石田 安正	工	福岡	
	朝田 泰	工	福岡	
	丸田 堅次	工	明善	
昭和47年	坂元 哲己	経	熊本	
	波多野 博	工	八幡	
	佐藤 徹法	法	上野丘	
	池水 直行	工	長崎南	
	松岡 繁	理	福岡	
	久野 哲	経	熊本	
	上田 光一	工	修猷館	
	久我 秀昭	理	修猷館	
	昭和48年	源 敏徳	工	門司
柴田 宗一郎		農	福岡	
加藤 直樹		工	福岡	
俵 輝美		法	長崎南	
清水 啓一朗		工	豊津	
石松 隆和		工	宗像	
岡本 安功		工	舞鶴	
岡田 裕三		理	明石	
昭和49年		本田 敬	経	八幡
	新屋 敏博	工	藤島	
	太田 光宣	法	厚狭	
	黒木 満博	工	福岡	
	木原 二郎	工	修猷館	
	昭和50年	仲野 秀夫	経	福岡
		松本 宏一	工	熊本
江藤 猛		工	日田	
田口 幸二		工	諫早	
昭和51年	平野 信久	工	福岡	
	山本 周一	工	熊本	
	川上 龍太郎	農	熊本	
昭和51年	園 潔	法	上野丘	
	池ノ上 忠弘	農	長崎南	
	潟山 英清	工	甲南	
	徳永 章司	理	広大附福山	
	飯田 治人	工	修猷館	
昭和52年	工藤 雄一	法	熊商大附	
	今里 滋	法		
	秋月 誠一	農	熊本	
昭和52年	富安 敏昭	工	福岡	
	福島 洋	経	ラサール	
	佐藤 博	工	鞍手	
	樋口 裕二	理	東筑	
昭和53年	宮崎 千明	医	ラサール	
	福德 賢二郎	経	筑紫丘	
	角 克晶	工	佐賀西	
昭和54年	有馬 浩	工	鹿屋	
	田原 義彦	法	嘉穂	
	松永 裕志	法	上野丘	
昭和54年	田代 博之	農	修猷館	
	原 善一郎	工	諫早	
	森田 直弘	工	済々巒	
	用澤 義則	法	東筑	
昭和55年	古田 雄司	理	鞍手	
	合谷 守明	工	門司	
	平兮 一英			
昭和55年	森 肇	工	筑紫丘	
	久米 秀俊	工	松山東	

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	納屋 健太郎	経	筑紫丘
	森 一夫	工	修猷館
	平山 一敏	工	長崎北
	川添 卓司	工	熊本
	百雷 正樹	工	京都
昭和56年	船場 貢	農	佐世保北
	尾田 明博	理	八代
	戸田 和幸	教	大教大附
	大塚 隆一	農	福岡
	古場 雄二	工	熊本
	宮下 敦典	農	熊本
	満塩 勝郎	工	鶴丸
	末永 博	農	鹿児島中央
	梅本 州一	農	北野
	加賀美 新一	経	小倉
	都合 弘	工	日田
	福本 美子	農	福岡
	津森 登志子(石橋)	農	福岡
昭和57年	尾宮 洋一	工	福岡
	藤尾 正昭	工	八尾
	毛利 匡	農	長崎南
	三井 信介	医	大津
	曾我部 修一	工	高鍋
	有田 大助	法	糸島
	城戸 寿弘	法	長崎東
	源島 良一	工	人吉
	吉弘 光男	法	福岡
	今泉 洋嗣	経	佐賀西
	中村 有三	理	大濠
	国武 幸伸	理	日田
	岡村 喜史	農	北野
	光山 泰典	経	明善
昭和58年			
	半田 裕	工	修猷館
	松尾 弘継	工	長崎西
	広島 聖	工	城南
	空閑 毅	医	修猷館
	奈良井 敏宏	工	伊丹
	山口 英	工	大濠
	横田 俊彦	工	東筑
	三宅 文照(木村)	工	筑紫丘
	野間 俊哉	薬	松山東
	兒島 優一	工	鹿児島中央
	芝原 林	法	川辺
	牧野 一郎	医	小倉
昭和59年			
	宮島 哲瑞	農	修猷館
	藤原 雅雄	歯	北野
	波多 智行	法	城南
	相園 米実	農	東筑
	千葉 胤倫	工	筑紫丘
	勝間 寛	工	京都城南
	吉田 眞一	歯	長崎南
	原 浩	工	両国
	安田 哲二郎	工	修猷館
昭和60年			
	江崎 浩	工	八女
	黒川 洋一	工	福岡
	田丸 圭一	法	筑紫丘
	玉井 徳人	法	松山東
	水田 英憲	経	筑紫丘
	久米 正二	工	筑紫丘
	河野 隆	農	修猷館
	國武 哲治	歯	日田
	大野 和夫	経	筑紫丘
	武藤 和博	工	小倉
	野間 秀哉	医	松山東
	吉村 哲也(溝口)	工	福岡

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	亀井 伸一郎	農	三重
	洞 尚文	農	糸島
	川副 剛之	農	佐賀西
	杉山 嘉則	工	福岡
	神谷 崇	農	修猷館
昭和61年			
	今村 和之	工	福岡
	岡田 誠剛	理	生野
	井上 博	経	福岡
	村上 宏文	工	長崎北陽台
	辻 豊	理	城南
	波多野 巖	工	東筑
	渡辺 秀治	文	福岡
	福田 公登志	経	修猷館
	川口 洋充	工	小倉
	竹下 淳二	工	八女
	前田 満	工	久大附
	藤本 美由紀(伊藤)	理	八幡南
昭和62年			
	高島 由彰	理	修猷館
	靱井 達夫	工	福岡
	佐伯 先史	工	筑紫丘
	東田 外史	工	福岡
	前田 隆	工	修猷館
	岩田 広長	工	福岡
	西町 龍三	工	佐世保北
	田代 博英	農	佐世保南
	角田 徹	工	筑紫丘
	加茂川 丈巳	工	修猷館
昭和63年			
	岩田 徹	工	福岡
	梁瀬 淳	経	福岡
	満保 賢二	経	福岡
	内堀 雅和	工	長崎北陽台
	田中 修	工	上野丘
	古谷 敏之	工	四条畷
	大津 明生	工	小倉
	藤野 元	工	修道
	才本 明秀	工	福岡
	中尾 道彰	工	八女
	福留 孝治	工	甲南
	黒岩 丈晴	工	甲南
	瀬川 裕正	法	
	吉村 康秀	理	小倉
	堀内 恭彦	法	修猷館
	黒川 昌子(植松)	薬	上野丘
	土肥 秀子(森實)	薬	上野丘
平成1年			
	野島 浩司	法	東筑
	笈島 修三	経	明善
	大穂 勝也	経	広島学院
	西元 宏	法	下関西
	田川 稔	工	舟入
	土井 秀智	工	中津南
	石松 顕(草場)	工	福岡
	森部 毅	工	筑紫丘
	大坪 剛磨	工	柳川
	前田 哲	工	修猷館
	北條 裕之	工	四条畷
	古川 幸則	工	川内実業
	太田 哲也	理	筑紫丘
	掛下 達郎	経	西南学院
	河村 真澄(山本)	経	福岡
平成2年			
	有吉 崇	工	鞍手
	大島 正浩	工	小倉
	鷲池 雅俊	経	福岡
	工藤 宗治	工	大分高専
	黒瀬 一斎	工	今治西
	河野 智大	経	山門

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	諸岡 弘文	農	筑紫丘
	佐藤 公亮	理	大分南
	加藤 将司	理	西南学院
	黒田 祥江(岩野)	福岡女子大	鞍手
平成3年	光安 哲夫	経	福岡
	中井 茂俊	経	宇部
	堀内 憲二	経	修猷館
	山村 徹	経	筑紫丘
	中村 成志	工	筑紫丘
	八尋 康徳	工	筑紫丘
	園田 英博	工	佐賀西
	日野 貴文	工	松山東
	吉田 浩二	工	筑紫丘
	阪元 洋一	理	日南
	高橋 祥之	理	桐蔭学園
	竹下 和宏	農	筑紫丘
	樋口 清一	農	大阪清風
	本田 瑞穂	第一薬科大	熊本真和
平成4年	大野 裕司	工	筑紫丘
	古賀 靖弘	理	浮羽
	藤 隆利	工	筑紫丘
	水島 智	農	筑紫丘
	前田 裕作	工	筑紫丘
	二俣 雄亮	工	伝習館
	重松 一郎	農	筑紫丘
	山口 裕輔	農	明善
	大野 慶樹	法	修猷館
	中村 直文	文	熊本
	佐野 多佳子(天野)	福岡女子大	修猷館
	坂口 美哉子(藤井)	福岡女子大	修猷館
平成5年	江良 耕一	工	筑紫丘
	海部 哲	工	加古川東
	早崎 道人	工	鎌ヶ谷
	田村 聡	工	修猷館
	前田 禎夫	工	筑紫丘
	桑山 尚司	工	佐世保南
	佐藤 和久	工	長崎南
	奥田 崇之	農	富山中野
	島田 稔之	農	龍谷
	永尾 晃治	農	小倉
	日名子 宗晃	法	福岡
	志手 隆之	経	筑紫丘
	田村 祐三子(高丘)	福岡女子大	宮崎北
	市村 理香(中村)	福岡女子大	八幡大付属
	大野 明子(本岡)	福岡女子大	長崎西
	宮本 久美子(本村)	福岡女子大	武雄
平成6年	窪山 隆典	工	筑紫丘
	矢野 亮	工	長崎西陵
	宮入 拓	工	仙台第二
	三田 雄三	工	福岡
	田川 公太郎	工	長崎南
	坂口 真司	理	筑紫丘
	川尻 伸一郎	農	福岡西陵
	坂井 孝行	農	筑紫丘
	牛塚 耕治	農	筑紫丘
	竹下 明宏	農	筑紫丘
	中尾 晴美(牟田)	理	小林
平成7年	藤 俊和	工	筑紫丘
	桑野 聡	工	東筑
	堀江 勲	工	筑紫丘
	石崎 進	工	筑紫丘
	大曲 紀章	工	大濠
	吉武 勉	工	筑紫丘
	市丸 泰己	工	唐津東
	中村 文生	理	奈良

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	高尾 正樹	農	福岡
	水島 淳	農	大濑
	西 耕一郎	農	筑紫丘
	八木 周	法	三国丘
	吉田 智	法	青雲
	吉田 秀之進	経	済々黌
	井手 辰乃助	経	長崎西陵
	吉武 凉子(上村)	福岡女学院大	香椎
	多田 裕子(畠森)	福岡女学院大	福岡西陵
平成8年			
	倉成 拓二	経	明和
	坂本 大輔	工	島原
	湯浅 忠	理	佐世保北
	弓削 英文	工	長崎北陽台
	平賀 紀行	医	九州学院
	大野 克哉	工	久留米高専
	西村 秀樹	工	佐賀西
	菅原 信孝	工	福岡
	大隈 亨	工	佐伯鶴城
	吉田 信之	理	宇部
	浦郷 綾	医技短	福岡中央
	永松 文	医技短	東明館
平成9年			
	萬 泰輔	経	明善
	酒井 勇嗣	工	筑紫丘
	吉浦 豪	工	筑紫丘
	草場 浩平	工	修猷館
	和田 英之	工	日南
	内山 弘之	工	香住丘
	吉武 恵子(曳村)	文	小倉
	大野 美紀子(奥宮)	農	東筑
平成10年			
	牛丸 晋	経	筑紫丘
	峯 和史	法	筑紫丘
	武知 正文	理	岡山朝日
	伊藤 茂郎	工	明善
	成田 修二	工	千種
	堀田 雄一郎	農	筑紫丘
	松本 和彦	農	熊本
平成11年			
	外村 隆志	工	修猷館
	竹本 寿久	工	森
	尾野 憲司	工	加古川東
	吉田 拓也	工	筑紫丘
	西村 宗和	工	八幡
	森本 剣太郎	工	長崎北
	田川 誠	理	長崎南
	千葉 文勝	法	桐蔭学園
	堀江 克尚	法	筑紫丘
	末吉 圭吾	経	東筑
	原田 千佳志	経	鹿島
	伊藤 佳代子(前田)	福岡女子大	長崎北陽台
	羽田野 友香(吉田)	福岡女子大	佐世保西
平成12年			
	松田 健太郎	法	
	宮川 隆弘	法	
	伊藤 宏介	農	高松
	藤本 絵美子	工	
平成13年			
	伊勢 裕基	文	筑紫丘
	高月 勇介	法	大分上野丘
	遠山 晃広	農	時習館
平成14年			
	吉田 安宏	工	唐津東
	畑田 晃宏	工	美鈴が丘
	西元 誠	工	
	谷口 博基		新宮
	高木 利憲	農	明善
	畑田 真宏	工	美鈴が丘

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
平成15年	南 蘭 浩二	法	修猷館
	青木 秀文	工	宮崎北
	荒井 学	農	四日市
	村嶋 良太	理	延岡
	松永 直子	法	西南学院
平成16年	木塚 怜	工	福岡
	郡司 智博	工	宮崎北
	荒神 佳人	農	修猷館
	重永 亮介	工	長崎南
	篠原 達	理	修猷館
	長谷川 毅	工	修猷館
	藤山 翼	工	福岡
	吉次 真一	工	福岡
	中川 馨子	理	ND清心
	藤原 牧	工	ND清心
平成17年	倉員 光弘	経	中村三陽
	一丸 雅憲	農	福岡
	朝比奈 恵史	経	京都教育大附
	伊藤 嘉基	工	帯広柏葉
	成田 悠介	薬	筑紫丘
平成18年	森山 秀一	経工	筑紫丘
	久木原 聡	工	福岡
	白葉 義遥	工	新宮
	澁田 憲一郎	工	福岡
	山川 智己	法	静岡
平成19年	渡辺 健一	工	
	江村 香泉	法	筑紫女学園
	神田 賢一	経	甲南
	井上 大志郎	農	修猷館
	寿福 心洋	農	甲南
平成20年	高橋 英樹	理	九産大九州
	濱崎 洋志	医	長崎西
	南 優児	経	明善
	岩下 裕幸	理	ラサール
	岩本 隆志	工	修猷館
平成21年	内川 宗幸	工	福岡
	國松 浩志	工	筑紫丘
	小林 陽介	工	長崎西
	野田 亮	経	福岡
	福島 吉孝	農	熊本第二
平成22年	湯元 孝治	工	福岡
	島田 快	農	筑紫
	大和 良輔	経	福岡
	伊地知 彬人	経	甲南
	中尾 泰三	工	長崎西
平成23年	井上 耕介	工	福岡
	大熊 良典	工	筑紫丘
	森山 恭輔	経	筑紫丘
	白石 美由紀	医	京都
	川淵 雄大	工	修猷館
平成24年	坂本 泰弘	経	福岡
	近木 俊介	経	修猷館
	金光 亮太	法	倉吉東
	吉永 憲人	工	福岡
	西本 篤史	工	上田
平成25年	宮地 優樹	理	長崎東
	近木 悠子(福原)	工	武田
	高良 眞矢	経	福岡
	山口 和也	工	修猷館
	古里 卓也	経	筑紫
平成26年	隈 慧史	法	八幡
	寺本 健二	教	修猷館

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	山元 昭人	工	福岡
	関屋 雄太	農	修猷館
	庄島 雄三	農	修猷館
	小野 瑛志	農	福岡
	中尾 浩平	芸工	福岡
平成23年			
	西井 努	工	三島
	横山 達朗	工	宗像
	川添 健史	工	福岡
	長堀 哲	工	小倉
	濱田 貴啓	工	小倉
	濱田 洋平	法	熊本
	西井 暖美(江口)	医	修猷館
平成24年			
	有森 崇裕	文	岡山朝日
	岡田 博之	工	熊本第二
	竹田 雄作	理	熊本第二
	池田 政昭	文	加治木
	岩谷 正義	工	修猷館
	上田平 祐樹	工	大濑
	沖藤 拓真	工	千種
	古賀 脩平	工	東福岡
	田畑 克磨	工	甲南
	角振 将平	工	修道学園
	足立 康治	工	倉吉東
	吉見 由巴子(松浦)	教	福岡雙葉
平成25年			
	岩見 康平	工	神戸
	伊藤 大河	法	延岡学園
	鍋島 航	法	弘學館
	境 祥平	工	筑紫丘
	溝口 豪	法	鶴丸
	高松 直登	工	東筑
	四ヶ所 遼太	工	大濑
	荒牧 奏子	文	春日
	鹿島 由紀	経	筑紫丘
	竹田 美穂(栗田)	教	筑紫丘
	児島 祐子	工	西南学院
平成26年			
	犬塚 貴文	工	福岡
	山辺 光一郎	工	佐世保北
	小柴 慧太	理	函館ラサール
	家田 大輝	経	萩
	池下 純葉	工	明星学園
	柘植 和哉	工	奈良高専
	野間口 侑基	医	灘
	野瀬 将史	工	修猷館
	藤村 沙理也	医	福岡
	高濱 将光	芸工	筑紫丘
	尾田 宇広	経	西南学院
	中村 俊朗	法	筑紫丘
	鶴田 勇氣	経	筑紫丘
	中野 仁平	法	佐世保北
	近藤 貴志	芸工	筑紫丘
平成27年			
	藤津 哲	農	東筑
	白石 海月	経	筑紫丘
	辛島 大貴	工	明治学院
	水上 友輔	工	福岡
	武末 力	理	青雲
	西村 仁宏	工	長崎西
	山本 文迅	工	大阪大手前
	中里 俊貴		
	砂野 真里	医	福岡
平成28年			
	井上 晃太	医	筑紫丘
	石川 達也	農	名古屋
	内谷 眞彬	理	熊本第二
	内野 雅大	工	明善
	大木 崇裕	農	門司学園

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	兼久 賢章	薬	福岡
	下田 竜太郎	経	済々黌
	城 慎之介	工	筑紫丘
	田島 駿介	経	加治木
	寺岡 佳彦	経	筑紫丘
	峯 祥文	法	福岡
	村瀬 蓮一	工	東筑
	Thomas Bayer	工	
	内田 詠子メガン	農	岡山朝日
	鈴木 夏美(梅崎)	経	香住ヶ丘
	岡崎 弥和	文	呉宮原
平成29年	緒方 胤浩	芸工	修猷館
	片岡 良介	医	長崎北
	門脇 暢平	経	高規
	重元 一志	工	兵庫
	田代 一馬	農	東筑
	高橋 裕太	福岡大	香椎
	中俣 浪漫	文	長崎北
	餅原 恵太	工	甲南
	山下 茂彰	経	千里
	今泉 桃子	教	修猷館
	有馬 滯(山上)	工	東筑
平成30年	幾竹 賢	芸工	西南学院
	池田 僚輔	工	清真学園
	入木田 一輝	経	筑紫丘
	内之倉 朋紘	理	玉龍
	長 義幸	理	大島
	川上 祐輝	工	宮崎大宮
	松本 直大	芸工	西南学院
	三星 諒太郎	理	延岡星雲
	山口 樹	法	出雲
	吉浦 有祐	農	筑紫丘
	若狹 琢也	農	筑紫丘
平成31年	池田 和輝	農	小倉
	伊藤 創哉	農	宇部
	折居 弘章	経	福岡
	柏木 智泰	医	青雲
	木下 晃一	法	明善
	熊丸 賢也	経	明善
	阪口 友貴	工	清教学園
	藤原 誠	理	江戸川学園取
	三浦 崇太郎	理	東筑
	三谷 直輝	経	福岡
	入木田 みなみ(上野)	法	鶴丸
	新飼 夏実	法	筑紫丘
令和2年	上野 叡智	理	熊本
	神谷 康平	工	福岡
	河野 竜也	工	大分上野丘
	熊手 脩仁	21世紀	長崎南山
	酒田 康介	薬	熊本
	島村 海	法	熊本
	仙波 佳樹	工	修猷館
	檜原 功太郎	芸術工	明善
	渡辺 真澄	工	岡山朝日
	梅嵜 歌音	法	筑紫丘
令和3年	上原 脩	経	東福岡
	植原 大輔	農	小倉
	柿本 拓巳	工	筑紫
	岸本 侃己	理	八幡
	倉永 拓明	工	日比谷
	鶴 雄介	工	福岡
	鳥越 崇史	工	筑紫丘
	中嶋 浩順	工	岡山朝日
	松本 丞平	工	御影

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	松本 萌花	文	福岡

-



# 五十音順OB会員名簿

氏名 (旧姓)

卒業年度

T	
Thomas Bayer	平成28年
あ	
浅山 清	昭和28年
朝田 泰	昭和46年
秋月 誠一	昭和52年
有馬 浩	昭和53年
有田 大助	昭和57年
相園 米実	昭和59年
有吉 崇	平成2年
青木 秀文	平成15年
荒井 学	平成15年
朝比奈 恵史	平成17年
有森 崇裕	平成24年
足立 康治	平成24年
荒牧 奏子	平成25年
有馬 滯 (山上)	平成29年
い	
井上 道雄	昭和14年
伊藤 裕成	昭和22年
岩松 貞夫	昭和27年
井上 年弘	昭和30年
石塚 章雄	昭和33年
井上 康昭	昭和40年
石崎 正典	昭和43年
池田 洋二	昭和44年
石井 三郎	昭和45年
伊藤 博志	昭和45年
石田 安正	昭和46年
池水 直行	昭和47年
石松 隆和	昭和48年

池ノ上 忠弘	昭和51年
飯田 治人	昭和51年
今里 滋	昭和51年
今泉 洋嗣	昭和57年
今村 和之	昭和61年
井上 博	昭和61年
岩田 広長	昭和62年
岩田 徹	昭和63年
石松 顕 (草場)	平成1年
市村 理香 (中村)	平成5年
井手 辰乃助	平成7年
市丸 泰己	平成7年
石崎 進	平成7年
伊藤 茂郎	平成10年
伊藤 佳代子 (前田)	平成11年
伊藤 宏介	平成12年
伊勢 裕基	平成13年
伊藤 嘉基	平成17年
一丸 雅憲	平成17年
岩下 裕幸	平成19年
井上 大志郎	平成19年
岩本 隆志	平成19年
伊地知 彬人	平成20年
井上 耕介	平成20年
池田 政昭	平成24年
岩谷 正義	平成24年
岩見 康平	平成25年
伊藤 大河	平成25年
池下 純葉	平成26年
犬塚 貴文	平成26年
家田 大輝	平成26年

氏名 (旧姓)	卒業年度
井上 晃太	平成28年
石川 達也	平成28年
今泉 桃子	平成29年
池田 僚輔	平成30年
入木田 一輝	平成30年
幾竹 賢	平成30年
池田 和輝	平成31年
伊藤 創哉	平成31年
<b>う</b>	
上田 昭一	昭和26年
内田 義	昭和34年
内村 尚弘	昭和39年
白杵 哲	昭和41年
上田 光一	昭和47年
梅本 州一	昭和56年
内堀 雅和	昭和63年
鶴池 雅俊	平成2年
牛塚 耕治	平成6年
浦郷 綾	平成8年
内山 弘之	平成9年
牛丸 晋	平成10年
内川 宗幸	平成19年
上田平 祐樹	平成24年
内野 雅大	平成28年
内田 詠子メガン	平成28年
内谷 眞彬	平成28年
内之倉 朋紘	平成30年
入木田 みなみ (上野)	平成31年
上野 叡智	令和2年
梅峯 歌音	令和2年
上原 脩	令和3年
植原 大輔	令和3年

<b>え</b>	
江本 昭彦	昭和40年
江藤 猛	昭和50年
江崎 浩	昭和60年
江良 耕一	平成5年
江村 香泉	平成18年
<b>お</b>	
大山 源七郎	昭和16年
岡本 是孝	昭和18年
大庭 忠房	昭和23年
大久保 氏	昭和23年
岡部 俊介	昭和29年
大坪 幸彦	昭和30年
大内 徳司	昭和32年
小川 勝	昭和37年
小川 勝	昭和42年
大久保 泰憲	昭和43年
大前 駿二	昭和44年
岡田 裕三	昭和48年
岡本 安功	昭和48年
太田 光宣	昭和49年
大塚 隆一	昭和56年
尾田 明博	昭和56年
尾宮 洋一	昭和57年
岡村 喜史	昭和57年
大野 和夫	昭和60年
岡田 誠剛	昭和61年
大津 明生	昭和63年
太田 哲也	平成1年
大坪 剛磨	平成1年
箴島 修三	平成1年
大穂 勝也	平成1年

氏名 (旧姓)	卒業年度
大島 正浩	平成2年
大野 慶樹	平成4年
大野 裕司	平成4年
奥田 崇之	平成5年
大野 明子 (本岡)	平成5年
大曲 紀章	平成7年
大隈 亨	平成8年
大野 克哉	平成8年
大野 美紀子 (奥宮)	平成9年
尾野 憲司	平成11年
大熊 良典	平成20年
小野 瑛志	平成22年
岡田 博之	平成24年
沖藤 拓真	平成24年
尾田 宇広	平成26年
大木 崇裕	平成28年
岡崎 弥和	平成28年
緒方 胤浩	平成29年
長 義幸	平成30年
折居 弘章	平成31年
か	
河原 浩司	昭和33年
上尾 誠	昭和34年
貝原 信明	昭和37年
甲斐 勲	昭和39年
河野 覚雄	昭和41年
加藤 直樹	昭和48年
川上 龍太郎	昭和50年
潟山 英清	昭和51年
角 克晶	昭和53年
川添 卓司	昭和55年
加賀美 新一	昭和56年
勝間 寛	昭和59年

亀井 伸一郎	昭和60年
川副 剛之	昭和60年
川口 洋充	昭和61年
加茂川 丈巳	昭和62年
掛下 達郎	平成1年
河村 真澄 (山本)	平成1年
加藤 将司	平成2年
河野 智大	平成2年
海部 哲	平成5年
川尻 伸一郎	平成6年
神田 賢一	平成19年
金光 亮太	平成21年
川淵 雄大	平成21年
川添 健史	平成23年
鹿島 由紀	平成25年
辛島 大貴	平成27年
兼久 賢章	平成28年
片岡 良介	平成29年
門脇 暢平	平成29年
川上 祐輝	平成30年
柏木 智泰	平成31年
神谷 康平	令和2年
河野 竜也	令和2年
柿本 拓巳	令和3年
き	
木原 国男	昭和41年
木原 二郎	昭和49年
城戸 寿弘	昭和57年
木塚 怜	平成16年
木下 晃一	平成31年
岸本 侃己	令和3年

<

氏名 (旧姓)	卒業年度
栗田 修一	昭和43年
桑野 友博	昭和44年
久我 秀昭	昭和47年
黒木 満博	昭和49年
工藤 雄一	昭和51年
久米 秀俊	昭和55年
国武 幸伸	昭和57年
空閑 毅	昭和58年
黒川 洋一	昭和60年
國武 哲治	昭和60年
久米 正二	昭和60年
黒岩 丈晴	昭和63年
黒川 昌子 (植松)	昭和63年
工藤 宗治	平成2年
黒瀬 一斎	平成2年
黒田 祥江 (岩野)	平成2年
桑山 尚司	平成5年
窪山 隆典	平成6年
桑野 聡	平成7年
倉成 拓二	平成8年
草場 浩平	平成9年
郡司 智博	平成16年
倉員 光弘	平成17年
久木原 聡	平成18年
隈 慧史	平成22年
熊丸 賢也	平成31年
熊手 脩仁	令和2年
倉永 拓明	令和3年
け	
源島 良一	昭和57年
こ	
古賀 道男	昭和30年

小橋 一彌	昭和36年
興膳 克彦	昭和39年
権藤 和行	昭和44年
児玉 俊作	昭和45年
合谷 守明	昭和54年
古場 雄二	昭和56年
児島 優一	昭和58年
河野 隆	昭和60年
神谷 崇	昭和60年
古賀 靖弘	平成4年
荒神 佳人	平成16年
國松 浩志	平成19年
小林 陽介	平成19年
古賀 脩平	平成24年
児島 祐子	平成25年
小柴 慧太	平成26年
近藤 貴志	平成26年
さ	
鮫島 八郎	昭和13年
佐々木 裕	昭和41年
佐藤 浩之助	昭和43年
佐伯 忍	昭和44年
財津 雄治	昭和45年
佐藤 慶則	昭和46年
坂元 哲己	昭和47年
佐藤 徹法	昭和47年
佐藤 博	昭和52年
佐伯 先史	昭和62年
才本 明秀	昭和63年
佐藤 公亮	平成2年
阪元 洋一	平成3年
佐野 多佳子 (天野)	平成4年
坂口 美哉子 (藤井)	平成4年

氏名 (旧姓)	卒業年度
佐藤 和久	平成5年
坂井 孝行	平成6年
坂口 真司	平成6年
坂本 大輔	平成8年
酒井 勇嗣	平成9年
坂本 泰弘	平成21年
境 祥平	平成25年
阪口 友貴	平成31年
酒田 康介	令和2年
<b>し</b>	
嶋田 高能	昭和26年
清水 紘行	昭和41年
柴田 直毅	昭和42年
塩澤 俊彦	昭和43年
清水 啓一郎	昭和48年
柴田 宗一郎	昭和48年
新屋 敏博	昭和49年
芝原 林	昭和58年
重松 一郎	平成4年
島田 稔之	平成5年
志手 隆之	平成5年
重永 亮介	平成16年
篠原 達	平成16年
白葉 義遥	平成18年
澁田 憲一郎	平成18年
寿福 心洋	平成19年
島田 快	平成20年
白石 美由紀	平成20年
庄島 雄三	平成22年
四ヶ所 遼太	平成25年
白石 海月	平成27年
城 慎之介	平成28年
下田 竜太郎	平成28年

重元 一志	平成29年
新飼 夏実	平成31年
島村 海	令和2年
<b>す</b>	
末広 郁男	昭和39年
末松 春彦	昭和43年
杉 秀浩	昭和43年
末永 博	昭和56年
杉山 嘉則	昭和60年
角田 徹	昭和62年
菅原 信孝	平成8年
末吉 圭吾	平成11年
砂野 真里	平成27年
鈴木 夏美 (梅崎)	平成28年
<b>せ</b>	
瀬川 裕正	昭和63年
関屋 雄太	平成22年
仙波 佳樹	令和2年
<b>そ</b>	
園 潔	昭和51年
曾我部 修一	昭和57年
園田 英博	平成3年
外村 隆志	平成11年
<b>た</b>	
田中 覺	昭和28年
瀧山 龍三	昭和38年
武末 雄一郎	昭和38年
竹崎 史郎	昭和43年
俵 輝美	昭和48年
田口 幸二	昭和50年
田原 義彦	昭和54年
田代 博之	昭和54年

氏名 (旧姓)	卒業年度
田丸 圭一	昭和60年
玉井 徳人	昭和60年
竹下 淳二	昭和61年
高島 由彰	昭和62年
田代 博英	昭和62年
田中 修	昭和63年
田川 稔	平成1年
高橋 祥之	平成3年
竹下 和宏	平成3年
田村 聡	平成5年
田村 祐三子 (高丘)	平成5年
竹下 明宏	平成6年
田川 公太郎	平成6年
多田 裕子 (富森)	平成7年
高尾 正樹	平成7年
武知 正文	平成10年
田川 誠	平成11年
竹本 寿久	平成11年
高月 勇介	平成13年
谷口 博基	平成14年
高木 利憲	平成14年
高橋 英樹	平成19年
高良 眞矢	平成22年
田畑 克磨	平成24年
竹田 雄作	平成24年
竹田 美穂 (栗田)	平成25年
高松 直登	平成25年
高濱 将光	平成26年
武末 力	平成27年
田島 駿介	平成28年
田代 一馬	平成29年
高橋 裕太	平成29年

ち

千葉 胤倫	昭和59年
千葉 文勝	平成11年
近木 悠子 (福原)	平成21年
近木 俊介	平成21年
つ	
土田 庸光	昭和16年
鶴田 哲雄	昭和36年
津森 登志子 (石橋)	昭和56年
辻 豊	昭和61年
角振 将平	平成24年
柘植 和哉	平成26年
鶴田 勇気	平成26年
鶴 雄介	令和3年
て	
寺田 喜久雄	昭和42年
寺本 健二	平成22年
寺岡 佳彦	平成28年
と	
富川 昭	昭和31年
飛松 省三	昭和42年
藤堂 省	昭和45年
徳永 章司	昭和51年
富安 敏昭	昭和52年
戸田 和幸	昭和56年
都合 弘	昭和56年
土肥 秀子 (森實)	昭和63年
土井 秀智	平成1年
藤 隆利	平成4年
藤 俊和	平成7年
遠山 晃広	平成13年
藤山 翼	平成16年
鳥越 崇史	令和3年

## 氏名 (旧姓)

## 卒業年度

な		
	中谷 三郎	昭和29年
	永淵 泰清	昭和30年
	永井 武昭	昭和33年
	中島 鼎吾	昭和39年
	中川 真一	昭和40年
	永松 武興	昭和40年
	永山 憲作	昭和40年
	中野 厚美	昭和45年
	中村 恒美	昭和45年
	仲野 秀夫	昭和50年
	納屋 健太郎	昭和55年
	中村 有三	昭和57年
	奈良井 敏宏	昭和58年
	中尾 道彰	昭和63年
	中村 成志	平成3年
	中井 茂俊	平成3年
	中村 直文	平成4年
	永尾 晃治	平成5年
	中尾 晴美 (牟田)	平成6年
	中村 文生	平成7年
	永松 文	平成8年
	成田 修二	平成10年
	中川 馨子	平成16年
	成田 悠介	平成17年
	中尾 泰三	平成20年
	中尾 浩平	平成22年
	長堀 哲	平成23年
	鍋島 航	平成25年
	中野 仁平	平成26年
	中村 俊朗	平成26年
	中里 俊貴	平成27年
	中俣 浪漫	平成29年

檀原 功太郎	令和2年
--------	------

中嶋 浩順	令和3年
-------	------

## に

二宮 孝義	昭和36年
-------	-------

新田 武明	昭和40年
-------	-------

西町 龍三	昭和62年
-------	-------

西元 宏	平成1年
------	------

西 耕一郎	平成7年
-------	------

西村 秀樹	平成8年
-------	------

西村 宗和	平成11年
-------	-------

西元 誠	平成14年
------	-------

西本 篤史	平成21年
-------	-------

西井 努	平成23年
------	-------

西井 暖美 (江口)	平成23年
------------	-------

西村 仁宏	平成27年
-------	-------

## の

野口 信孝	昭和19年
-------	-------

能美 甲子郎	昭和22年
--------	-------

野川 斉一	昭和45年
-------	-------

野間 俊哉	昭和58年
-------	-------

野間 秀哉	昭和60年
-------	-------

野畠 浩司	平成1年
-------	------

野田 亮	平成19年
------	-------

野瀬 将史	平成26年
-------	-------

野間口 侑基	平成26年
--------	-------

## は

林 正美	昭和15年
------	-------

早川 恭介	昭和30年
-------	-------

原 建一	昭和44年
------	-------

波多野 博	昭和47年
-------	-------

原 善一郎	昭和54年
-------	-------

半田 裕	昭和58年
------	-------

氏名 (旧姓)	卒業年度		
原 浩	昭和59年	藤野 宏	昭和39年
波多 智行	昭和59年	古部 浩	昭和42年
波多野 巖	昭和61年	福島 洋	昭和52年
早崎 道人	平成5年	福德 賢二郎	昭和53年
原田 千佳志	平成11年	古田 雄司	昭和54年
羽田野 友香 (吉田)	平成11年	福本 美子	昭和56年
畑田 晃宏	平成14年	船場 貢	昭和56年
畑田 真宏	平成14年	藤尾 正昭	昭和57年
長谷川 毅	平成16年	藤原 雅雄	昭和59年
濱崎 洋志	平成19年	福田 公登志	昭和61年
濱田 洋平	平成23年	藤本 美由紀	昭和61年
濱田 貴啓	平成23年	藤野 元	昭和63年
ひ		福留 孝治	昭和63年
久恒 團	昭和27年	古谷 敏之	昭和63年
樋口 昭一郎	昭和28年	古川 幸則	平成1年
広田 隆男	昭和40年	二俣 雄亮	平成4年
久野 哲	昭和47年	藤本 絵美子	平成12年
平野 信久	昭和50年	藤原 牧	平成16年
樋口 裕二	昭和52年	福島 吉孝	平成19年
平兮 一英	昭和54年	古里 卓也	平成22年
平山 一敏	昭和55年	藤村 沙理也	平成26年
広島 聖	昭和58年	藤津 哲	平成27年
東田 外史	昭和62年	藤原 誠	平成31年
日野 貴文	平成3年	ほ	
樋口 清一	平成3年	星野 一也	昭和28年
日名子 宗晃	平成5年	堀内 靖郎	昭和42年
平賀 紀行	平成8年	本田 敬	昭和49年
ふ		洞 尚文	昭和60年
藤島 俊治	昭和23年	堀内 恭彦	昭和63年
福本 精	昭和31年	北條 裕之	平成1年
古屋 信二	昭和31年	本田 瑞穂	平成3年
福田 武郎	昭和38年	堀内 憲二	平成3年
		堀江 勲	平成7年

氏名 (旧姓)	卒業年度
堀田 雄一郎	平成10年
堀江 克尚	平成11年
<b>ま</b>	
松尾 健次	昭和22年
松下 長平	昭和31年
松永 庸祐	昭和34年
松角 淳雄	昭和42年
松木 博	昭和46年
丸田 堅次	昭和46年
松岡 繁	昭和47年
松本 宏一	昭和50年
松永 裕志	昭和54年
松尾 弘継	昭和58年
牧野 一郎	昭和58年
前田 満	昭和61年
前田 隆	昭和62年
満保 賢二	昭和63年
前田 哲	平成1年
前田 裕作	平成4年
前田 禎夫	平成5年
松本 和彦	平成10年
松田 健太郎	平成12年
松永 直子	平成15年
横山 達朗	平成23年
松本 直大	平成30年
松本 萌花	令和3年
松本 丞平	令和3年
<b>み</b>	
三浦 一郎	昭和24年
水落 昌晴	昭和41年
三浦 義武	昭和42年
水上 開	昭和42年

源 敏徳	昭和48年
宮崎 千明	昭和52年
宮下 敦典	昭和56年
満塩 勝郎	昭和56年
三井 信介	昭和57年
光山 泰典	昭和57年
三宅 文照 (木村)	昭和58年
宮島 哲瑞	昭和59年
水田 英憲	昭和60年
光安 哲夫	平成3年
水島 智	平成4年
宮本 久美子 (本村)	平成5年
宮入 拓	平成6年
三田 雄三	平成6年
水島 淳	平成7年
峯 和史	平成10年
宮川 隆弘	平成12年
南菌 浩二	平成15年
南 優児	平成19年
宮地 優樹	平成21年
溝口 豪	平成25年
水上 友輔	平成27年
峯 祥文	平成28年
三星 諒太郎	平成30年
三谷 直輝	平成31年
三浦 崇太郎	平成31年
<b>む</b>	
武藤 和博	昭和60年
村上 宏文	昭和61年
村嶋 良太	平成15年
村瀬 蓮一	平成28年
<b>も</b>	

氏名 (旧姓)	卒業年度
諸岡 保和	昭和43年
森田 直弘	昭和54年
用澤 義則	昭和54年
百富 正樹	昭和55年
森 一夫	昭和55年
森 肇	昭和55年
毛利 匡	昭和57年
舩井 達夫	昭和62年
森部 毅	平成1年
諸岡 弘文	平成2年
森本 剣太郎	平成11年
森山 秀一	平成17年
森山 恭輔	平成20年
餅原 恵太	平成29年
や	
山本 司	昭和34年
大和 博明	昭和39年
山田 成良	昭和42年
柳川 春夫	昭和43年
山本 周一	昭和50年
山口 英	昭和58年
安田 哲二郎	昭和59年
梁瀬 淳	昭和63年
山村 徹	平成3年
八尋 康徳	平成3年
山口 裕輔	平成4年
矢野 亮	平成6年
八木 周	平成7年
山川 智己	平成18年
大和 良輔	平成20年
山口 和也	平成22年
山元 昭人	平成22年
山辺 光一郎	平成26年

山本 丈迅	平成27年
山下 茂彰	平成29年
山口 樹	平成30年
ゆ	
湯浅 忠	平成8年
弓削 英文	平成8年
湯元 孝治	平成19年
よ	
吉田 豊	昭和29年
四谷 弘毅	昭和40年
吉弘 光男	昭和57年
横田 俊彦	昭和58年
吉田 眞一	昭和59年
吉村 哲也 (溝口)	昭和60年
吉村 康秀	昭和63年
吉田 浩二	平成3年
吉武 勉	平成7年
吉田 智	平成7年
吉田 秀之進	平成7年
吉武 涼子 (上村)	平成7年
吉田 信之	平成8年
吉浦 豪	平成9年
吉武 恵子 (曳村)	平成9年
萬 泰輔	平成9年
吉田 拓也	平成11年
吉田 安宏	平成14年
吉次 眞一	平成16年
吉永 憲人	平成21年
吉見 由巳子 (松浦)	平成24年
吉浦 有祐	平成30年
わ	
渡辺 公弘	昭和25年

氏名 (旧姓)	卒業年度
若林 徹	昭和44年
渡辺 秀治	昭和61年
和田 英之	平成9年
渡辺 健一	平成18年
若狭 琢也	平成30年
渡辺 真澄	令和2年



# 物故者名簿

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
不明			
	板垣 政彦	医	
	満田 隆一		
大正15年			
	早川 昇	工	六高
	藤野 賢六	工	五高
昭和2年			
	葛西 泰二郎	工	五高
	片岡 良太郎	工	四高
	秋吉 致	工	七高
	佐々木 奥志	工	佐高
	笠 潤一郎	医	五高
	高見 康夫	医	三高
	大島 光義	工	六高
	蓮尾 誌蔵	工	五高
	小旗 直	工	五高
	寺師 虎之助	工	七高
	下村 博重	工	六高
	田中 敬親	工	佐高
昭和3年			
	藤縄 啓太郎	法	五高
	首藤 謙	法	広高師
	濱 正雄	法	福高
	二木 靖	法	大外語
	飯島 為一	工	三高
	大和 寛一	法	福高
	富永 忠雄	法	福高
	坂本 辰馬	工	六高
	伏見 治三郎	工	
	京極 奨作	法	大阪高商
昭和4年			
	島村 捷三郎	法	東京外語

	御手洗 秀雄	法	大分高商
	山田 勇	工	四高
	金子 卯時雨	法	佐高
	松山 堯	法	三高
	森下 弘	経	小樽高商
	上田 万蔵	経	和歌山高商
	伊沢 栄	法	東京外語
	岡田 元蔵	工	高知
	岡部 禎二	法	五高
	松崎 敏夫	工	大高
	岩月 三郎	経	名古屋高商
昭和5年			
	森田 秀次郎	法・経	東京外語
	西岡 正雄	法・経	山口商
	松尾 純雄	法	
	金生 莊路	工	福高
	沢 正治	農	島高農
	藤縄 郁三	工	松江高
	笹川 泰広	法	東京外語
	田代 透	工	佐高
	和田 春彦	工	松江商
	岩水 豊	工	佐高
	竹内 忠之助	法	大分高商
	上野 辰郎	農	佐高
	筒井 保雄	農	佐高
昭和6年			
	佐々木 駿二	農	佐高
	広沢 泰雄	工	山形
	林 雅樹	工	山口
	田口 敏郎	法	三高

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	松島 儀一	法	
	西村 太郎	農	一高
	平野 正美	工	五高
	川崎 寿夫	法	関西大予
昭和7年			
	村山 高	法	大高
	小松 彊	工	松本高
	浜村 嘉幸	農	大高
	江村 尚	農	佐高
	三田村 六朗	農	大高
	猪野 忠雄	経	福高
	佐伯 憲	法	
	川田 裕	工	
昭和8年			
	手束 二郎	法	一高
	植木 久	工	成蹊
	最上 章	農	福高
	大石 国義	工	佐高
	梶原 景光	工	五高
	守永 隆一	法	佐高
	並木 敏三	工	四高
	田辺 龍雄	工	五高
	小野寺 精喜	医	福高
	重盛 五六	工	山口高
昭和9年			
	高木 健太郎	医	福高
	吉田 茂雄	工	五高
	今村 嘉蔵	農	佐高
	川関 等基	工	福高
昭和10年			
	児玉 昌作	法	福高
	森本 憲治	医	五高
	近藤 正久	農	佐高

	森 静太郎	経	福高
	古賀 欽一	医	佐高
	宮原 九州男	工	佐高
	狩野 忠雄	法	
昭和11年			
	太田 基	農	五高
	渡辺 保	経	大分高商
	鶴 賢一郎	工	佐高
	大塚 芳男	工	五高
	竹末 庸夫	医	五高
	山口 宏	医	五高
	土井 滋	医	佐高
	亀井 将	医	佐高
	内田 進介	医	台北
	小田切 春雄	法	
	西脇 正	工	五高
	大村 宗興	工	台北
	永富 正	法	福高
	古川 通泰	工	五高
昭和12年			
	椛島 強一	医	佐高
	森 格	農	佐高
	中村 清	工	福高
	佐藤 弘	工	佐高
	吉田 良直	工	福高
	寺岡 逸法	農	岐阜
	島田 八郎	法	福高
昭和13年			
	松本 政威	医	浪速
	長谷川 盛一	工	五高
	藤森 正男	工	松本
	朝倉 武	工	高知
	竹田 定祐	工	五高

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	広瀬 頼男	工	佐高
	石田 丈夫	工	高知
	戸伏 直孝	法	福高
	斉藤 裕	農	成城
	平川 覚	農	福高
昭和14年			
	田中 美登	医	佐高
	竹尾 達志	法	成城
	五十嵐 隆重	工	学習院
	江頭 章吾	工	五高
昭和15年			
	平田 直行	医	福高
	斉藤鞆 比古	農	佐高
	上野 欣哉	法	福高
	稲田 裕太郎	工	福高
	安武 治巳	法	福高
昭和16年			
	三野原 愛道	医	五高
	桜井 日出生	医	福高
	松浦 隆	医	福高
	宮本 直由	法	福高
	筒井 良一	医	七高
	真名子 武三	農	鹿農
	清水 泰輔	工	福高
	砂崎 稔	工	佐高
	藤井 龍	工	明専
	守田 貞義	工	五高
	星野 藤六	工	佐高
	島崎 和忠	工	五高
	鹿毛 敬介	法	福高
	山本 文男	医	福高
	川村 邦男	医	新高
	柴田 義衛	医	五高

昭和18年			
	山部 治邦	農	鹿農
	小川 徳直	農	東商大
	占部 公生	医	五高
昭和19年			
	藤崎 茂継	医	佐高
	小山 利武	医	佐高
昭和20年			
	松隈 喜総	工	五高
	犬丸 健造	医	五高
昭和21年			
	栗原 公足	医	五高
	小嶋 秀夫	法	福高
	栗原 一郎	工	七高
昭和22年			
	小池 聖淳	医	五高
	乙藤 憲一	工	福高
	白水 聖親	経	福高
	園田 稔	法	福高
昭和23年			
	松田 一夫	医	佐高
	高橋 敏夫	文	福高
	栗原 俊彦	工	佐高
昭和24年			
	石毛 照弥	工	阪大
	矢野 一徳	工	台北大予科
昭和25年			
	淵上 謙一	工	佐高
	山浦 秀男	工	福高
	麻生 太喜蔵	工	旅順工大
	村上 友幸	工	福高
	八尋 欽二	文	陸士
	林 勝哉	農	鹿高農

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
昭和26年			
	陣内 昭人	工	五高
	兼沢 勝彦	工	九工専
	半田 義鋪	農	鹿高農
	川端 一雄	工	福高
昭和27年			
	升谷 勝彦	経	五高
	小野 匡美		
	渡辺 精二郎	農	佐高
	岡村 喜八	経	高知
	速水 昭	工	福高
	近藤 昭忠 (空尾)	文	東亜同文
	大西 義昭	工	高知
	保田 好春	工	福高
昭和28年			
	森 三郎	理	高知
	中元寺 照翁	経	五高
	椎野 廣	経	海機
	西村 強三	文	西南
	根井 康雄	文	宮高農
	古賀 正臣	工	明善
昭和29年			
	尾家 義弘	理	三高
	野田 勝彦	経	佐高
	和田 唯志	法	小倉
	山本 登	法	佐高
	国丸 昭一	法	福高
	岡 哲	工	明善
昭和30年			
	因 信吾	法	福岡
	安松 周雄	法	福岡
	梅津 利之	経	福岡
	原田 淳一郎	工	嘉穂

	佐々木 正	工	明善
	南谷 健一郎	経	福岡
	大塚 周治	農	三養基
	丸元 清生	法	福岡
昭和31年			
	西野 晃	工	福岡
	重松 喬	農	福岡
	大野 素徳	理	筑紫丘
昭和32年			
	安倍 宗之	経	若松
	鶴岡 健	法	修猷館
	水倉 光慧	経	福岡
	中村 勇夫	法	上野丘
	堀 尚弘	文	福岡
昭和33年			
	長谷川 桂祐	経	福岡
	上門 林蔵	工	ラサール
	古賀 謙二	工	修猷館
昭和34年			
	平田 弘	医	修猷館
	島 靖	法	福岡
	吉永 和彦	工	若松
昭和35年			
	浅山 良吉		
	村上 建	経	小倉
	城戸 康雄	農	福岡
昭和36年			
	今泉 修一	法	福岡
	久楽 一男	法	徳山
	出田 宏志	農	熊本
	渡辺 清種	経	熊本
	外田 正和	経	福岡
	山田 文生	工	熊本
昭和37年			

卒業年度	氏名 (旧姓)	学部	出身校
	野津 忠弘	工	修猷館
昭和38年			
	木下 能明	農	香椎
昭和39年			
	麻生 宏	経	修猷館
	末永 修身	経	下関西
昭和40年			
	久保 宏行	工	明善
	西村 英俊	経	修猷館
	白川 進	農	門司
	林田 雅博	法	明善
昭和41年			
	木下 英宣	農	福岡
	西元寺 克禮	医	修猷館
	佐藤 浩道	医	都立西
昭和42年			
	越川 勇三	工	修猷館
	堤 敬基	工	修猷館
	永山 勝英	工	玉竜
昭和43年			
	吉武 宗人	経	筑紫丘
昭和44年			
	小林 信一	工	若松
昭和45年			
	南 健一	経	小倉
昭和46年			
	池田 正二	理	修猷館
昭和47年			
	田村 寛	工	門司
昭和49年			
	山口 潔	工	熊本
昭和56年			
	田中 裕三	経	徳山
昭和58年			

	大坪 治夫	経	筑紫丘
	牧原 修一	法	鹿屋
昭和63年			
	原口 陽裕	工	鞍手
平成3年			
	金川 琢	工	神戸
平成6年			
	野田 建	理	西南学院
平成8年			
	三浦 慎一	農	大分東
平成11年			
	上村 聡	工	修猷館

卒業年度

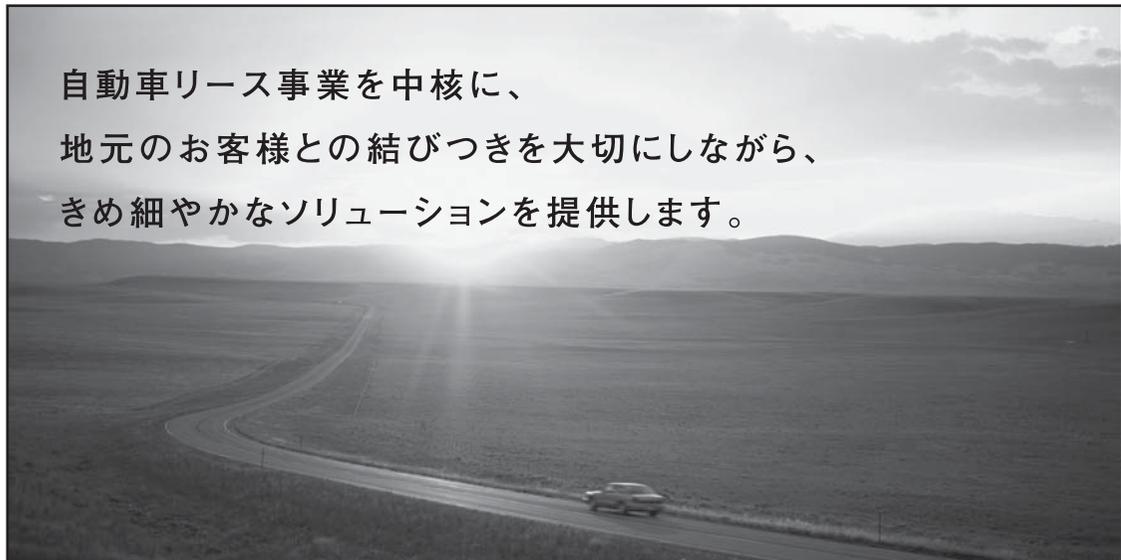
氏名 (旧姓)

学部

出身校

---

自動車リース事業を中核に、  
地元のお客様との結びつきを大切にしながら、  
きめ細やかなソリューションを提供します。



**九州自動車リース株式会社**

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町1丁目2番7号  
TEL 092-431-4361 FAX 092-475-2610  
<http://www.kcl.co.jp>

取締役会長 近藤 勲